
北茨城市
高齢者福祉計画・介護保険事業計画
(平成24年度～平成26年度)

平成24年3月
茨城県 北茨城市

は じ め に

近年の高齢者を取り巻く環境は、急速な高齢化に伴い地域社会へさまざまな変化をもたらしています。

このような状況のもと、市民の皆様の保健・医療・福祉・介護に対する期待は、真に切実なものであり、高齢者が孤立することなく、住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりが今求められているところです。

こうした社会の状況を踏まえ、活力ある高齢社会の実現を目指して、新たな基本方針として「北茨城市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(平成24年度～平成26年度)」を策定いたしました。

本計画は、高齢者の方々が、地域の中で健康で生きがいを持ちながら生活できるよう、生活支援の充実や介護予防の強化を図るとともに、必要な福祉サービスをはじめ介護サービスなどを安心して利用できる体制の整備を図るものであります。

今後は、東日本大震災を乗り越えて高齢者の方々が、豊かな自然に恵まれた北茨城市で安心して暮せるよう、高齢福祉の施策と事業の推進に向けて、なお一層取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

本計画の策定にあたり、北茨城市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定委員の皆様並びに関係者の方々には、貴重なご意見、ご助言を賜りましたことに対し、深く感謝申し上げます。

平成24年3月



北茨城市長 豊 田 稔

目 次

第1章 計画策定の趣旨

1 計画策定の背景	1
2 計画の法的位置付け	2
3 計画の期間	2
4 計画の進行管理	2

第2章 高齢者を取り巻く現状

1 高齢者（要介護認定者・要支援認定者）の現状	3
2 高齢者福祉施設の分布状況	6
3 高齢者の生活実態（日常生活圏域ニーズ調査結果の概要）	8

第3章 基本方針

1 計画の基本目標	17
2 計画の基本方針	18

第4章 施策の展開

1 高齢福祉の充実	20
2 介護保険の充実	24
3 地域支援の充実	27
4 地域包括ケアの充実	30

第5章 各種事業の利用実績と見込み量

1 高齢者福祉事業の利用実績と見込み量	33
2 介護保険対象サービスの利用実績と見込み量	35
3 地域支援事業の利用実績と見込み量.....	39

第6章 介護保険事業に係る費用の見込み量

1 事業計画期間にかかる費用の見込み量	41
2 介護給付費の内訳	42

計画の推進に向けて	46
-----------------	----

資料編

1 事業一覧.....	48
2 日常生活圏域ニーズ調査.....	50
3 北茨城市老人福祉計画及び介護保険事業計画策定等委員会条例	97
4 北茨城市老人福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会の開催状況.	99
5 北茨城市老人福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会委員名簿 ..	100

第1章 計画策定の趣旨

1 計画策定の背景

平成 22 年 10 月 1 日現在の我が国の人口は 1 億 2,805 万 6 千人であり、そのうち 65 歳以上の人口は 2,929 万 3 千人で、高齢化率が 23.1%となっています。平成 17 年の高齢化率 20.2%と比較して 2.9 ポイント増となっており、我が国の高齢化が進展していることがわかります¹。

本市においても、平成 23 年 4 月現在の人口が 46,593 人であるのに対し、65 歳以上の人口は 12,017 人、高齢化率が 25.8%であり、全国と比べて高い高齢化率となっています。さらに、平成 26 年には 65 歳以上人口が 13,192 人、高齢化率が 29.7%になると推計されており、急速な高齢化にともなって介護を要する高齢者も確実に増加すると考えられます²。

このように、今後さらなる高齢者の増加が見込まれる中、高齢者が生きがいを持ち、安心して生活できる環境を整備することが重要な課題となっています。茨城県は、高齢社会に的確に対応してくための指針として、「いばらき高齢者プラン 21」を策定し、市町村による取り組みを広域性・専門性の観点から支援を行っています。

このような環境を踏まえ、本市においても、平成 24 年度から平成 26 年度までの高齢者福祉施策の指針として、「北茨城市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」を策定します。

¹ 総務省「平成 22 年国勢調査 抽出速報集計結果」

² 本計画策定に向けて行った人口推計結果（本計画 P3）

2 計画の法的位置付け

本計画は、老人福祉法第20条の8第6項と介護保険法第117条に基づき、「高齢者福祉計画」と「介護保険事業計画」を一体的に作成するものです。

本市の「第4次北茨城市総合計画」、「北茨城市地域福祉計画」や茨城県の「いばらき高齢者プラン21」など、上位計画等との整合性を保ちながら改定を行い、高齢者全般に関する施策と事務事業の指針としてとりまとめます。

3 計画の期間

本計画は、平成24年度から平成26年度までの3年間を計画期間とし、介護保険事業については、国の定めた平成26年度における高齢者介護の姿及び目標値の達成に向けた最終期間として位置付けとします。

※国の定める高齢者介護の姿及び目標値とは

高齢者の介護予防を促進するとともに、介護を要する状態になった場合でも、在宅での生活を促すことを高齢者介護のあるべき姿と位置付け、それを達成するために以下の目標値を定めています。

○入所施設利用者全体に対する要介護4、5認定者の割合を70%以上とすること。

4 計画の進行管理

本計画の目標の着実な達成と円滑な運営を図るために、各事業の実施及び進捗状況を点検し、評価を行う体制を整え計画の進行管理に努めます。

第2章 高齢者を取り巻く現状

1 高齢者（要介護認定者・要支援認定者）の現状

（1）高齢者の推移と将来推計

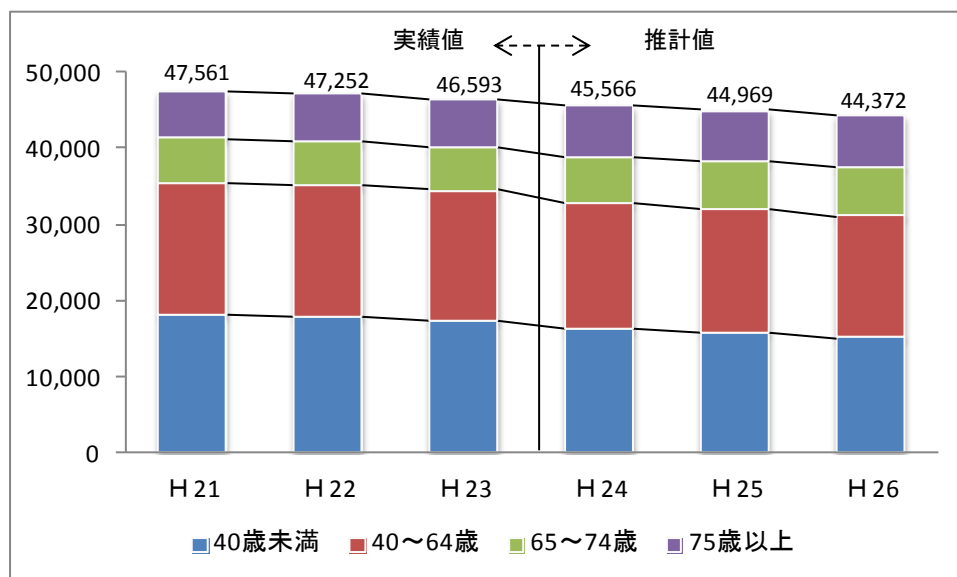
本市の将来人口を推計すると、本計画期間の最終年度である平成 26 年度には総人口が 44,372 人まで減少する見込みにあります（コーホート要因法による推計）。

被保険者別にみると、第 2 号保険者が平成 23 年度から平成 26 年度にかけて 1,211 人減少するのに対し、第 1 号保険者である前期高齢者は 798 人増加し、後期高齢者は 377 人増加します。

図表 北茨城市の人口推計

区分	実績(常住人口)			推計人口			
	H21	H22	H23	H24	H25	H26(対H23)	
40 歳未満	18,178	17,889	17,288	16,211	15,699	15,187	▲2,101
40～64 歳 (第 2 号保険者)	17,335	17,230	17,204	16,623	16,308	15,993	▲1,211
65～74 歳 (前期高齢者)	5,833	5,813	5,624	6,088	6,255	6,422	798
75 歳以上 (後期高齢者)	6,215	6,320	6,393	6,644	6,707	6,770	377
合計	47,561	47,252	46,593	45,566	44,969	44,372	▲2,221
65 歳以上	12,048	12,133	12,017	12,732	12,962	13,192	1,175
高齢率	25.3	25.6	25.8	27.9	28.8	29.7	

図表 北茨城市の人口推移と将来推計



(2) 要介護認定者（要支援）の推移と将来推計

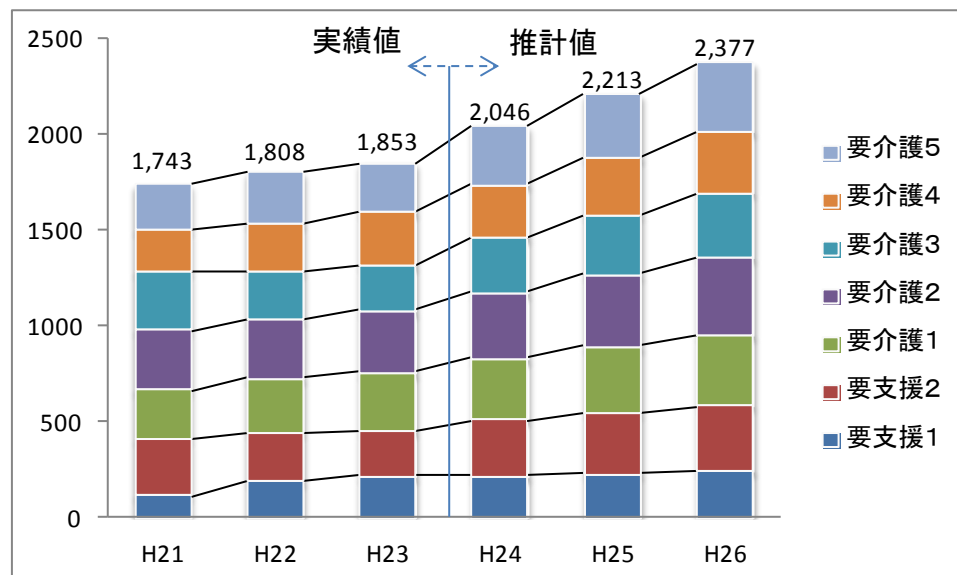
本市の将来人口推計と、要介護（要支援）認定者の実績をもとに、将来の要介護（要支援）認定者を推計しました。本計画期間の最終年度である平成 26 年度には、要介護（要支援）認定者の合計が 2,377 人となり、平成 23 年比で 524 人増加する見込みです。

図表 要介護認定者の推移と将来推計

区分	実績			推計要介護認定者(要支援)			
	H21	H22	H23	H24	H25	H26(対H23)	
要支援1	115	188	214	212	227	242	28
要支援2	296	256	237	297	319	341	104
要介護1	256	282	304	319	345	369	65
要介護2	313	304	324	345	375	405	81
要介護3	305	255	238	290	314	339	101
要介護4	220	249	277	275	297	319	42
要介護5	238	274	259	308	335	362	103
合計	1,743	1,808	1,853	2,046	2,212	2,377	524

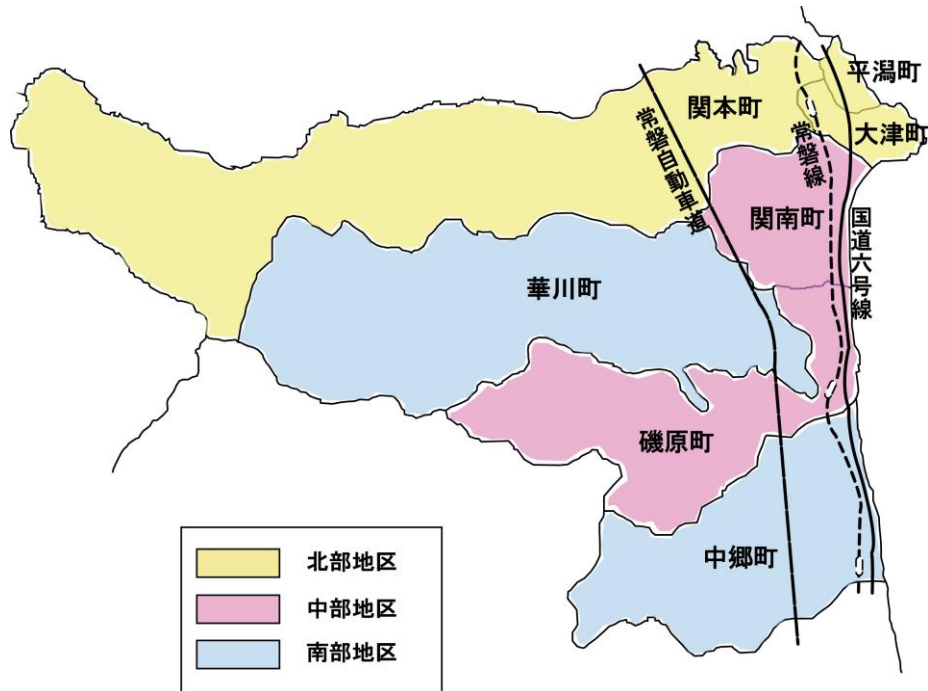
※平成 22 年度の実績を基に、年齢階層別の要介護認定者率を算定し、将来人口推計と組合せ、将来の要介護認定者数を推計している

図表 北茨城市の要介護認定者の推移と将来推計



(3) 日常生活圏域の設定について

本市においては、市内各地区の人口や、在宅介護支援センター等を勘案し、高齢者が住み慣れた地域で、その人らしい生活を送ることができるよう、身近な地域を単位として「日常生活圏域」を、北部地区（大津町・平潟町・関本町）、中部地区（磯原町・関南町）、南部地区（中郷町・華川町）の3つに設定しています。



北部地区 （「ときわの杜」在宅介護支援センター） （平成 22 年 10 月 1 日国調）

地区名	人口	高齢者人口	高齢化率
大津町	5,323	1,428	26.8
平潟町	2,232	624	27.9
関本町	4,210	1,324	31.4
合計	11,765	3,376	28.6

中部地区 （「おはよう館」在宅介護支援センター）

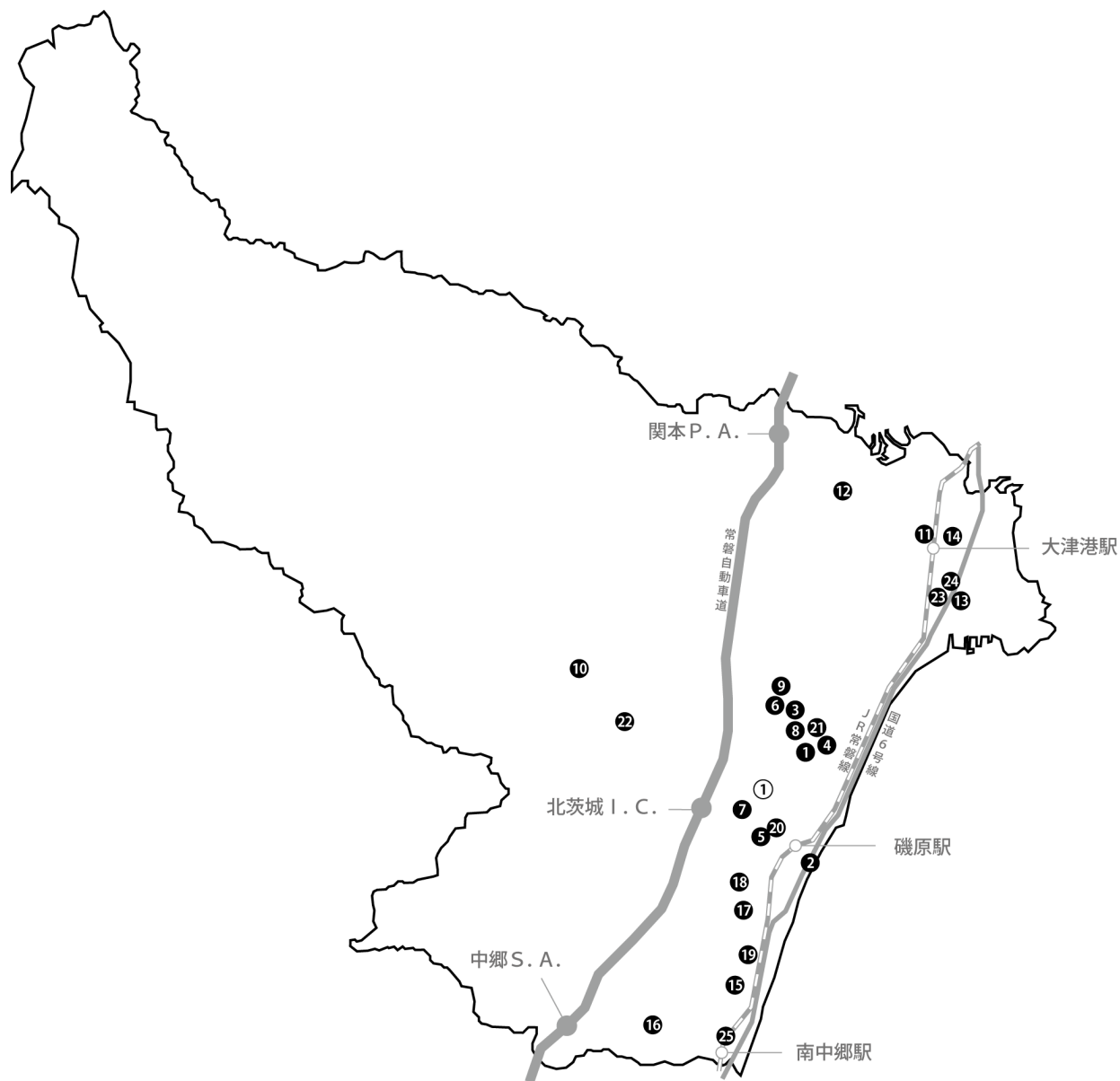
地区名	人口	高齢者人口	高齢化率
関南町	3,401	931	27.3
磯原町	12,230	3,093	25.2
合計	15,631	4,024	25.7

南部地区 （「のぞみ」在宅介護支援センター）

地区名	人口	高齢者人口	高齢化率
華川町	5,125	1,220	23.8
中郷町	14,505	3,454	23.8
合計	19,630	4,674	23.8

2 高齢者福祉施設の分布状況

本市の福祉施設（高齢者福祉・介護保険関連）及び提供サービスは以下のとおりです。



○高齢者福祉施設(白丸囲み数字で表示)

1 老人福祉センター及びデイサービスセンター「ライト」

●介護保険関連施設(黒丸囲み数字で表示)		居宅サービス										施設サービス			地域密着型サービス			ケアプラン
		訪問介護	訪問看護	訪問入浴	訪問リハビリ	居宅療養管理指導	通所介護	通所リハビリ	短期入所生活介護◇特養	短期入所療養介護◇老健	福祉用具貸与	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	認知症対応型共同生活	居宅介護・介護予防支援
1	北茨城市地域包括支援センター																	●
2	北茨城市社協ケアプランナー「のぞみ」																	●
	北茨城市社協介護センター「のぞみ」	●		●														
	介護老人保健施設 おはよう館							●		●			●					
3	ケアプランナー おはよう館																	●
	訪問リハビリステーション おはよう館				●													
4	ライフサポート平賀	●																●
	医療法人芳医会瀧病院				●	●								●				●
5	介護老人保健施設 ひだまり倶楽部							●		●			●					
	訪問介護ステーション きぼう	●																
	訪問看護ステーション みらい		●															
6	グループホーム あとむ																●	
7	ニチイのほほえみ磯原																●	
8	颯爽と にこやかセンター						●									●		
	特別養護老人ホーム エスコート磯原											●						
9	居宅介護支援事務所 エスコート磯原																	●
	デイサービスセンター エスコート磯原						●											
	ショートステイ エスコート磯原								●									
	ウィラブ北茨城居宅介護支援事務所 あやとり																	●
10	訪問介護事務所 あやとり	●																
	あじさいの杜 あやとり						●											
	ケアハウスマイホーム五浦																	
11	居宅介護支援事業所 あかね																	●
	ヘルパーステーション あかね	●																
	デイサービスセンターあかね園					●												
	スマイルあかね														●			
12	特別養護老人ホーム ときわの杜								●			●						
	ときわの杜指定居宅介護支援事業所																	●
13	さくらの家北茨城																▲	
14	デイサービスセンター・ケアプランセンターきずな						●											●
	ヘルパーステーション 虹	●																
15	デイドリーム	●																●
16	高齢者グループホーム アテン中郷																●	
17	日立ライフ中郷介護ステーション	●		●							●							●
18	レスパイトあとむ中郷															●		
	デイサービスあとむ中郷倶楽部						●											
19	在宅介護プランこごみ																	●
	訪問介護こごみ	●																
20	すいとぴー介護ステーション北茨城	●																●
21	トレーニングルーム輝き						●											
22	デイサービスそれぞれ						●											
23	シンパシーケアプランセンター																	●
24	介護じゃんけんぼん北茨城	●																●
25	夢なかも	●	●				●								●			

※▲の表示があるものはサービス休止中

(平成23年12月末現在)

3 高齢者の生活実態（日常生活圏域ニーズ調査結果の概要）

本市高齢者の生活実態について、平成23年3月に実施した日常生活圏域ニーズ調査をもとに全国の高齢者の生活実態と比較し、整理しました。

【調査の概要と回答者の属性】

○調査目的

- ・老人福祉計画・介護保険事業計画の策定にあたり、高齢者を取り巻く現状を把握することを目的に実施した。

○調査基準日

- ・平成23年2月1日

○調査対象

- ・65歳以上の北茨城市民3,000人を無作為抽出。（ただし、要介護3・4・5の認定者を除く）

○調査方法

- ・「住民基本台帳」から無作為に抽出し、郵送による調査票の送付・回収を行った。
- ・調査期間は、平成23年3月10日（発送）～平成23年4月30日（投函締切）

○回収結果

- ・調査票回収数 1,816 票（回収率 60.5%）

○回答者属性（性別）

- ・男性 736 件（40.5%）
- ・女性 1,069 件（58.9%）
- ・無回答 11 件（0.6%）

○回答者属性（年齢別）

- ・65-69 歳 338 件（18.6%）
- ・70-74 歳 363 件（20.0%）
- ・75-79 歳 350 件（19.3%）
- ・80-84 歳 338 件（18.6%）
- ・85 歳以上 410 件（22.6%）
- ・無回答 17 件（0.9%）

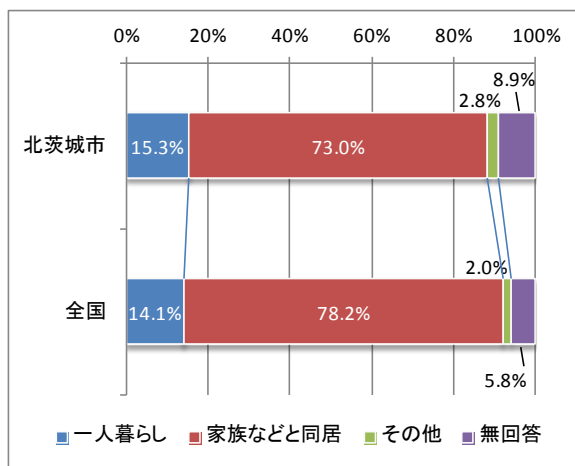
(1) 高齢者の家族・生活状況

本市高齢者の家族構成は、おおむね4人に3人の割合で「家族など同居」していますが、その割合は全国に比して少ない傾向にあります。

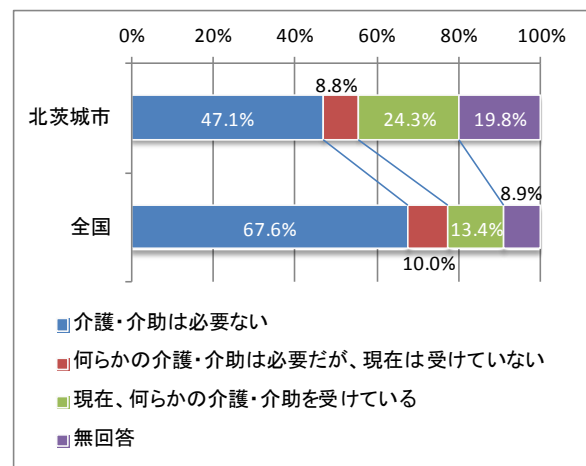
また、普段の生活で介護・介助を必要としない高齢者が半数近くいますが、その割合は全国に比して20ポイント以上低くなっていることから、充実した介護施策・高齢者福祉施策が求められます。

加えて、介護・介助者のうち4割近くが65歳以上であり(全国比+3.8ポイント)、老老介護への対応も課題となっています。

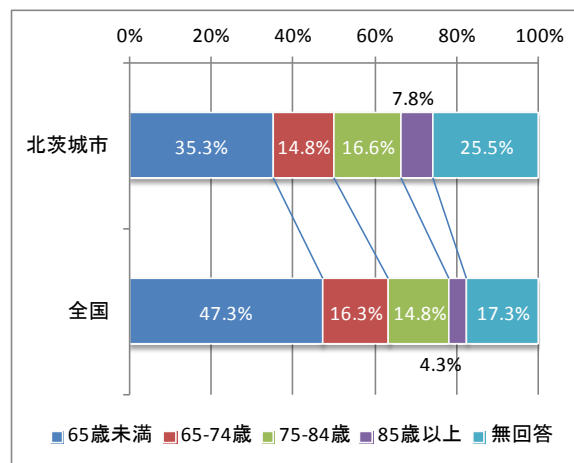
図表 高齢者の家族構成



図表 普段の生活で介護・介助が必要か



図表 主に介護・介助している人の年齢

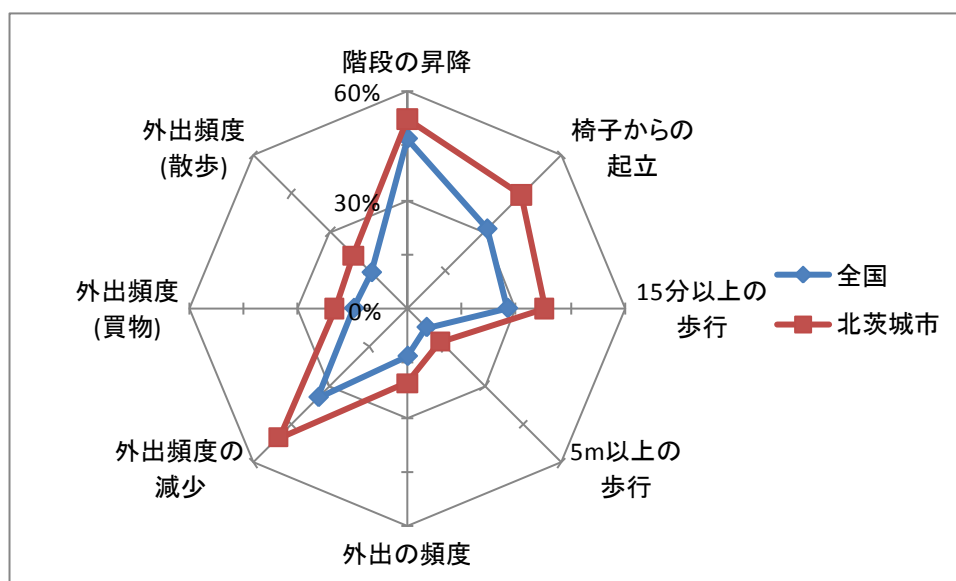


(2) 高齢者の運動・閉じこもり

本市の「高齢者の運動・閉じこもり」の状況を全国比較すると、全般的に悪い状態であり、運動機能が低下している高齢者、閉じこもりの高齢者が多い傾向にあります。

個別の設問をみると、「外出頻度が減少している高齢者」、「椅子からの起立ができない高齢者」、の割合が全国に比して 10 ポイント以上高くなっています。

図表 「高齢者の運動・閉じこもり」状況



※レーダーチャートが外側に広がるほど、状況が悪いことを示す

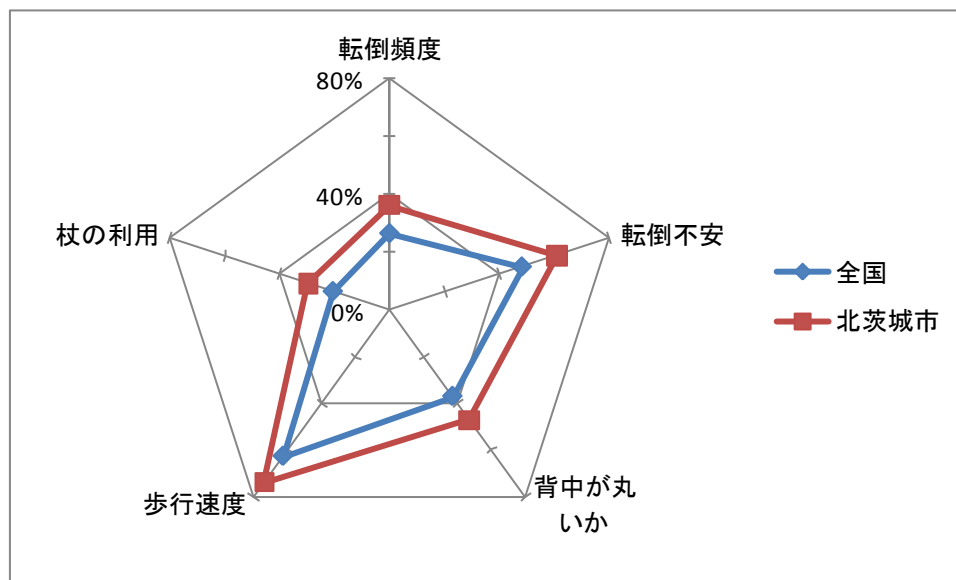
項目名	内容	北茨城市	全国
階段の昇降	「階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか」に「いいえ」と回答	52.4%	46.8%
椅子からの起立	「椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれますか」に「いいえ」と回答	44.4%	31.0%
15 分以上の歩行	「15 分続けて歩けますか」に「いいえ」と回答	37.8%	27.6%
5m 以上の歩行	「5m以上歩けますか」に「いいえ」と回答	12.8%	7.4%
外出の頻度	「週に1回以上は外出していますか」に「いいえ」と回答	20.5%	13.2%
外出頻度の減少	「昨年を比べて外出の回数が減っていますか」に「はい」と回答	50.1%	34.7%
外出頻度（買物）	「外出の頻度はどのくらいですか(買物)」に「週 1 回未満」と回答	20.0%	14.8%
外出頻度（散歩）	「外出の頻度はどのくらいですか(散歩)」に「週 1 回未満」と回答	21.0%	14.0%

（３）高齢者の転倒予防

本市の「高齢者の転倒予防」の状況を全国比較すると、全般的に悪い状態であり、転倒リスクの高い高齢者が多い傾向にあります。

個別の設問をみると、「転倒に対する不安が大きい高齢者」、「以前と比べて歩く速度が遅くなってきた高齢者」、の割合が全国に比して 10 ポイント以上高くなっています。

図表 「高齢者の転倒予防」状況



※レーダーチャートが外側に広がるほど、状況が悪いことを示す

項目名	内容	北茨城市	全国
転倒頻度	「この1年間に転んだことがありますか」に「はい」と回答	36.3%	26.5%
転倒不安	「転倒に対する不安は大きいですか」に「はい」と回答	61.0%	48.2%
背中が丸いか	「背中が丸くなってきましたか」に「はい」と回答	47.0%	37.1%
歩行速度	「以前と比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか」に「はい」と回答	73.7%	62.8%
杖の利用	「杖をつかっていますか」に「はい」と回答	29.7%	20.6%

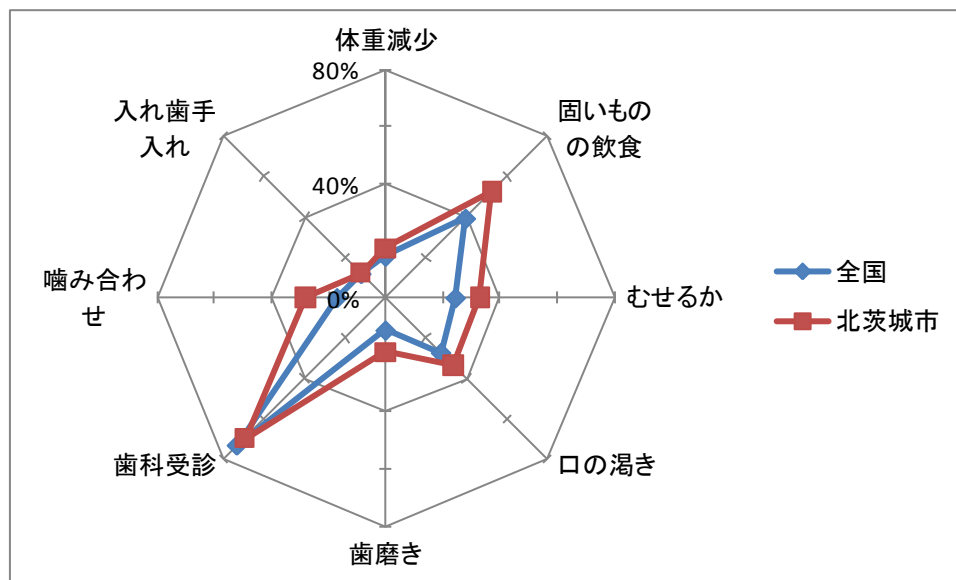
(4) 高齢者の口腔・栄養

本市の「高齢者の口腔・栄養」の状況を全国比較すると、全般的にやや悪い状態であり、栄養改善が必要な高齢者、口腔ケアが必要な高齢者がやや多い傾向にあります。

個別の設問をみると、「半年前に比べて固いものが食べにくくなった高齢者」の割合が半数を超えており、全国に比して13ポイント近く高くなっています。

一方、「定期的な歯科受診（含む健診）をしていない高齢者」の割合は7割近くとなっており、全国に比して3.6ポイント低くなっています。

図表 「高齢者の口腔・栄養」状況



※レーダーチャートが外側に広がるほど、状況が悪いことを示す

項目名	内容	北茨城市	全国
体重減少	「6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか」に「はい」と回答	17.3%	14.6%
固いものの飲食	「半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか」に「はい」と回答	52.4%	39.5%
むせるか	「お茶や汁物等でむせることがありますか」に「はい」と回答	32.9%	24.4%
口の渇き	「口の渇きがきになりますか」に「はい」と回答	33.4%	27.3%
歯磨き	「歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか」に「いいえ」と回答	18.9%	11.4%
歯科受診	「定期的に歯科受診(健診を含む)をしていますか」に「いいえ」と回答	69.7%	73.3%
噛み合わせ	「噛み合わせは良いですか」に「いいえ」と回答	28.2%	16.9%
入れ歯手入れ	「毎日入れ歯の手入れをしていますか」に「いいえ」と回答	12.4%	12.0%

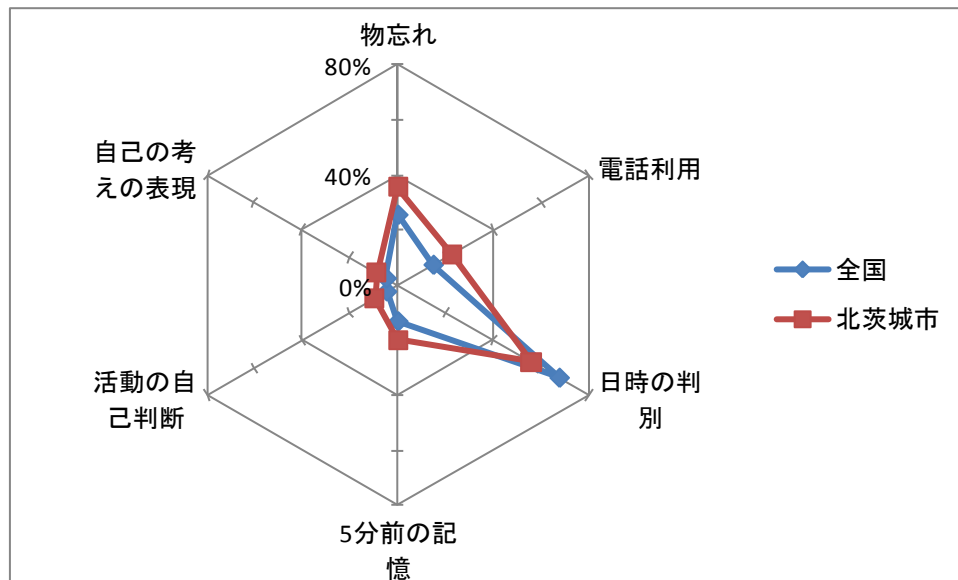
（５）高齢者の物忘れ

本市の「高齢者の物忘れ」の状況を全国比較すると、全般的にやや悪い状態であり、認知症リスクの高い高齢者がやや多い傾向にあります。

個別の設問をみると、「周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるといわれる高齢者」の割合が三分の一を超えており、全国に比して 10 ポイント近く高くなっています。

一方、「今日が何月何日かわからない時がある高齢者」は半数を超えていますが、全国に比して 10 ポイント以上低くなっています。

図表 「高齢者の物忘れ」状況



※レーダーチャートが外側に広がるほど、状況が悪いことを示す

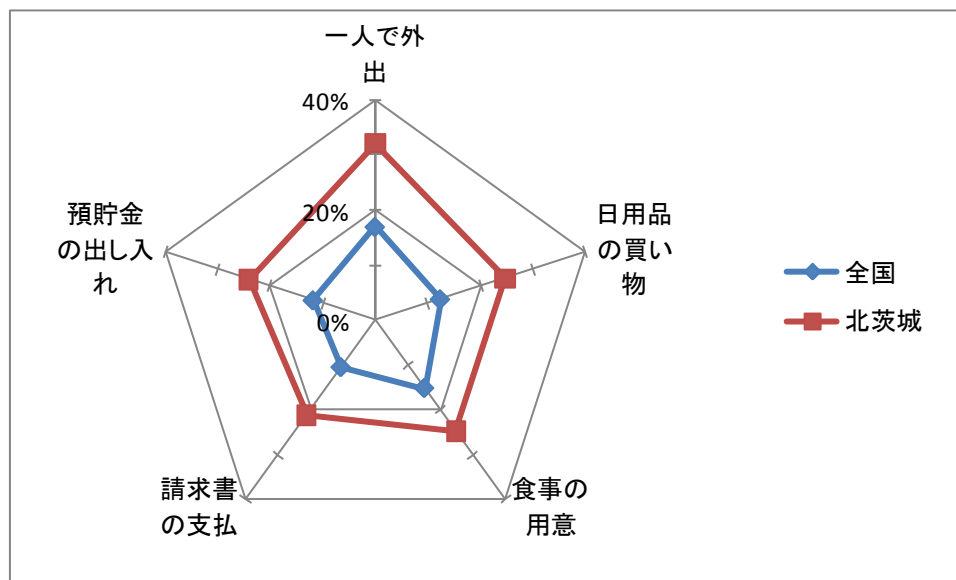
項目名	内容	北茨城市	全国
物忘れ	「周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるといわれますか」に「はい」と回答	35.5%	25.6%
電話利用	「自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか」に「いいえ」と回答	22.6%	14.8%
日時の判別	「今日が何月何日かわからない時がありますか」に「はい」と回答	55.7%	67.5%
5分前の記憶	「5分前の事が思い出せますか」に「いいえ」と回答	19.8%	13.2%
活動の自己判断	「その日の活動(食事をする、衣服を選ぶなど)を自分で判断できますか」に「判断するときに他人からの合図や見守りが必要」「ほとんど判断できない」と回答	9.7%	4.7%
自己の考えの表現	「人に自分の考えをうまく伝えられますか」に「あまり伝えられない」「ほとんど伝えられない」と回答	9.0%	4.9%

（６）高齢者の日常生活

本市の「高齢者の日常生活」の状況を全国比較すると、全般的に悪い状態であり、比較的高次の生活機能に難がある高齢者が多い傾向にあります。

個別の設問をみると、「バスや電車で一人で外出できない高齢者」、「預貯金の出し入れができない高齢者」、「請求書の支払ができない高齢者」、「日用品の買い物ができない高齢者」の割合が全国に比して 10 ポイント以上高くなっています。

図表 「高齢者の日常生活」状況



※レーダーチャートが外側に広がるほど、状況が悪いことを示す

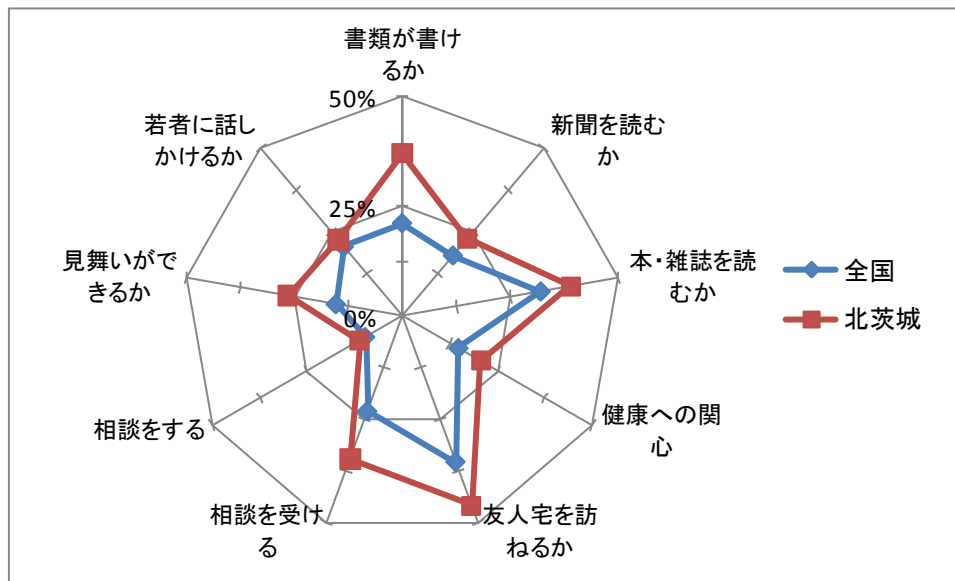
項目名	内容	北茨城市	全国
一人で外出	「バスや電車で一人で外出していますか(自家用車でも可)」に「できない」と回答	32.1%	17.0%
日用品の買い物	「日用品の買い物をしていますか」に「できない」と回答	24.6%	12.4%
食事の用意	「自分で食事の用意をしていますか」に「できない」と回答	24.8%	15.2%
請求書の支払	「請求書の支払いをしていますか」に「できない」と回答	21.2%	10.5%
預貯金の出し入れ	「預貯金の出し入れをしていますか」に「できない」と回答	24.1%	11.8%

(7) 高齢者の社会参加

本市の「高齢者の社会参加」の状況を全国比較すると、全般的に悪い状態であり、知的能動性・社会的役割に関する生活機能に難がある高齢者が多い傾向にあります。

個別の設問をみると、「年金などの書類が書けない高齢者」、「友人宅を訪ねていない高齢者」、「家族や友人の相談にのっていない高齢者」、「病人を見舞うことができない高齢者」の割合が全国に比して 10 ポイント以上高くなっています。

図表 「高齢者の社会参加」状況



※レーダーチャートが外側に広がるほど、状況が悪いことを示す

項目名	内容	北茨城市	全国
書類が書けるか	「年金などの書類が書けますか」に「いいえ」と回答	37.1%	21.2%
新聞を読むか	「新聞を読んでいますか」に「いいえ」と回答	23.0%	18.0%
本・雑誌を読むか	「本や雑誌を読んでいますか」に「いいえ」と回答	38.9%	32.0%
健康への関心	「健康についての記事や番組に関心がありますか」に「いいえ」と回答	20.6%	14.8%
友人宅を訪ねるか	「友人の家を訪ねていますか」に「いいえ」と回答	46.0%	35.5%
相談を受ける	「家族や友人の相談にのっていますか」に「いいえ」と回答	34.7%	23.2%
相談をする	「何かあったときに、家族や友人・知人などに相談していますか」に「いいえ」と回答	11.2%	9.7%
見舞いができるか	「病人を見舞うことができますか」に「いいえ」と回答	26.5%	15.3%
若者に話しかけるか	「若い人に自分から話しかけることがありますか」に「いいえ」と回答	22.6%	20.6%

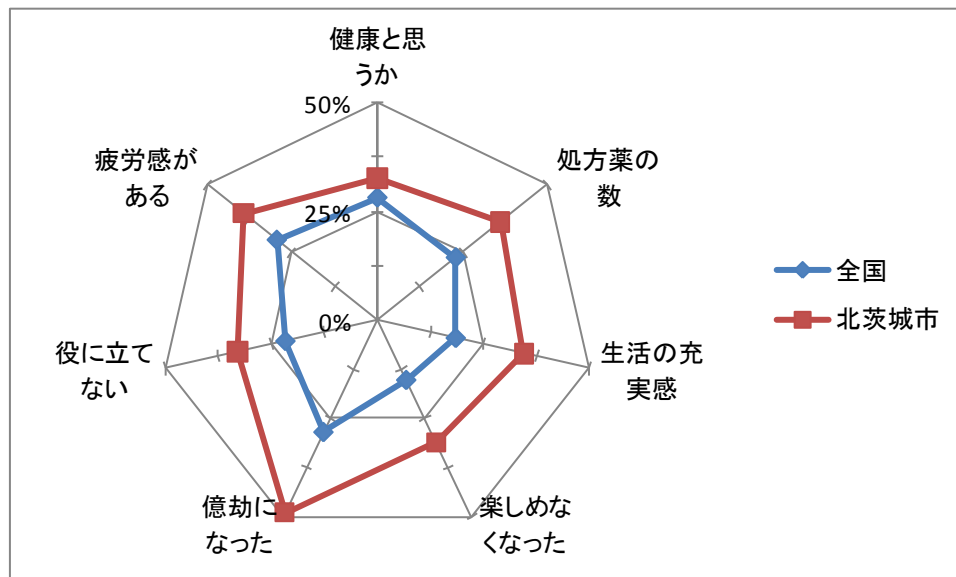
(8) 高齢者の健康

本市の「高齢者の健康」の状況を全国比較すると、全般的に悪い状態であり、健康に難のある高齢者が多い傾向にあります。

個別の設問をみると、「(ここ2週間)以前は楽にできたことが、今では億劫に感じられる高齢者」が半数近く存在し、全国に比して20ポイント以上高くなっています。

また、「現在、医師の処方した薬を5種類以上飲んでいる高齢者」、「(ここ2週間)これまで楽しくやれていたことが楽しめなくなった高齢者」、「(ここ2週間)毎日の生活に充実感がない高齢者」、「(ここ2週間)自分が役に立つ人間だとは思えない高齢者」の割合が全国に比して10ポイント以上高くなっています。

図表 「高齢者の健康」状況



※レーダーチャートが外側に広がるほど、状況が悪いことを示す

項目名	内容	北茨城市	全国
健康と思うか	「普段、ご自分で健康だと思いますか」に「(あまり)健康でない」と回答	32.7%	28.2%
処方薬の数	「現在、医師の処方した薬を何種類飲んで 있습니까」に「5種類以上」と回答	36.2%	23.1%
生活の充実感	「(ここ2週間)毎日の生活に充実感がない」に「はい」と回答	34.4%	18.5%
楽しめなくなった	「(ここ2週間)これまで楽しくやれていたことが楽しめなくなった」に「はい」と回答	31.2%	15.3%
億劫になった	「(ここ2週間)以前は楽にできたことが、今では億劫に感じられる」に「はい」と回答	49.1%	28.6%
役に立てない	「(ここ2週間)自分が役に立つ人間だとは思えない」に「はい」と回答	32.9%	21.7%
疲労感がある	「(ここ2週間)わけもなく疲れたような感じがする」に「はい」と回答	39.3%	29.6%

第3章 基本方針

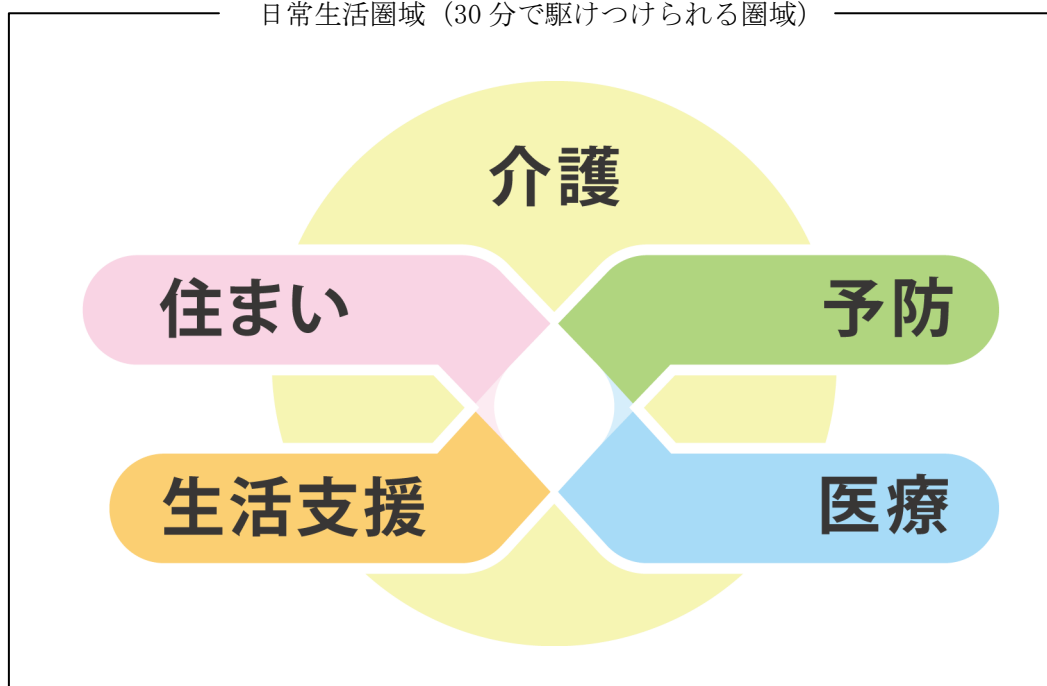
1 計画の基本目標

本市の将来人口推計によると、平成 26 年には高齢化率が 3 割近くなり、本市の高齢者を取り巻く環境は、厳しくなることも予想されます。

日常生活圏域ニーズ調査結果からも、高齢者は生活・健康面で、多くの不安を抱えていることが伺えます。

本計画では、高齢者の生活を地域で支えるために、第 4 次北茨城市総合計画の基本目標である「いのち輝く ぬくもりのあるまち」、地域福祉計画の基本目標でもある「人にやさしいまちづくり」を踏まえるとともに、『**地域包括ケア**』の考え方に基づいた施策の展開を図ります。

図表 地域包括ケアシステムのイメージ図
日常生活圏域（30 分で駆けつけられる圏域）



2 計画の基本方針

(1) 高齢福祉の充実

高齢者が住み慣れた家庭や地域で安心して生活できるよう、また地域社会とのかかわりをもちながら生き生きと暮らすことができるよう、ニーズに即した在宅サービス・施設サービスを充実させます。

(2) 介護保険の充実

介護を必要とする高齢者やその家族が適切なサービスを受けられるよう、介護サービス（居宅サービス・地域密着型サービス・施設サービス）の充実と質の向上を図るとともに、適切な運用に努めます。

(3) 地域支援の充実

要介護・要支援状態にない高齢者を対象に介護予防の推進、日常生活における自立支援を推進するためのサービスを充実させるとともに、高齢者を介護する家族の負担軽減を図るためのサービスを充実させます。

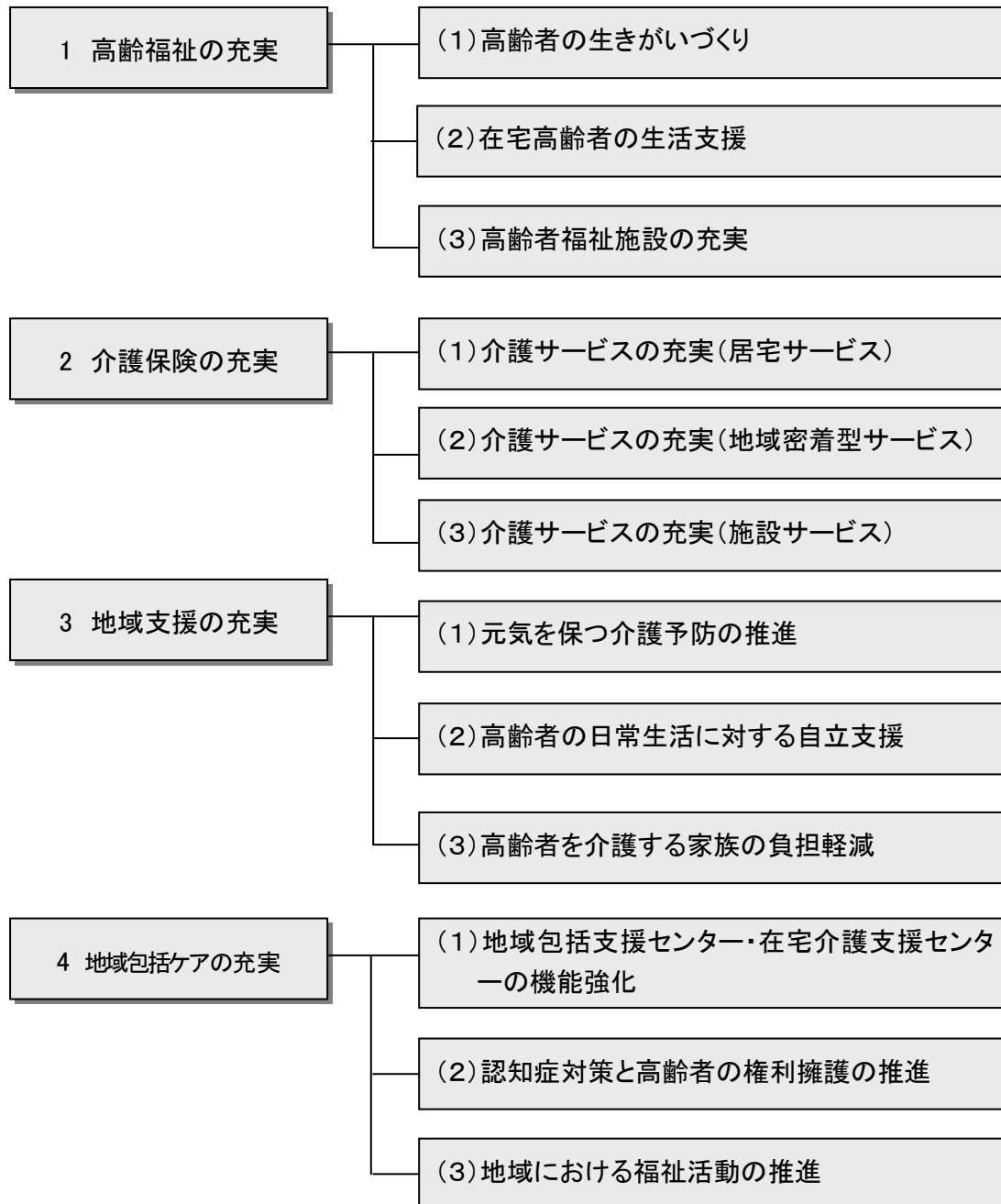
(4) 地域包括ケアの充実

高齢者のニーズに応じ、住宅が提供されることを基本とした上で、高齢者の生活上の安全・安心・健康を確保するために、独居や夫婦二人暮らしの高齢者世帯、あるいは認知症の方がいる世帯に対する福祉サービス、介護保険サービス、介護予防サービス、在宅の生活の質を確保する上で必要不可欠な医療保険サービスを一体化して充実させます。

第4章 施策の展開

先に示した4つの基本方針に沿った施策の展開を図ります。

施策体系図



1 高齢福祉の充実

(1) 高齢者の生きがいがづくり

高齢者が安心していきいきと暮らせるよう、生きがいがづくりのための趣味活動や自主活動を支援するとともに、高齢者のニーズに合わせた各種サービスを展開します。

多様な世代との交流による生きがい・仲間づくりにつながるよう幅広い市民参加を促進するため、社会福祉協議会、シルバー人材センター、老人クラブ連合会などを通じた事業展開を支援します。

事業名	内容
【1-1-1】 老人福祉自動車寿号の 運行	・老人クラブ等を対象にその活動の円滑化を図るため老人福祉自動車寿号の運行を行います。
【1-1-2】 ダイヤモンド婚・金婚祝	・ダイヤモンド婚(婚姻期間 60 年)・金婚(婚姻期間 50 年)を迎えた御夫婦を対象に褒状及び記念品を贈呈します。
【1-1-3】 老人クラブ活動の支援	・趣味娯楽活動等会員相互の親睦を目的とした活動や、環境美化等のボランティア活動を行う老人クラブの活動を支援します。
【1-1-4】 高齢者生きがい対策事業	・高齢者の生きがいがづくりと社会参加を促進するとともに、ひとり暮らしの高齢者等の社会的孤立の解消を図ります。 (三世代の集い事業、健康づくりスポーツ大会、健康づくりスポーツ大会、健康・生きがい講座など)
【1-1-5】 敬老祝金	・喜寿、米寿、百寿などに際し敬老祝金を支給します。
【1-1-6】 いきいきふれあいサロン 事業	・地域の集会所などで、閉じこもりや認知症の予防につながる、軽い体操やゲーム、お茶会などおしゃべりの場を提供します。
【1-1-7】 高齢者ふれあいゆったり 事業	・中郷温泉通りゃんせ、ハワイアンズなど高齢者を温泉に招待します。またマウントあかねの食事割引券を配布します。

(2) 在宅高齢者の生活支援

高齢者が地域社会とのかかわりを持ちながら安心して生き生きと暮らすことができるように、在宅サービスの充実を図ります。

各事業における利用者数など事業の効果や課題を検証し、必要な改善や見直しを図りながらニーズに即したサービスの提供に努めます。

事業名	内容
【1-2-1】 緊急通報体制等の整備事業	・おおむね 65 歳以上のひとり暮らし高齢者、ひとり暮らしの身体障害者及び高齢者のみの世帯の方等を対象とします。 ・緊急通報装置を設置し、急病や事故等で緊急に他の者の援助が必要な場合、消防本部へ通報しあらかじめ組織された地域協力体制により速やかな援助を行います。 ・利用料は無料とします。
【1-2-2】 日常生活用具給付事業	・おおむね 65 歳以上の寝たきりの方等を対象とします。 ・火災警報機、自動消火器、電磁調理器の給付等を行います。 ・生計中心者の所得税額に応じて、料金が本人負担となります。
【1-2-3】 老人福祉電話の貸与事業	・65 歳以上の低所得のひとり暮らし高齢者等で安否の確認が必要であると認められた方を対象とします。 ・電話を無償で貸し出します。 ・通話料が本人負担となります。
【1-2-4】 配食サービス事業	・ひとり暮らし高齢者(おおむね 65 歳以上)の方、高齢者のみの世帯に属する方及び高齢者と身体に障害のある方で構成する世帯に属する方等で自ら調理することが困難な方を対象とします。 ・栄養のバランスが取れた食事を定期的に自宅まで提供するとともに安否確認等を行います。 ・原材料費等実費相当分が本人負担となります。
【1-2-5】 外出支援サービス事業	・市が実施しているリハビリ教室を利用している方のうち一般の交通機関を利用することが困難な 65 歳以上の方で、在宅のひとり暮らしの方、または高齢者のみの世帯の方(日中同様となる方を含む)を対象とします。 ・自宅とリハビリ教室会場間のタクシーによる送迎を行います。 ・送迎費用の 2 割の額(300 円を限度)が本人負担となります。

事業名	内容
【1-2-6】 愛の定期便事業	・おおむね 65 歳以上のひとり暮らし高齢者を対象とします。 ・自宅に乳製品を配布しながら安否の確認等を行います。 ・利用料は無料とします。
【1-2-7】 住宅整備資金の貸付事業	・60 歳以上の高齢者と同居、または同居しようとしている家族で、高齢者の専用居室を真に必要としているが自己資金で整備することが困難な家族を対象とします。 ・貸付限度額 2,264,000 円 ・利率 年利 2.5%以内 ・償還 10 年(2 年据置)
【1-2-8】 福祉用具・住宅改修支援事業	・住宅改修支援給付の意見書を作成した介護支援専門員に対し補助金を給付します。

(3) 高齢者福祉施設の充実

老人福祉センター及びデイサービスセンター「ライト」の設備や、機能の充実を図るとともに、積極的な利用促進に努めます。

また、養護老人ホームをはじめ、軽費老人ホーム及び、特別養護老人ホームについては、現在のサービス供給量を確保します。

事業名	内容
【1-3-1】 北茨城市老人福祉センター「ライト」の管理運営	・高齢者の趣味教養活動等を行うための施設で、北茨城市社会福祉協議会が指定管理運営をしています。 ・地域に開かれた施設を基本として、高齢者の生きがいづくりなど各種講座を多数開催します。 ・使用料金 市内居住者で 60 歳以上の方:無料 市内居住者で 60 歳未満の方:200 円／1 回 市外居住者:500 円／1 回 ・休館日 日曜日、年末年始
【1-3-2】 北茨城市デイサービスセンター「ライト」の管理運営	・在宅の虚弱高齢者に対し、通所による各種サービスを提供する施設で、北茨城市社会福祉協議会が指定管理運営をしています。 ・利用料金 介護保険法に定められた通所介護に係る費用の額及び食事代 ・休館日 日曜日、年末年始
【1-3-3】 養護老人ホームの充実	・養護老人ホームは、65 歳以上の方で身体的、精神的または環境上の理由及び経済的理由により自宅での生活が困難な方が入所する施設です。 ・近隣市町村の施設を利用することでサービスの充足を図ります。
【1-3-4】 軽費老人ホームの充実 (ケアハウス等)	・軽費老人ホーム(ケアハウス等)は、身体的機能の低下が認められ、または高齢のため独立して生活するには不安が認められる方で、家族の援護が受けられない人を対象とした施設です。 ・事業所の設置計画は1箇所であり、現在は1箇所の事業所がサービスを提供しています。
【1-3-5】 特別養護老人ホームの充実	・特別養護老人ホームは、身体上、または精神上著しい障害があり、居宅において適切な介護を受けることが困難な方が入所する施設です。 ・事業所の設置計画は2箇所であり、現在は 2 箇所の事業所がサービスを提供しています。

2 介護保険の充実

(1) 介護サービスの充実（居宅サービス）

要介護者及び、要支援者を対象として、住み慣れた自宅で暮らしながら、状態を悪化させずに生活するための各種サービスを充実させます。また、各種サービスを適切に利用できるように支援するための介護予防サービス及び介護サービスを提供します。

サービス名	内容
【2-1-1】 訪問介護	・訪問介護員（ホームヘルパー）が家庭を訪問して、身体介護や生活援助を行います。
【2-1-2】 訪問入浴介護	・訪問入浴車で家庭を訪問して、入浴を提供します。
【2-1-3】 訪問看護	・看護師などが家庭を訪問して、療養上の世話や診療の補助を行います。
【2-1-4】 訪問リハビリテーション	・理学療法士や作業療法士などが家庭を訪問して、心身の機能回復や日常生活の自立を助けるための理学療法、作業療法などを行います。
【2-1-5】 居宅療養管理指導	・医師、歯科医師、薬剤師などが家庭を訪問して、療養管理や指導などを行います。
【2-1-6】 通所介護	・デイサービスセンターなどで入浴、食事の提供や生活に関する相談等の日常生活の世話のほか機能訓練などを行います。
【2-1-7】 通所リハビリテーション	・介護老人保健施設や病院などで心身の機能回復を図り日常生活の自立を助けるための理学療法、作業療法などを行います。
【2-1-8】 短期入所生活介護	・介護老人福祉施設などに短期間入所して、入浴、排泄、食事などの介護やその他の日常生活上の世話などを行います。
【2-1-9】 短期入所療養介護	・介護老人保健施設や介護療養型医療施設に短期間入所して、看護、医学的管理下での介護、機能訓練、その他必要な医療及び日常生活上の世話などを行います。
【2-1-10】 福祉用具貸与	・日常生活を助けるための福祉用具（車いすや特殊寝台など）を貸与します。
【2-1-11】 特定福祉用具販売	・ポータブルトイレや入浴補助用具など排泄や入浴に使われる福祉用具の購入費の一部を支給します。
【2-1-12】 住宅改修費	・手すりの取り付けや段差解消などの小規模な住宅改修費の一部を支給します。
【2-1-13】 特定施設入所者生活介護	・有料老人ホームや在宅介護対応型軽費老人ホームなどに入所している要介護者等について、入浴、排泄、食事などの介護、日常生活上の世話、機能訓練及び療養上の世話などを行います。 ・事業所の設置計画は1箇所であり、現在は軽費老人ホーム1箇所の事業所がサービスを提供しています。
【2-1-14】 居宅介護支援	・居宅で介護を受ける要支援・要介護者の心身の状況、希望などを踏まえ、介護サービス計画を作成するとともに、サービス提供機関との連絡調整などを行います。

(2) 介護サービスの充実（地域密着型サービス）

要介護者及び、要支援者を対象として、認知症高齢者や中重度の要介護高齢者等が住み慣れた地域で継続した生活がおくれるよう各種サービスを充実させます。

また、国の制度改正に伴い、新たに創設された 24 時間対応の定期巡回・随時対応型訪問看護や複合型サービスを導入します。

サービス名	内容
【2-2-1】 夜間対応型訪問介護	・夜間に、定期的な巡回訪問または通報を受け、入浴、排泄、食事等の介護その他日常生活の世話などを行います。 ・事業所の設置計画は3箇所であり、現在はサービスを提供していません。
【2-2-2】 認知症対応型通所介護	・認知症である方が、デイサービスセンターなどで入浴、食事の提供や生活に関する相談等の日常生活の世話のほか機能訓練などを行います。 ・事業所の設置計画は3箇所であり、現在は1箇所の事業所がサービスを提供しています。
【2-2-3】 小規模多機能型居宅介護	・「通い」を中心として、要支援、要介護者の様態や希望に応じて随時「訪問」や「泊まり」を組み合わせ、入浴、排泄、食事その他日常生活上の世話及び機能訓練などを行います。 ・事業所の設置計画は3箇所であり、現在の2箇所の事業所がサービスを提供しています。
【2-2-4】 認知症対応型共同生活介護	・軽度から中度の認知症である高齢者等が共同(5～9人)で生活し、食事、入浴などの介護その他の日常生活の世話及び機能訓練などを行います。 ・事業所の設置計画は4箇所であり、現在は4箇所の事業所がサービスを提供しています。
【2-2-5】 地域密着型特定施設入居者生活介護	・有料老人ホームやケアハウスなどに入居している要介護者に対し、介護サービス計画に基づいて、機能訓練や入浴、排泄、食事などの介護及びその他の日常生活の世話などを行います。 ・事業所の設置計画及び、サービスの提供を見込んでいません。
【2-2-6】 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	・施設入居者に対して、介護サービス計画に基づいて、入浴、排泄、食事などの介護、その他の日常生活の世話、機能訓練及び健康管理等を行います。 ・事業所の設置計画及び、サービスの提供を見込んでいません。
【2-2-7】 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	・重度者をはじめとした要介護高齢者の在宅生活を支えるため、日中・夜間を通じて、訪問介護と訪問看護が密接に連携しながら、短時間の定期巡回訪問と随時の対応を行います。 ・事業所の設置計画は1箇所であり、現在はサービスを提供していません。
【2-2-8】 複合型サービス	・小規模多機能型居宅介護と訪問看護など、複数の居宅サービスや地域密着型サービスを組み合わせ提供する複合型サービスを提供します。 ・事業所の設置計画は1箇所であり、現在はサービスを提供していません。

（３）介護サービスの充実（施設サービス）

家族の都合などによって自宅で介護を受けることのできない要介護者が施設に入所して介護を受けることのできる施設サービスを充実させます。また、日常生活上の支援や機能訓練などのさらなる充実を目指します。

サービス名	内容
【2-3-1】 介護老人福祉施設	・入所者に、介護サービス計画に基づいて、入浴、排泄、食事などの介護、その他の日常生活の世話、機能訓練及び健康管理等を行います。 ・事業所の設置計画は2箇所であり、現在は2箇所の事業所がサービスを提供しています。
【2-3-2】 介護老人保健施設	・入所者に、介護サービス計画に基づいて、介護、医学的管理下での介護、機能訓練その他必要な医療等を行います。 ・事業所の設置計画は2箇所であり、現在は2箇所の事業所がサービスを提供しています。
【2-3-3】 介護療養型医療施設	・入所者に、介護サービス計画に基づいて、療養上の管理、看護、医学的管理下での介護などの世話及び機能訓練その他必要な医療等を行います。 ・事業所の設置計画は1箇所であり、現在は1箇所の事業所がサービスを提供しています。

3 地域支援の充実

(1) 元気を保つ介護予防の推進

要介護状態・要支援状態にはないものの、そのおそれがある二次予防高齢者を対象に、加齢による生活機能の低下を予防するサービスや介護予防の意義や知識の普及啓発を推進します。

事業名	内容
【3-1-1】 二次予防高齢者把握事業	・二次予防高齢者であるかどうかを判断するため日常生活の状況に関する25項目からなる「基本チェックリスト」を用いて、日常生活を自立して送ることができるために必要な能力が十分であるかどうかを確認します。
【3-1-2】 通所型介護予防事業	・二次予防高齢者を対象に、介護予防運動や生活習慣病予防教室、腰痛予防など各種予防介護教室を開催します。
【3-1-3】 訪問型介護予防事業	・二次予防高齢者を対象に、保健師等が訪問し、生活機能に関する課題を総合的に把握したうえで必要とされる相談・指導を行います。
【3-1-4】 介護予防普及啓発事業	・介護予防の普及啓発を図るために、地域リハビリ教室(くるみの会など)や認知症サポート講座、予防介護教室を開催します。

(2) 高齢者の日常生活に対する自立支援

介護認定で「自立」と判定され、介護保険サービスの対象とならない方の中で、日常生活に支障があり、社会的支援があれば自立した生活が可能な方に、介護予防・自立支援を推進するためのサービスを提供します。

事業名	内容
【3-2-1】 生活管理指導員派遣事業	・おおむね65歳以上の方で、介護保険の給付対象とはならないが、日常生活に支障がある方などを対象とします。 ・生活管理指導員を派遣し、家事等の支援・指導を行います。 ・介護保険サービスに準じる額を負担してもらいます。
【3-2-2】 生きがい活動支援通所事業	・おおむね65歳以上の方で、介護保険の給付対象とはならないが、日常生活に支障がある方などを対象とします。 ・施設への通所により日常動作訓練や趣味活動等のサービスを提供します。 ・介護保険サービスに準じる額を負担してもらいます。
【3-2-3】 軽度生活援助事業	・日常生活に援助が必要で、ひとり暮らし高齢者の方、高齢者のみの世帯の方、その他援助が必要と認められる方を対象とします。 ・生活援助員が自宅を訪問して家事、家周りの軽微な手入れや修繕等を行います。 ・利用時間に応じた利用料金を負担してもらいます。

（３）高齢者を介護する家族の負担軽減

高齢者を介護する家族の精神的負担、金銭的負担の軽減を図るために必要なサービスを提供します。

事業名	内容
【3-3-1】 訪問理美容費助成事業	・おおむね 65 歳以上在宅高齢者で、介護保険の要介護認定で要介護 3、4 または 5 に認定された方を対象とします。 ・理美容師の出張に要する費用を助成します。（年 4 回まで） ・理美容費用は全額本人に負担してもらいます。
【3-3-2】 徘徊高齢者等家族支援サービス事業	・徘徊高齢者等を介護している家族の方を対象とします。 ・徘徊高齢者等の位置を検索するシステムを活用し、その方の徘徊時にその居場所を家族に伝えるとともに、状況により現場に急行し安全確保を図ります。 ・毎月のシステム利用料金外を負担してもらいます。
【3-3-3】 家族介護用品給付事業	・在宅高齢者で介護保険の要介護認定で、要介護4または5と認定された方を介護している方を対象とします。 ・介護用品（紙おむつ等）を、年額 36,000 円を限度に給付します。
【3-3-4】 家族介護慰労金支給事業	・市内に居住し、介護保険の要介護認定で要介護 4 または 5 に認定された方、またはそれに準じる 65 歳以上の方を在宅で介護している方を対象とします。 ・慰労金を給付します。
【3-3-5】 介護支援用具給付事業	・おおむね 65 歳以上でねたきりの方を対象とします。 ・介護支援用具（食事介助具一式・空気清浄器）の給付を行います。 ・生計中心者の所得税額に応じて、料金を負担してもらいます。

4 地域包括ケアの充実

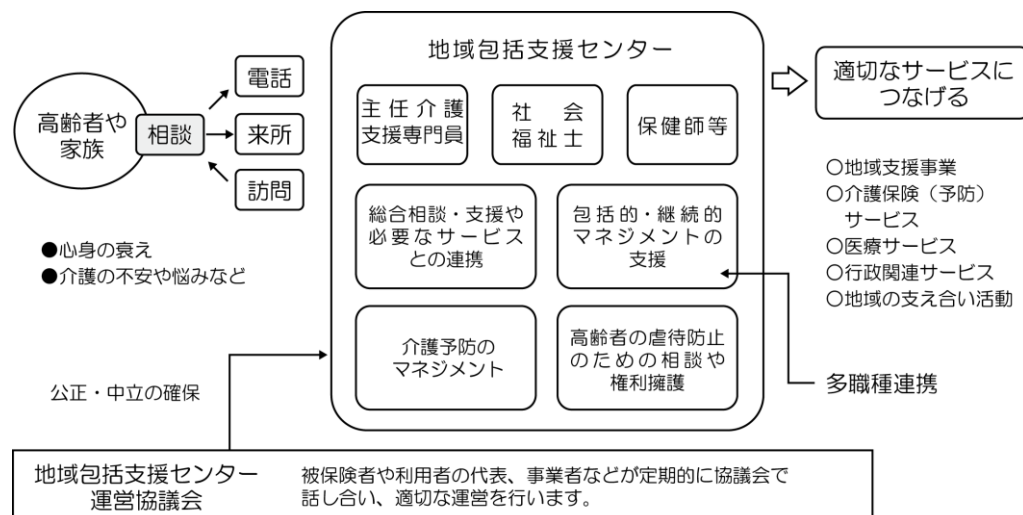
(1) 地域包括支援センター・在宅介護支援センターの機能強化

在宅で援護が必要な高齢者の方、また、要介護となるおそれのある高齢者の方とその家族の方の介護等に関する相談窓口として、地域包括支援センター・在宅介護支援センターの機能強化に努めます。

また、高齢者の生活を総合的に支援する地域包括支援センターを軸に、介護保険や医療・福祉サービスの総合的な連携を図ることで、高齢者が安心した生活を送れるよう支援します。

事業名	内容
【4-1-1】 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	・個々の高齢者の状況変化に応じた適切なケアマネジメントの充実、ケアマネジャーの資質向上、ケアマネジメントの公正・中立性の確保を図るため、地域のケアマネジャーを後方支援するとともに、多職種の連携・協働による長期継続ケアの支援を行います。
【4-1-2】 介護予防ケアマネジメント事業	・二次予防高齢者を対象とした介護予防事業に関するケアマネジメントや要支援者に対する介護予防サービス計画の作成など、高齢者とサービス提供事業者などとの連絡・調整を行う介護予防ケアマネジメントを行います。
【4-1-3】 地域包括支援センター運営事業	・地域の総合的な相談窓口機能、介護予防マネジメント、包括的・継続的マネジメント支援を担う「地域包括支援センター」を運営します（市役所高齢福祉課内）。 ・保健・福祉・医療の各関係機関との連絡調整を図り、地域ケア体制の機能強化を推進します。
【4-1-4】 在宅介護支援センターの運営	・地域包括支援センターと連携し、在宅介護等に関する総合相談に応じるとともに、関係機関との連絡調整を行います。 （ときわの杜、おはよう館、のぞみ）

図表 地域包括支援センターのイメージ図



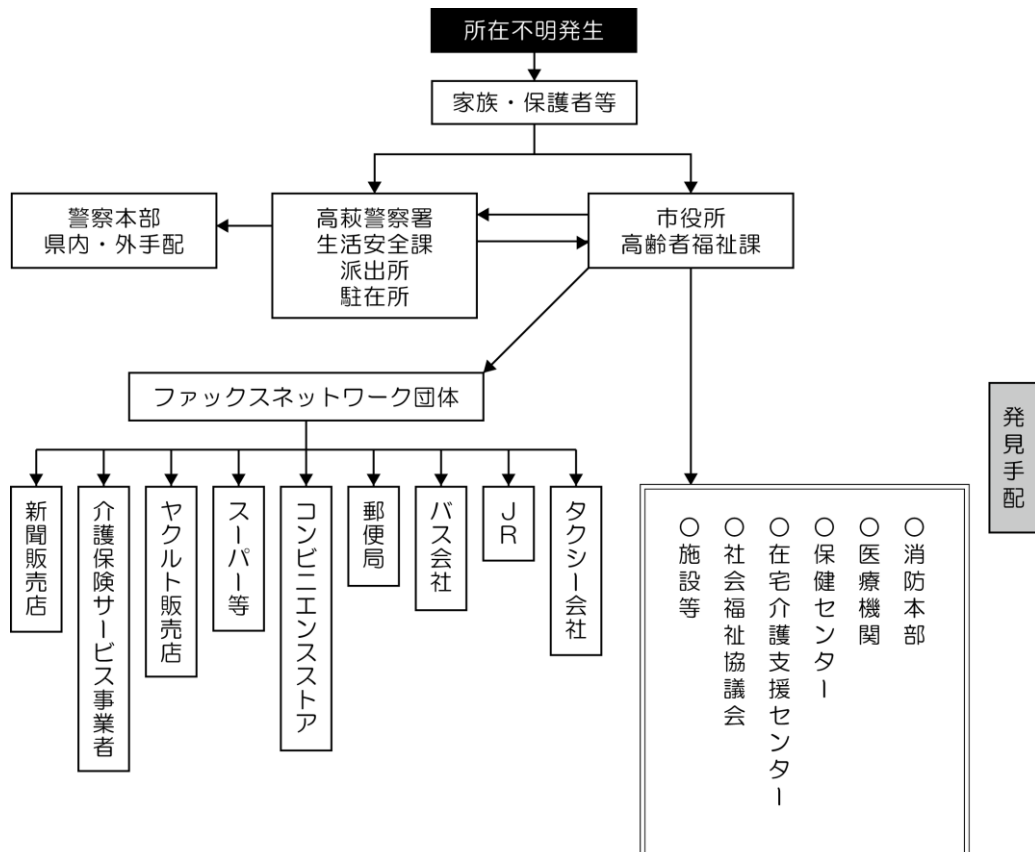
(2) 認知症対策と高齢者の権利擁護の推進

認知症の方が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、本人やその家族に対して、行政と地域が一体となった支援を行う仕組みを確立するとともに認知症に対する正しい知識の普及と成年後見人制度や権利擁護の推進を図ります。

また、高齢者虐待の防止や早期発見、虐待を受けた高齢者や援護者に対する支援を行います。

事業名	内容
【4-2-1】 家族介護教室事業	・介護者の精神的な負担を軽減するため、認知症の高齢者とその家族の集いを開催します。
【4-2-2】 総合相談・権利擁護・成年後見人制度	・高齢者虐待の実態を把握するとともに、その防止に努めます。 ・高齢者の権利擁護の取り組みを進めるため研修会等を開催します。 ・意思表示能力に問題があり、親族の援助も見込めない高齢者に対し、成年後見費用の助成を行います。
【4-2-3】 認知症サポーター養成事業	・認知症の高齢者やその家族を支援する「認知症サポーター」を養成します。 ・中学生を対象に同様の講座を実施し啓発を図ります。
【4-2-4】 SOSネットワーク事業	・地域が一体となったSOS体制の充実を図り、徘徊認知症高齢者の早期発見、早期保護に努めます。

図表 SOSネットワーク事業のイメージ図



(3) 地域における福祉活動の推進

高齢者や介護に関する講座や福祉のつどい等を開催し、高齢者や介護について関心を高め、理解を促進することで、互助・扶助の精神の高揚を図ります。

事業名	内容
【4-3-1】 地域における福祉意識 の高揚・啓発	・保健・福祉・医療等の多職種と地域が連携し、在宅ケアを充実させ、安心・安全に住み慣れた地域で暮らせるまちづくりを目指すため、地域ケアの確立を図ります。
【4-3-2】 ボランティア活動等の充 実	・ボランティア(グループ)育成のための養成講座等の開催、活動の支援を継続します。 ・ボランティア活動者が気軽に集い、日常的な意見交換、ニーズの把握等ができる活動拠点としてボランティア市民活動センターの充実を図ります。 ・NPOの自主的な活動を支援するとともに、ボランティア団体などのネットワーク化を推進し、連携を進めます。 ・地域コミュニティー等が一体となった、高齢者の災害時における避難体制の確立を図ります。

第5章 各種事業の利用実績と見込み量

1 高齢者福祉事業の利用実績と見込み量

高齢者福祉事業では、現行のサービス水準を維持しながら現状の利用者数を確保する見込みです。

	事業名		実績		見込み量		
			H21	H22	H24	H25	H26
1-1-1	老人福祉自動車寿号の運行	利用台数(台)	73	76	90	90	90
1-1-2	ダイヤモンド婚・金婚祝	給付件数(件)	36	41	50	50	50
1-1-3	老人クラブ活動の支援	会員数(人)	2,267	2,122	2,300	2,300	2,300
1-1-4	高齢者生きがい対策事業	参加者数(人)	8,592	8,102	8,500	8,500	8,500
1-1-5	敬老祝金	支給人数(人)	747	775	770	770	770
1-1-6	いきいきふれあいサロン事業	参加者数(人)	2,213	2,037	2,300	2,300	2,300
1-1-7	高齢者ふれあいゆったり事業	利用者数(人)	5,572	4,710	4,800	4,800	4,800
1-2-1	緊急通報体制等の整備事業	通報装置設置数(台)	369	352	400	400	400
1-2-2	日常生活用具給付事業	給付件数(件)	0	0	10	10	10
1-2-3	老人福祉電話の貸与事業	貸与件数(台)	10	10	15	15	15
1-2-5	外出支援サービス事業	利用者数(人)	2	2	10	10	10
1-2-6	愛の定期便事業	利用者数(人)	43	49	60	60	60
1-2-7	住宅整備資金の貸付事業	貸付件数(件)	0	0	1	1	1

	事業名		実績		見込み量		
			H21	H22	H24	H25	H26
1-3-1	北茨城市老人福祉センター「ライト」の管理運営	利用人数(人)	10,157	8,765	10,000	10,000	10,000
1-3-2	北茨城市デイサービスセンター「ライト」の管理運営	利用人数(人)	4,174	4,570	5,000	5,000	5,000
1-3-3	養護老人ホームの充実	(近隣市町村の施設において、8 名程度の利用が見込まれる)					
1-3-4	軽費老人ホームの充実(ケアハウス等)	(市内 1 施設において、42 人の入所利用が見込まれる)					
1-3-5	特別養護老人ホームの充実	(市内 2 施設において、200 人弱の利用が見込まれる)					
3-2-1	生活管理指導員派遣事業	利用人数(人)	7	1	5	5	5
3-2-2	生きがい活動支援通所事業	利用人数(人)	5	3	5	5	5
3-2-3	軽度生活援助事業	利用人数(人)	48	56	60	60	60
3-3-1	訪問理美容費助成事業	利用人数(人)	20	18	30	30	30
4-3-1	地域における福祉意識の高揚・啓発	(地域での福祉意識高揚につながる地域ケア会議を 12 回程度開催する見込み)					
4-3-2	ボランティア活動等の充実	(北茨城市社会福祉協議会のボランティア市民活動センターに登録しているボランティアグループや福祉団体を通じたボランティア活動参加者の拡大が見込まれる)					

2 介護保険対象サービスの利用実績と見込み量

過去の利用実績を基礎として、日常生活圏域ニーズ調査などを総合的に勘案し、各年度のサービスの種類ごとの見込み量を設定します。

(1) 居宅サービスの利用実績と見込み量

①介護予防サービス

居宅サービス（介護予防サービス）の利用者は、おおむね横ばいに推移していくことが予想されます。

	サービス名		実績(年度)		見込み量(年度)		
			H21	H22	H24	H25	H26
2-1-1	介護予防訪問介護	利用者数	2,017	2,102	2,348	2,871	3,395
		達成率	(97.4)	(95.3)			
2-1-2	介護予防訪問入浴介護	利用者数	0	1	0	0	0
		達成率	－	－			
2-1-3	介護予防訪問看護	利用者数	91	93	108	133	157
		達成率	(77.8)	(74.4)			
2-1-4	介護予防訪問リハビリテーション	利用者数	36	23	16	19	23
		達成率	(156.5)	(95.8)			
2-1-5	介護予防居宅療養管理指導	利用者数	70	48	48	48	72
		達成率	(132.1)	(82.8)			
2-1-6	介護予防通所介護	利用者数	935	1,242	1,513	1,851	2,188
		達成率	(124.7)	(155.3)			
2-1-7	介護予防通所リハビリテーション	利用者数	727	729	868	1,063	1,259
		達成率	(146.9)	(138.9)			
2-1-8	介護予防短期入所生活介護	利用者数	21	23	24	36	48
		達成率	(53.8)	(56.1)			
2-1-9	介護予防短期入所療養介護	利用者数	57	48	35	46	57
		達成率	(146.2)	(117.1)			
2-1-10	介護予防福祉用具貸与	利用者数	474	652	929	1,138	1,347
		達成率	(144.1)	(189.0)			
2-1-11	特定介護予防福祉用具販売	利用者数	43	41	36	36	36
		達成率	(87.8)	(83.7)			
2-1-12	介護予防住宅改修費	利用者数	37	48	40	48	60
		達成率	(160.9)	(192.0)			
2-1-13	介護予防特定施設入居者生活介護	利用者数	12	20	11	10	10
		達成率	(50.0)	(83.3)			
2-1-14	介護予防支援	利用者数	3,319	3,646	3,600	3,720	4,440
		達成率	(110.1)	(113.7)			
合計			7,839	8,716	9,576	11,019	13,092

②介護サービス

居宅サービス（介護サービス）の利用者は、おおむね横ばいに推移していくことが予想されます。

	サービス名		実績(年度)		見込み量(年度)		
			H21	H22	H24	H25	H26
2-1-1	訪問介護	利用者数	3,903	3,725	4,034	4,649	5,263
		達成率	(68.0)	(58.4)			
2-1-2	訪問入浴介護	利用者数	268	267	352	429	505
		達成率	(65.5)	(56.4)			
2-1-3	訪問看護	利用者数	465	529	519	619	718
		達成率	(44.0)	(44.5)			
2-1-4	訪問リハビリテーション	利用者数	91	79	74	88	102
		達成率	(44.2)	(34.3)			
2-1-5	居宅療養管理指導	利用者数	537	478	480	540	614
		達成率	(83.3)	(66.5)			
2-1-6	通所介護	利用者数	2,933	3,116	3,842	4,384	4,926
		達成率	(87.7)	(84.3)			
2-1-7	通所リハビリテーション	利用者数	2,159	2,209	2,380	2,755	3,131
		達成率	(71.5)	(66.0)			
2-1-8	短期入所生活介護	利用者数	467	515	736	847	959
		達成率	(105.2)	(103.0)			
2-1-9	短期入所療養介護	利用者数	572	605	638	748	858
		達成率	(68.0)	(64.4)			
2-1-10	福祉用具貸与	利用者数	3,581	3,853	4,433	5,254	6,075
		達成率	(79.1)	(75.3)			
2-1-11	特定福祉用具販売	利用者数	96	119	112	104	96
		達成率	(104.3)	(117.8)			
2-1-12	住宅改修費	利用者数	66	63	36	36	36
		達成率	(108.2)	(94.0)			
2-1-13	特定施設入居者生活介護	利用者数	71	83	119	131	143
		達成率	(49.3)	(57.6)			
2-1-14	居宅介護支援	利用者数	7,609	7,795	8,376	9,228	10,164
		達成率	(74.2)	(68.6)			
合計			22,818	23,436	26,131	29,812	33,590

(2) 地域密着型サービスの利用実績と見込み量

①介護予防サービス

地域密着型サービス（介護予防サービス）の利用者は、介護予防小規模多機能型居宅介護の利用者が増加していくことが予想されます。

	サービス名		実績(年度)		見込み量(年度)		
			H21	H22	H24	H25	H26
2-2-2	介護予防認知症対応型通所介護	利用者数	0	6	0	0	0
		達成率	(0.0)	(37.5)			
2-2-3	介護予防小規模多機能型居宅介護	利用者数	53	62	72	84	96
		達成率	(110.4)	(114.8)			
2-2-4	介護予防認知症対応型共同生活介護	利用者数	39	5	0	0	0
		達成率	(325.0)	(41.7)			
合計			92	73	72	84	96

②介護サービス

地域密着型サービス（介護サービス）の利用者は、大きく増加していくことが予想されます。

	サービス名		実績(年度)		見込み量(年度)		
			H21	H22	H24	H25	H26
2-2-1	夜間対応型訪問介護	利用者数	0	0	12	12	12
		達成率	(0.0)	(0.0)			
2-2-2	認知症対応型通所介護	利用者数	74	289	596	808	1020
		達成率	(60.2)	(209.4)			
2-2-3	小規模多機能型居宅介護	利用者数	327	402	539	693	848
		達成率	(123.9)	(139.6)			
2-2-4	認知症対応型共同生活介護	利用者数	826	880	757	818	882
		達成率	(95.6)	(101.9)			
2-2-5	地域密着型特定施設入居者生活介護	利用者数	0	0	0	0	0
		達成率	-	-			
2-2-6	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	利用者数	0	0	0	0	0
		達成率	-	-			
2-2-7	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	利用者数	0	0	12	12	12
		達成率	-	-			
2-2-8	複合型サービス	利用者数	0	0	0	0	0
		達成率	-	-			
合計			1,227	1,571	1,916	2,343	2,774

(3) 施設サービスの利用実績と見込み量

施設サービスの利用者は、当面、現状の施設数で対応する見込みであることから、横ばいに推移していくことが予想されます。

	サービス名		実績(年度)		見込み量(年度)		
			H21	H22	H24	H25	H26
2-3-1	介護老人福祉施設	利用者数	2,245	2,323	2,352	2,352	2,352
		達成率	(110.0)	(113.9)			
2-3-2	介護老人保健施設	利用者数	2,128	2,212	2,232	2,232	2,232
		達成率	(108.1)	(112.4)			
2-3-3	介護療養型医療施設	利用者数	596	594	540	540	540
		達成率	(93.7)	(93.4)			
合計			4,969	5,129	5,124	5,124	5,124

地域密着型サービスの日常生活圏域別事業見込み量

地域密着型サービスは、各地区の人口規模や高齢化率等を考慮しながら、日常生活圏域ごとに算出しています。

【認知症対応型通所介護（介護予防含む）】

【小規模多機能型居宅介護（介護予防含む）】

単位：千円

単位：千円

		実績	見込み量(年度)			
		H22	H24	H25	H26	
北部地区	利用者数	203	418	566	714	
	給付費	17,341	34,202	45,517	56,843	
中部地区	利用者数	74	152	206	260	
	給付費	6,324	12,443	16,573	20,704	
南部地区	利用者数	12	26	36	46	
	給付費	1,029	2,136	2,906	3,664	
合計	利用者数	289	596	808	1,020	
	給付費	24,694	48,781	64,996	81,211	

		実績	見込み量(年度)			
		H22	H24	H25	H26	
北部地区	利用者数	73	96	123	149	
	給付費	11,114	15,946	21,137	26,131	
中部地区	利用者数	186	245	311	378	
	給付費	28,312	40,681	53,416	66,253	
南部地区	利用者数	205	270	343	417	
	給付費	31,203	44,831	58,911	73,085	
合計	利用者数	464	611	777	944	
	給付費	70,629	101,458	133,464	165,469	

【認知症対応型共同生活介護（介護予防含む）】

単位：千円

		実績	見込み量(年度)			
		H22	H24	H25	H26	
北部地区	利用者数	235	207	224	243	
	給付費	51,790	56,819	58,167	60,423	
中部地区	利用者数	260	231	250	269	
	給付費	57,297	63,406	64,916	66,888	
南部地区	利用者数	385	319	344	370	
	給付費	84,835	87,553	89,320	91,996	
合計	利用者数	880	757	818	882	
	給付費	193,922	207,778	212,403	219,307	

北部地区（大津町・平潟町・関本町）

中部地区（関南町・磯原町）

南部地区（華川町・中郷町）

3 地域支援事業の利用実績と見込み量

(1) 介護予防事業

介護予防事業の利用者は、二次予防高齢者把握事業の実施回数を大幅に増加させるとともに、通所型介護予防事業、訪問型介護予防事業、介護予防普及啓発事業のいずれも利用促進を図ります。

	サービス名		実績(年度)		見込み量(年度)		
			H21	H22	H24	H25	H26
3-1-1	二次予防高齢者把握事業	把握人数 (人)	80	81	400	400	400
3-1-2	通所型介護予防事業	(通所リハビリ事業所を通した各種教室への利用が見込まれる)					
3-1-3	訪問型介護予防事業	(保健師の居宅訪問による相談・指導の利用が見込まれる)					
3-1-4	介護予防普及啓発事業	参加人数 (人)	—	492	600	600	600

(2) 包括的支援事業

包括的支援事業の利用者は、おおむね横ばいに推移するものと予想されます。また、相談窓口を充実させ、各ケースに応じて「権利擁護事業」、「成年後見人制度」、「施設への入所」、「虐待への適切な対応」、「消費者被害の防止」などの諸制度の活用を促進します。

	サービス名		実績(年度)		見込み量(年度)		
			H21	H22	H24	H25	H26
4-1-1	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	利用者数 (人)	1,004	990	1,000	1,000	1,000
4-1-2	介護予防ケアマネジメント事業	利用者数 (人)	2,367	2,691	2,700	2,700	2,700
4-1-3	地域包括支援センター事業	利用者数 (人)	306	816	850	850	850
4-1-4	在宅介護支援センターの運営	相談件数 (人)	2,182	2,625	2,850	2,850	2,850
4-2-2	総合相談・権利擁護・成年後見人制度	(総合相談の結果、支援が必要と判断したケースについて、諸制度を活用した利用が見込まれる)					

(3) 任意事業

任意事業の利用者は、おおむね横ばいに推移するものと予想されます。また、利用実績がない事業についても、必要に応じたサービスの提供が見込まれます。

	サービス名		実績(年度)		見込み量(年度)		
			H21	H22	H24	H25	H26
1-2-4	配食サービス事業	配食件数(食)	14,855	13,116	15,000	15,000	15,000
1-2-8	福祉用具・住宅改修支援事業	利用者数(人)	103	110	76	84	96
3-3-2	徘徊高齢者等家族支援サービス事業	利用者数(人)	4	1	5	5	5
3-3-3	家族介護用品給付事業	利用者数(人)	166	222	280	280	280
3-3-4	家族介護慰労金支給事業	利用者数(人)	109	128	140	140	140
3-3-5	介護支援用具給付事業	(過去に利用実績はないが今後も事業を継続する)					
4-2-1	家族介護教室事業	参加者数(人)	625	188	250	250	250
4-2-3	認知症サポーター養成事業	参加者数(人)	708	587	600	600	600
4-2-4	SOSネットワーク事業	利用者数(人)	0	1	1	1	1

(4) 在宅要援護老人調査

本市の在宅で援護を要する高齢者数を把握するため、民生委員を通じて要援護老人調査を実施しています。

在宅要援護老人数は、高齢者人口の増加により、今後も増えていくことが予想されます。

在宅要援護老人数		実績(年度)			見込み量(年度)		
		H21	H22	H23	H24	H25	H26
高齢者世帯人数	(人)	2,848	2,895	2,899	3,070	3,126	3,180
ひとり暮らし老人数	(人)	1,299	1,362	1,353	1,433	1,458	1,483
寝たきり老人数	(人)	142	145	135	143	146	150
認知症老人数	(人)	73	63	66	70	72	74
合 計 (要援護者数)	(人)	4,362	4,465	4,453	4,716	4,802	4,887

第6章 介護保険事業に係る費用の見込み量

1 事業計画期間にかかる費用の見込み量

第5章で整理した介護サービス見込み量を基に、介護保険事業に要する費用の合計額を算出します。

標準給付見込み額は、年々増加する見込みであり、地域支援事業費については、標準給付費見込額の3%以内を目安に設定します。

単位：千円

	サービス名	H24 年度	H25 年度	H26 年度	合計
標準給付費	居宅サービス等	1,269,545	1,481,010	1,697,814	4,448,369
	地域密着型サービス	361,597	414,443	469,567	1,245,607
	施設サービス	1,341,091	1,341,091	1,352,730	4,034,912
	高額介護サービス費等	194,582	200,969	208,487	604,039
	小計	3,166,815	3,437,510	3,728,596	10,332,921
地域支援事業費		63,500	68,500	74,400	206,400
合計		3,230,315	3,506,010	3,802,996	10,539,321

2 介護給付費の内訳

(1) 居宅サービスにかかる給付費の実績と見込み量

①介護予防サービス

居宅サービス（介護予防サービス）の給付費は、おおむね横ばいに推移していくことが予想されます。

単位：千円

	サービス名		実績(年度)		見込み量(年度)		
			H21	H22	H24	H25	H26
2-1-1	介護予防訪問介護	給付費	40,374	41,887	46,643	57,075	67,508
		(達成率)	(88.6)	(86.6)			
2-1-2	介護予防訪問入浴介護	給付費	0	30	0	0	0
		(達成率)	－	－			
2-1-3	介護予防訪問看護	給付費	1,630	1,555	1,726	2,112	2,499
		(達成率)	(66.8)	(60.2)			
2-1-4	介護予防訪問リハビリテーション	給付費	692	438	351	432	512
		(達成率)	(109.3)	(66.4)			
2-1-5	介護予防居宅療養管理指導	給付費	455	338	218	218	326
		(達成率)	(182.5)	(127.8)			
2-1-6	介護予防通所介護	給付費	32,740	40,898	49,292	60,372	71,451
		(達成率)	(120.8)	(142.6)			
2-1-7	介護予防通所リハビリテーション	給付費	31,220	30,155	36,602	44,895	53,190
		(達成率)	(152.0)	(139.5)			
2-1-8	介護予防短期入所生活介護	給付費	705	637	744	931	1,117
		(達成率)	(54.0)	(45.9)			
2-1-9	介護予防短期入所療養介護	給付費	2,386	2,263	775	952	1129
		(達成率)	(215.7)	(193.1)			
2-1-10	介護予防福祉用具貸与	給付費	1,507	2,223	3,279	4,019	4,759
		(達成率)	(81.7)	(115.0)			
2-1-11	特定介護予防福祉用具販売	給付費	1,439	1,383	1,125	1,125	1,125
		(達成率)	(135.9)	(130.6)			
2-1-12	介護予防住宅改修費	給付費	3,308	3,962	852	730	1095
		(達成率)	(128.7)	(142.7)			
2-1-13	介護予防特定施設入所者生活介護	給付費	575	1,519	1633	1545	2120
		(達成率)	(32.1)	(84.8)			
2-1-14	介護予防支援	給付費	14,042	15,514	15,280	15,789	18,844
		(達成率)	(91.7)	(94.8)			
合計			131,074	142,800	158,520	190,195	225,675

②介護サービス

居宅サービス（介護サービス）の給付費は、年々増加していくことが予想されます。

単位：千円

	サービス名		実績(年度)		見込み量(年度)		
			H21	H22	H24	H25	H26
2-1-1	訪問介護	給付費	183,155	179,764	229,966	270,968	311,969
		(達成率)	(67.1)	(58.8)			
2-1-2	訪問入浴介護	給付費	13,471	13,985	21,911	26,598	31,285
		(達成率)	(65.6)	(54.1)			
2-1-3	訪問看護	給付費	16,850	18,308	18,870	22,628	26,386
		(達成率)	(40.1)	(37.9)			
2-1-4	訪問リハビリテーション	給付費	1,910	1,754	1,086	1,288	1,491
		(達成率)	(34.5)	(28.1)			
2-1-5	居宅療養管理指導	給付費	2,880	2,637	1,816	2,052	2,353
		(達成率)	(87.7)	(72.1)			
2-1-6	通所介護	給付費	231,134	254,473	331,569	385,401	439,234
		(達成率)	(89.6)	(88.3)			
2-1-7	通所リハビリテーション	給付費	172,536	173,977	198,755	231,997	265,240
		(達成率)	(74.5)	(67.1)			
2-1-8	短期入所生活介護	給付費	37,529	37,441	55,798	65,041	74,285
		(達成率)	(109.4)	(95.5)			
2-1-9	短期入所療養介護	給付費	35,718	42,601	44,505	52,624	60,743
		(達成率)	(69.3)	(73.6)			
2-1-10	福祉用具貸与	給付費	49,988	52,300	60,800	72,848	84,895
		(達成率)	(76.3)	(70.0)			
2-1-11	特定福祉用具販売	給付費	3,269	4,622	2,438	2,124	1,809
		(達成率)	(115.2)	(148.4)			
2-1-12	住宅改修費	給付費	7,517	6,378	6,300	6,300	6,300
		(達成率)	(83.1)	(67.4)			
2-1-13	特定施設入所者生活介護	給付費	12,492	14,118	20,753	22,648	24,862
		(達成率)	(40.7)	(46.0)			
2-1-14	居宅介護支援	給付費	92,507	102,030	116,458	128,298	141,287
		(達成率)	(78.3)	(77.7)			
合計			860,956	904,387	1,111,025	1,290,815	1,472,139

(2) 地域密着型サービスにかかる給付費の実績と見込み量

①介護予防サービス

地域密着型サービス（介護予防サービス）の給付費は、介護予防小規模多機能型居宅介護の給付費が、今後、増加していくことが予想されます。

単位：千円

	サービス名		実績(年度)		見込み量(年度)		
			H21	H22	H24	H25	H26
2-2-2	介護予防認知症対応型通所介護	給付費	0	167	0	0	0
		(達成率)	(0.0)	(115.3)			
2-2-3	介護予防小規模多機能型居宅介護	給付費	2,654	3,274	4,039	4,692	5,343
		(達成率)	(89.0)	(96.5)			
2-2-4	介護予防認知症対応型共同生活介護	給付費	7,832	1,144	0	0	0
		(達成率)	(265.6)	(38.8)			
合計			10,486	4,585	4,039	4,692	5,343

②介護サービス

地域密着型サービス（介護サービス）の給付費は、年々増加していくことが予想されます。

単位：千円

	サービス名		実績(年度)		見込み量(年度)		
			H21	H22	H24	H25	H26
2-2-1	夜間対応型訪問介護	給付費	0	0	291	291	291
		(達成率)	(0.0)	(0.0)			
2-2-2	認知症対応型通所介護	給付費	9,069	24,694	48,781	64,996	81,211
		(達成率)	(56.7)	(134.8)			
2-2-3	小規模多機能型居宅介護	給付費	54,212	67,355	97,419	128,772	160,126
		(達成率)	(136.0)	(151.3)			
2-2-4	認知症対応型共同生活介護	給付費	178,634	193,922	207,778	212,403	219,307
		(達成率)	(85.3)	(92.7)			
2-2-5	地域密着型特定施設入居者生活介護	給付費	0	0	0	0	0
		(達成率)	-	-			
2-2-6	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	給付費	0	0	0	0	0
		(達成率)	-	-			
2-2-7	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	給付費	0	0	3,289	3,289	3,289
		(達成率)	-	-			
2-2-8	複合型サービス	給付費	0	0	0	0	0
		(達成率)	-	-			
合計			241,914	285,971	357,558	409,751	464,224

(3) 施設サービスにかかる給付費の実績と見込み量

施設サービスの給付費は、当面、現状の施設数で対応する見込みであることから、横ばいに推移していくことが予想されます。

単位：千円

	サービス名		実績(年度)		見込み量(年度)		
			H21	H22	H24	H25	H26
2-3-1	介護老人福祉施設	給付費	533,342	559,080	576,635	576,635	584,373
		(達成率)	106.7%	111.9%			
2-3-2	介護老人保健施設	給付費	542,887	571,480	581,439	581,439	585,340
		(達成率)	107.3%	112.6%			
2-3-3	介護療養型医療施設	給付費	203,920	193,903	183,017	183,017	183,017
		(達成率)	99.5%	94.6%			
合計			1,280,149	1,324,462	1,341,091	1,341,091	1,352,730

(4) 高額介護サービス費等

高額介護サービス等の事業費は、年々増加していくことが予想されます。

サービス名		実績(年度)		見込み量(年度)		
		H21 年度	H22 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度
高額介護サービス費等	事業費	175,159	188,207	194,582	200,969	208,487

(5) 地域支援事業費

地域支援事業の事業費は、年々増加していくことが予想されます。

サービス名		実績(年度)		見込み量(年度)		
		H21 年度	H22 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度
地域支援事業費	事業費	51,938	51,763	63,500	68,500	74,400

計画の推進に向けて

北茨城市においては、これまで高齢者の福祉施策、地域包括支援センターを中心とした高齢者の生活等を支援し、さらに介護予防に積極的に取り組んできたところです。

今後さらなる高齢者の増加が見込まれる中、地域で生活する高齢者のニーズに応じた多様な福祉サービスや、複数の介護予防サービスを適切に組み合わせて提供していく支援が必要と思われます。

住み慣れた地域で、高齢者の生活をできる限り継続して支えるためには、「地域包括ケアシステム」の実現に向けて利用者をはじめ、地域住民、介護サービス提供者、医療機関、各種関係団体、民生委員、NPO 法人などの各関係者との連携・協働による連携強化を図り、本計画の効率的・効果的な推進を図ってまいります。

資料編

1 事業一覧

(該当ページ)

	事業	第4章 (概要)	第5章 (利用量)	第6章 (費用)
1-1-1	老人福祉自動車寿号の運行	P20	P33	－
1-1-2	ダイヤモンド婚・金婚祝	P20	P33	－
1-1-3	老人クラブ活動の支援	P20	P33	－
1-1-4	高齢者生きがい対策事業	P20	P33	－
1-1-5	敬老祝金	P20	P33	－
1-1-6	いきいきふれあいサロン事業	P20	P33	－
1-1-7	高齢者ふれあいゆったり事業	P20	P33	－
1-2-1	緊急通報体制等の整備事業	P21	P33	－
1-2-2	日常生活用具給付事業	P21	P33	－
1-2-3	老人福祉電話の貸与事業	P21	P33	－
1-2-4	配食サービス事業	P21	P40	－
1-2-5	外出支援サービス事業	P21	P33	－
1-2-6	愛の定期便事業	P22	P33	－
1-2-7	住宅整備資金の貸付事業	P22	P33	－
1-2-8	福祉用具・住宅改修支援事業	P22	P40	－
1-3-1	北茨城市老人福祉センター「ライト」の管理運営	P23	P34	－
1-3-2	北茨城市デイサービスセンター「ライト」の管理運営	P23	P34	－
1-3-3	養護老人ホームの充実	P23	P34	－
1-3-4	軽費老人ホームの充実(ケアハウス等)	P23	P34	－
1-3-5	特別養護老人ホームの充実	P23	P34	－
2-1-1	訪問介護/介護予防訪問介護	P24	P35・P36	P42・P43
2-1-2	訪問入浴介護/介護予防訪問入浴介護	P24	P35・P36	P42・P43
2-1-3	訪問看護/介護予防訪問看護	P24	P35・P36	P42・P43
2-1-4	訪問リハビリテーション/介護予防訪問リハビリテーション	P24	P35・P36	P42・P43
2-1-5	居宅療養管理指導/介護予防居宅療養管理指導	P24	P35・P36	P42・P43
2-1-6	通所介護/介護予防通所介護	P24	P35・P36	P42・P43
2-1-7	通所リハビリテーション/介護予防通所リハビリテーション	P24	P35・P36	P42・P43
2-1-8	短期入所生活介護/介護予防短期入所生活介護	P24	P35・P36	P42・P43
2-1-9	短期入所療養介護/介護予防短期入所療養介護	P24	P35・P36	P42・P43
2-1-10	福祉用具貸与/介護予防福祉用具貸与	P24	P35・P36	P42・P43
2-1-11	特定福祉用具販売/特定介護予防福祉用具販売	P24	P35・P36	P42・P43
2-1-12	住宅改修費/介護予防住宅改修費	P24	P35・P36	P42・P43
2-1-13	特定施設入所者生活介護/介護予防特定施設入所者生活介護	P24	P35・P36	P42・P43
2-1-14	居宅介護支援/介護予防居宅介護支援	P24	P35・P36	P42・P43

(該当ページ)

	事業	第 4 章 (概要)	第 5 章 (利用量)	第6章 (費用)
2-2-1	夜間対応型訪問介護	P25	P37	P44
2-2-2	認知症対応型通所介護	P25	P37	P44
2-2-3	小規模多機能型居宅介護	P25	P37	P44
2-2-4	認知症対応型共同生活介護	P25	P37	P44
2-2-5	地域密着型特定施設入居者生活介護	P25	P37	P44
2-2-6	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	P25	P37	P44
2-2-7	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	P25	P37	P44
2-2-8	複合型サービス	P25	P37	P44
2-3-1	介護老人福祉施設	P26	P38	P45
2-3-2	介護老人保健施設	P26	P38	P45
2-3-3	介護療養型医療施設	P26	P38	P45
3-1-1	二次予防高齢者把握事業	P27	P39	-
3-1-2	通所型介護予防事業	P27	P39	-
3-1-3	訪問型介護予防事業	P27	P39	-
3-1-4	介護予防普及啓発事業	P27	P39	-
3-2-1	生活管理指導員派遣事業	P28	P34	-
3-2-2	生きがい活動支援通所事業	P28	P34	-
3-2-3	軽度生活援助事業	P28	P34	-
3-3-1	訪問理美容費助成事業	P29	P34	-
3-3-2	徘徊高齢者等家族支援サービス事業	P29	P40	-
3-3-3	家族介護用品給付事業	P29	P40	-
3-3-4	家族介護慰労金支給事業	P29	P40	-
3-3-5	介護支援用具給付事業	P29	P40	-
4-1-1	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	P30	P39	-
4-1-2	介護予防ケアマネジメント事業	P30	P39	-
4-1-3	地域包括支援センター運営事業	P30	P39	-
4-1-4	在宅介護支援センターの運営	P30	P39	-
4-2-1	家族介護教室事業	P31	P40	-
4-2-2	総合相談・権利擁護・成年後見人制度	P31	P39	-
4-2-3	認知症サポーター要請事業	P31	P40	-
4-2-4	SOSネットワーク事業	P31	P40	-
4-3-1	地域における福祉意識の高揚・啓発	P32	P34	-
4-3-2	ボランティア活動等の充実	P32	P34	-

2 日常生活圏域ニーズ調査

(1) 調査概要

①調査目的

- ・老人福祉計画・介護保険事業計画の策定にあたり、高齢者を取り巻く現状を把握することを目的に実施した。

②調査基準日

- ・平成 23 年 2 月 1 日

③調査対象

- ・65 歳以上の北茨城市民 3, 0 0 0 人を無作為抽出。(ただし、要介護 3・4・5 の認定者を除く)

④調査方法

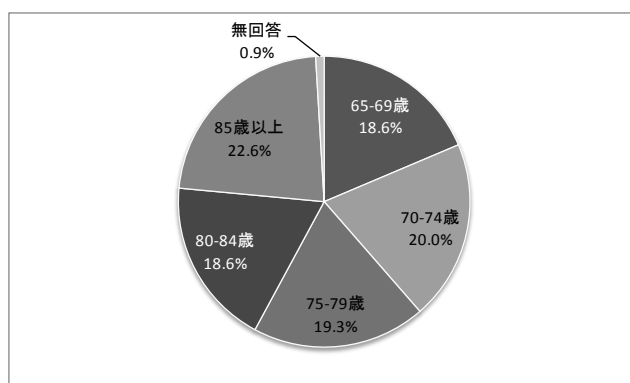
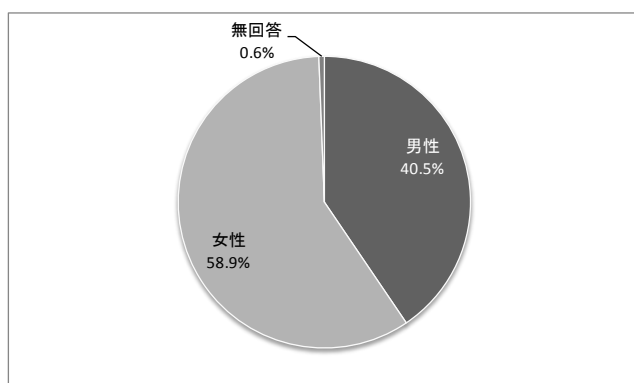
- ・「住民基本台帳」から無作為に抽出し、郵送による調査票の送付・回収を行った。
- ・調査期間は、平成 23 年 3 月 10 日（発送）～平成 23 年 4 月 30 日（投函締切）

⑤回収結果

- ・調査票回収数 1816 票（回収率 60.5%）

⑥回答者属性

- ・回答者の性別は、「男性」が 40.5%、「女性」が 58.9%である。
- ・回答者の年齢は、「85 歳以上」(22.6%) が最も多く、次いで「70-74 歳」が多い。



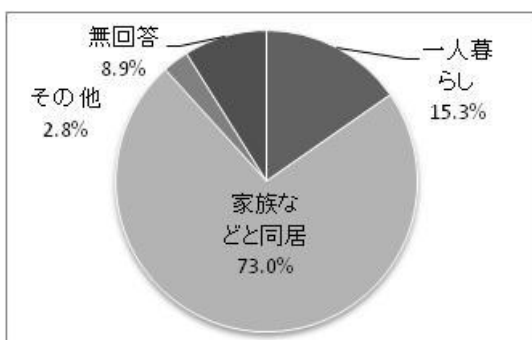
(2) アンケート結果

①あなたのご家族や生活状況について

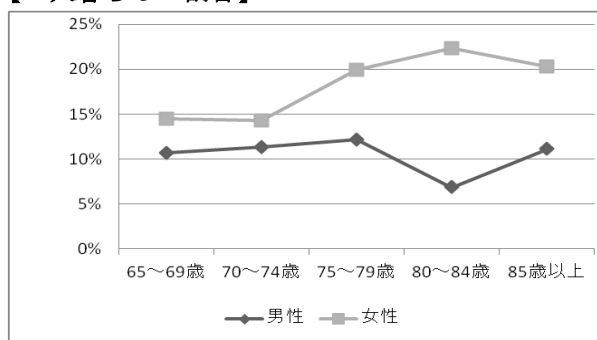
問 1 【SA】

家族構成を教えてください。

- ・家族構成は、「家族など同居」(73.0%) が最も多い。
- ・女性の方が「一人暮らし」の割合が高い。特に 75 歳からその割合が高く、配偶者との死別が想定される。



【一人暮らしの割合】



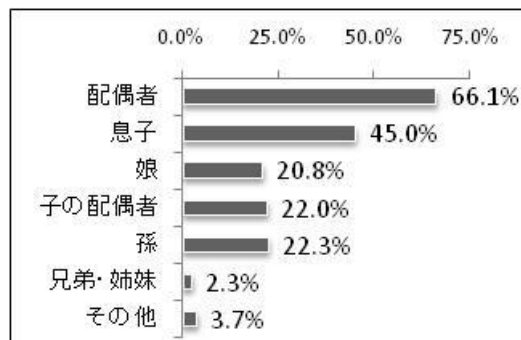
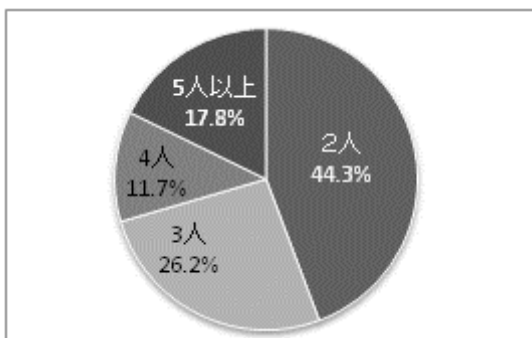
	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	19(10.7%)	19(11.4%)	18(12.2%)	9(6.9%)	12(11.1%)
女性	23(14.5%)	28(14.3%)	40(19.9%)	46(22.3%)	61(20.3%)

問 1-1

ご自分を含めて何人で暮らしていますか。

【MA】 まだ同居されている方はどなたですか？

- ・一人暮らし以外の回答者の同居人数は、「2人」(44.3%) が最も多く、次いで「3人」(26.2%) が多い。
- ・同居家族については、「配偶者」(66.1%) が最も多く、次いで「息子」(45.0%) が多い。

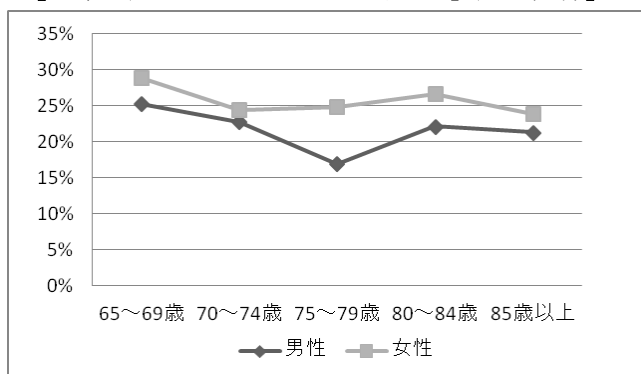
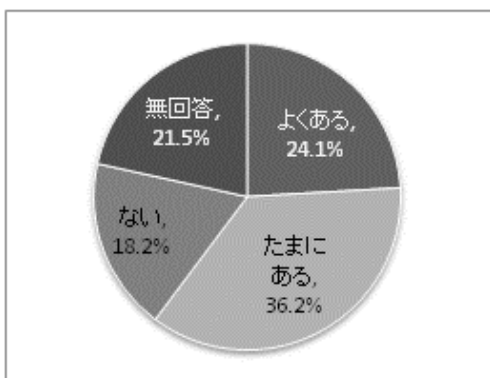


問 1-2
【SA】

日中、一人になることがありますか。

- ・家族と同居している回答者の日中一人になる頻度は、「たまにある」(36.2%) が最も多く、次いで「よくある」(24.1%) が多い。
- ・一人になることが「よくある」人の割合は、女性の方が高く、男女ともに 65～69 歳が最も高い。

【日中一人でいることが「よくある」人の割合】

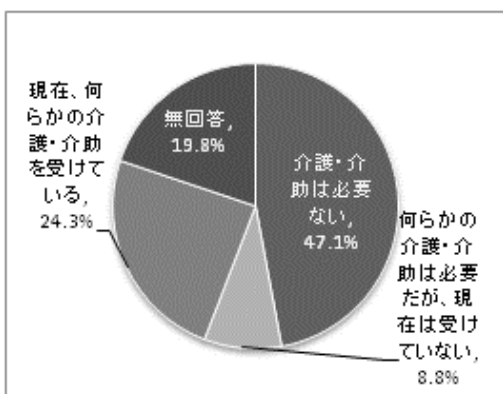


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	45(25.3%)	38(22.8%)	25(16.9%)	29(22.1%)	23(21.3%)
女性	46(28.9%)	48(24.5%)	50(24.9%)	55(26.7%)	72(23.9%)

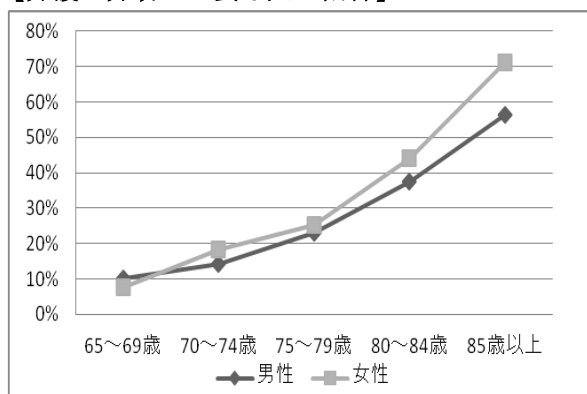
問 2
【SA】

あなたは、普段の生活の中でどなたかの介護・介助が必要ですか。

- ・「介護・介助は必要ない」(47.1%) が最も多く、次いで「現在何らかの介護・介助を受けている」(24.3%) が多い。
- ・高齢になるほど、介護・介助が必要な割合（「現在何らかの介護・介助を受けている」、「何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない」）が高く、女性の方がその傾向が強い。



【介護・介助が必要な人の割合】

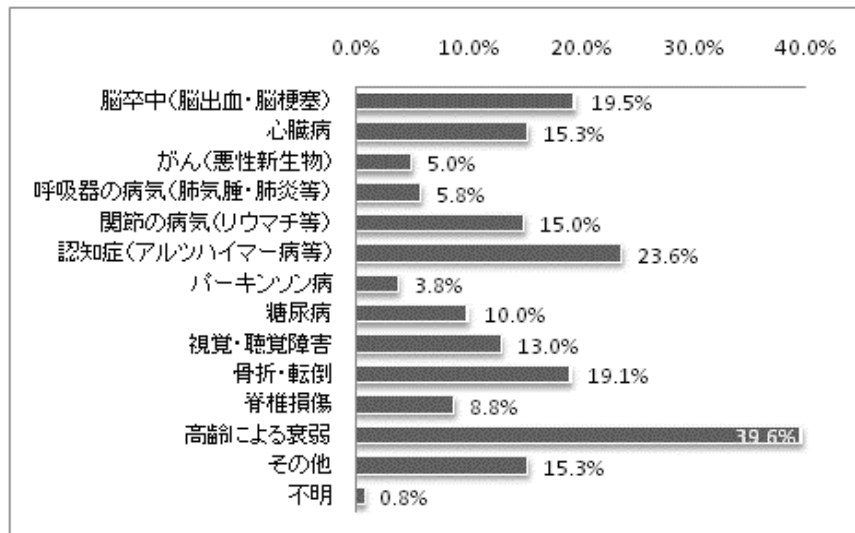


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	18(10.1%)	24(14.4%)	34(23.0%)	49(37.4%)	61(56.5%)
女性	12(7.5%)	36(18.4%)	51(25.4%)	91(44.2%)	214(71.1%)

問 2-1
【MA】

介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。

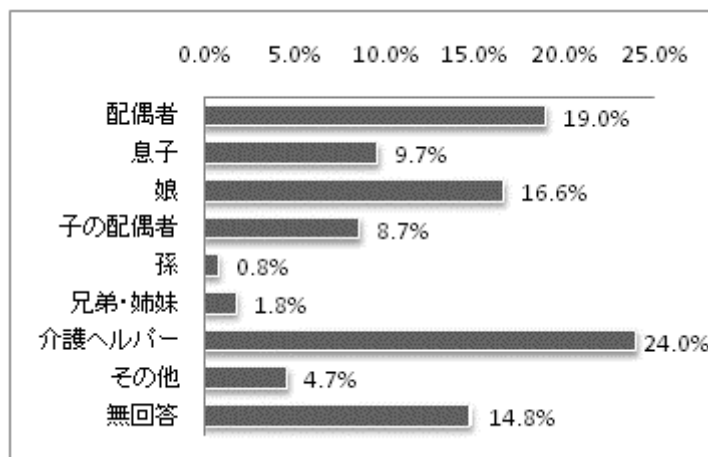
- ・介護・介助が必要になった原因は、「高齢による衰弱」（39.6％）が最も多く、次いで「認知症」（23.6％）、「脳卒中」（19.5％）、「骨折・転倒」（19.1％）が多い。



問 2-2
【SA】

“主に” 誰の介護・介助を受けていますか。

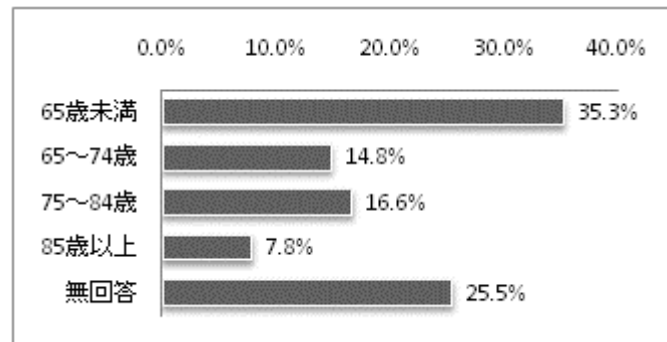
- ・主な介護・介助者は、「介護ヘルパー」（24.0％）が最も多く、次いで「配偶者」（19.0％）、「娘」（16.6％）が多い。



問2-3
【SA】

“主に” 介護・介助している方の年齢は、次のどれですか。

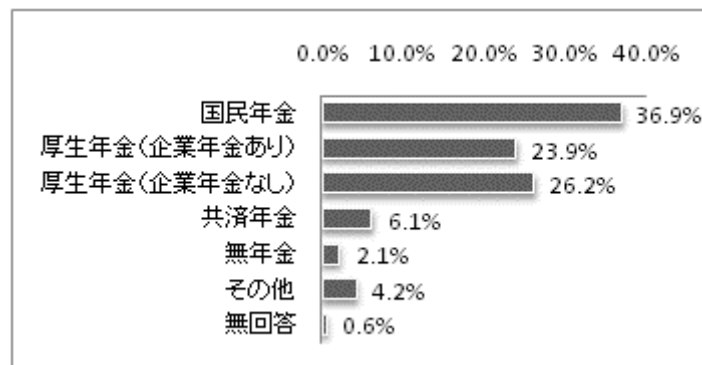
- ・介護・介助者の年齢は、「65歳未満」（35.3%）が最も多い。
- ・しかしながら、75歳以上の介護・介助者も24.4%あり、老老介護が多くみられる。



問3
【SA】

年金の種類は次のどれですか。

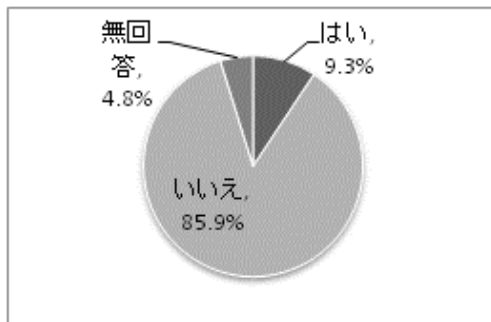
- ・受給している年金の種類は、「国民年金」（36.9%）が最も多く、次いで「厚生年金（企業年金なし）」（26.2%）、「厚生年金（企業年金あり）」（23.9%）が多い。



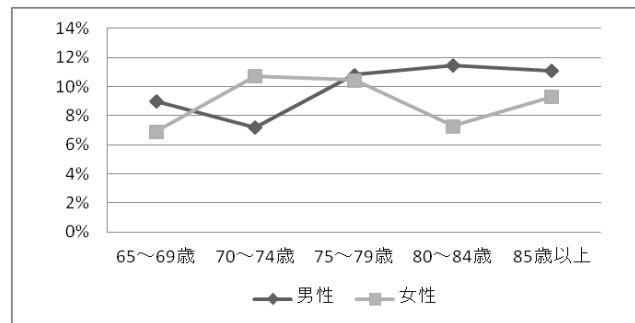
問4
【SA】

現在、収入のある仕事をしていますか。

- ・「はい（仕事をしている）」が 9.3%、「いいえ（仕事をしていない）」が 85.9%であり、「いいえ」が多数を占める。
- ・「はい（仕事をしている）」の割合は、男性の場合 75 歳以上の年齢層が高い。



【収入がある仕事をしている人の割合】

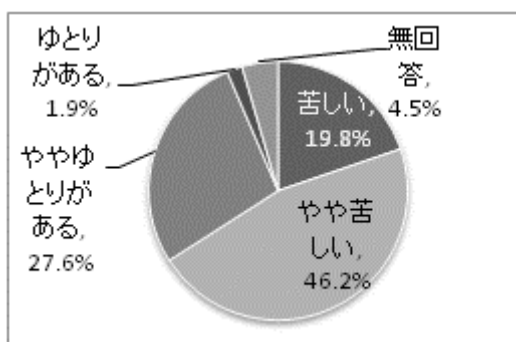


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	16(9.0%)	12(7.2%)	16(10.8%)	15(11.5%)	12(11.1%)
女性	11(6.9%)	21(10.7%)	21(10.4%)	15(7.3%)	28(9.3%)

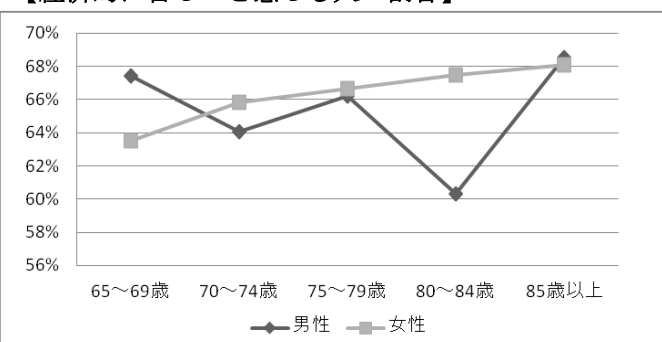
問5
【SA】

現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

- ・経済的な状況は、「やや苦しい」（46.2%）が最も多く、次いで「ややゆとりがある」（27.6%）が多い。
- ・女性は高齢になるほど、経済的に「苦しい」、「やや苦しい」と感じる人の割合が高い。



【経済的に苦しいと感じる人の割合】

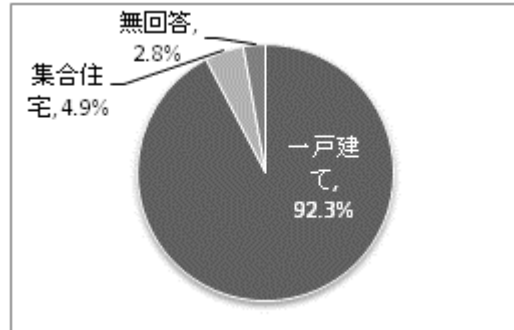


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	120(67.4%)	107(64.1%)	98(66.2%)	79(60.3%)	74(68.5%)
女性	101(63.5%)	129(65.8%)	134(66.7%)	139(67.5%)	205(68.1%)

問6
【SA】

お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。

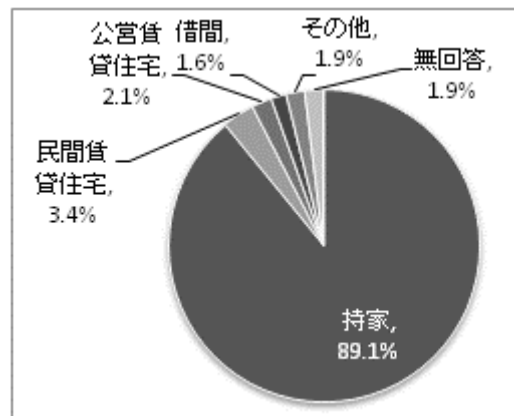
- ・住居は、「一戸建て」（92.3％）が多数を占め、「集合住宅」（4.9％）は少数である。



問7
【SA】

お住まいは、次のどれにあたりますか。

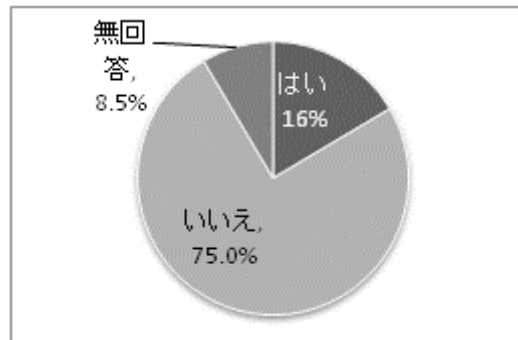
- ・「持家」（89.1％）が多数を占め、「民間賃貸住宅」（3.4％）、「公営賃貸住宅」（2.1％）、借間（1.6％）など、賃貸は少数である。



問 8
【SA】

お住まい（主に生活する部屋）は2階以上にありますか。

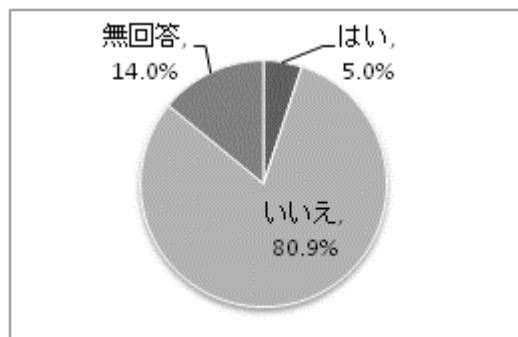
- ・「はい（2階以上が主に生活する部屋）」が 16.0%、「いいえ（1階が主に生活する部屋）」が 75.0%であり、「いいえ」が多数を占める。



問 8-1
【SA】

お住まいにエレベーターは設置されていますか。

- ・2階以上が主に生活する部屋である場合のエレベーター設置状況は、「はい（設置されている）」が 5%、「いいえ（設置されていない）」が 80.9%であり、「いいえ」が多数を占める。

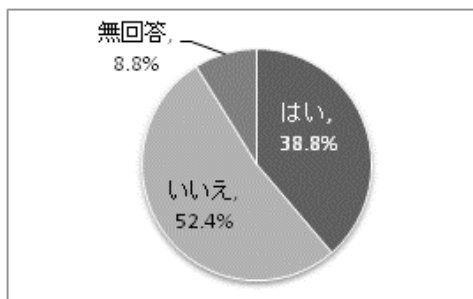


②運動・閉じこもりについて

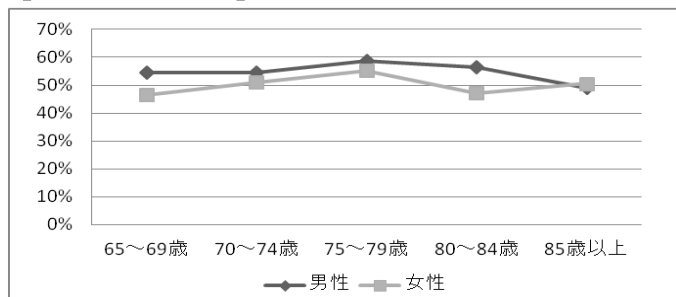
問 1 【SA】

階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。

- ・「はい（つたわず昇る）」が 38.8%、「いいえ（つたわらないと昇れない）」が 52.4%であり、「いいえ」が過半数を占める。
- ・「いいえ（つたわらないと昇れない）」の割合は、男性の方が若干高い。



【「いいえ」の割合】

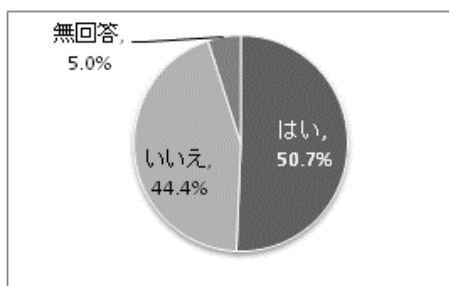


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	97(54.5%)	91(54.5%)	87(58.8%)	74(56.5%)	53(49.1%)
女性	74(46.5%)	100(51.0%)	111(55.2%)	97(47.1%)	152(50.5%)

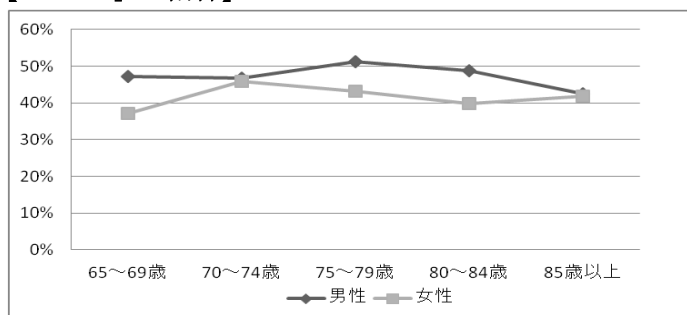
問 2 【SA】

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれますか。

- ・「はい（立ち上がれる）」が 50.7%、「いいえ（立ち上がれない）」が 44.4%であり、「はい」の方が多。
- ・「いいえ（立ち上がれない）」の割合は、男性の方が若干高い。



【「いいえ」の割合】

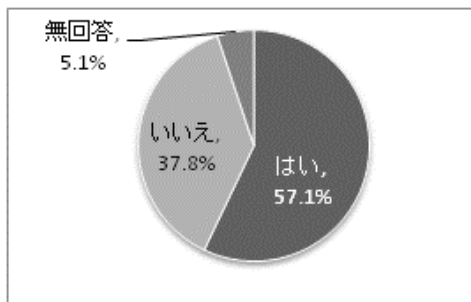


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	84(47.2%)	78(46.7%)	76(51.4%)	64(48.9%)	46(42.6%)
女性	59(37.1%)	90(45.9%)	87(43.3%)	82(39.8%)	126(41.9%)

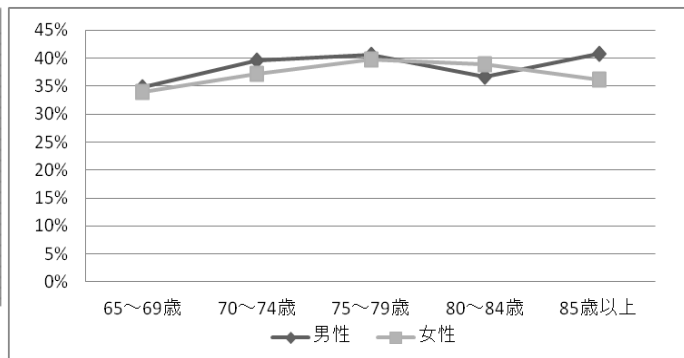
問3
【SA】

15分位続けて歩けますか。

- ・「はい（歩ける）」が57.1%、「いいえ（歩けない）」が37.8%であり、「はい」が過半数を占める。



【「いいえ」の割合】

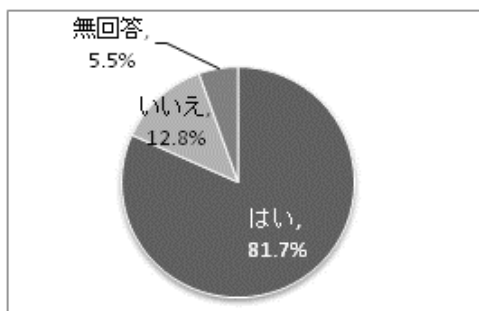


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	62(34.8%)	66(39.5%)	60(40.5%)	48(36.6%)	44(40.7%)
女性	54(34.0%)	73(37.2%)	80(39.8%)	80(38.8%)	109(36.2%)

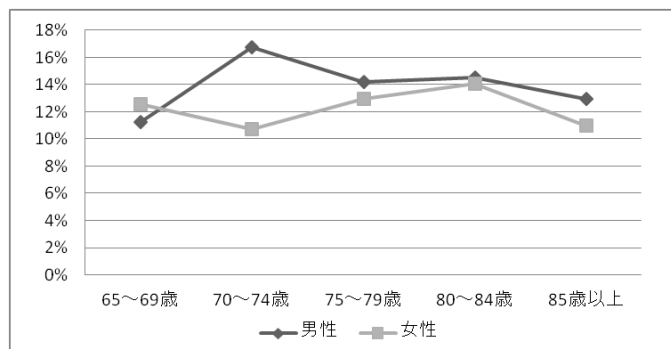
問4
【SA】

5m以上歩けますか。

- ・「はい（歩ける）」が81.7%、「いいえ（歩けない）」が12.8%であり、「はい」が多数を占める。
- ・「いいえ（歩けない）」の割合は、70歳以上では男性の方が高い。



【「いいえ」の割合】



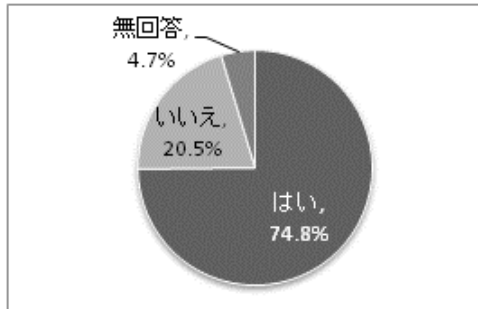
	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	20(11.2%)	28(16.8%)	21(14.2%)	19(14.5%)	14(13.0%)
女性	20(12.6%)	21(10.7%)	26(12.9%)	29(14.1%)	33(11.0%)

問5

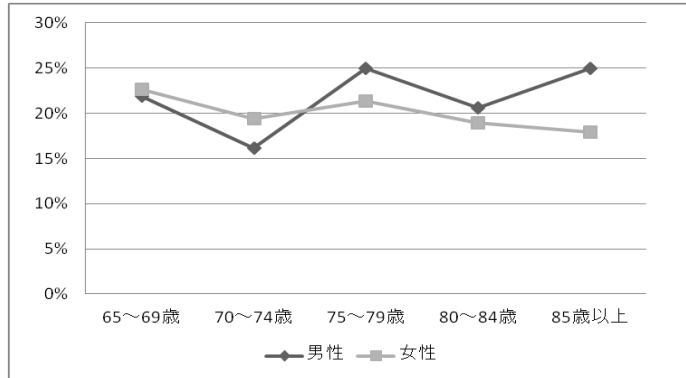
【SA】

週に1回以上は外出していますか。

- ・「はい（している）」が74.8%、「いいえ（外出していない）」が20.5%であり、「はい」が多数を占める。



【「いいえ」の割合】



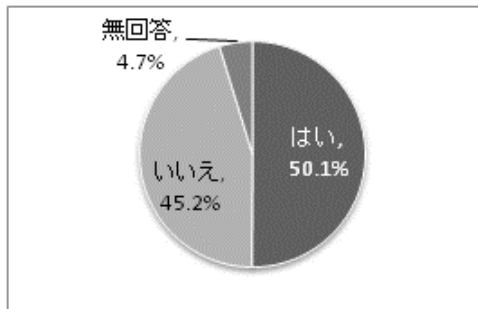
	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	39(21.9%)	27(16.2%)	37(25.0%)	27(20.6%)	27(25.0%)
女性	36(22.6%)	38(19.4%)	43(21.4%)	39(18.9%)	54(17.9%)

問6

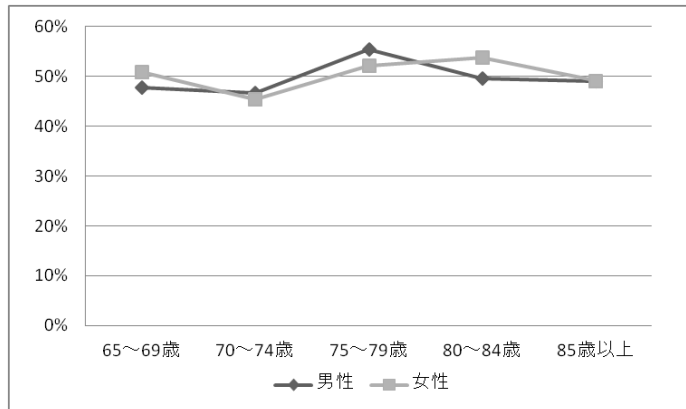
【SA】

昨年と比べて外出の回数が減っていますか。

- ・「はい（減った）」が50.1%、「いいえ（減らなかった）」が45.2%であり、「はい」の方がが多い。



【「はい」の割合】

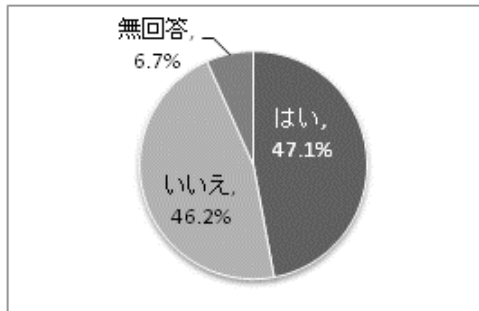


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	85(47.8%)	78(46.7%)	82(55.4%)	65(49.6%)	53(49.1%)
女性	81(50.9%)	89(45.4%)	105(52.2%)	111(53.9%)	148(49.2%)

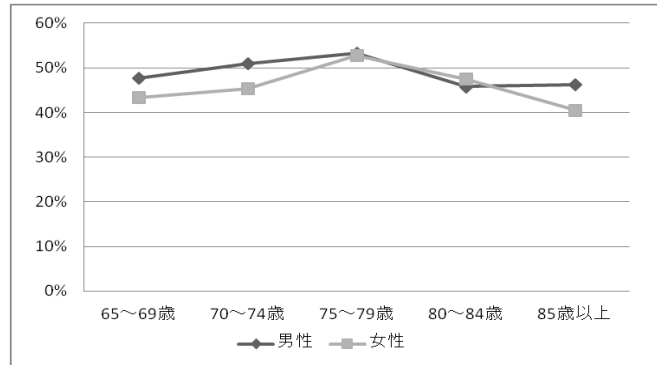
問 7
【SA】

外出を控えていますか。

- ・「はい（控えている）」が 47.1%、「いいえ（控えていない）」が 46.2%とほぼ半々である。



【「はい」の割合】

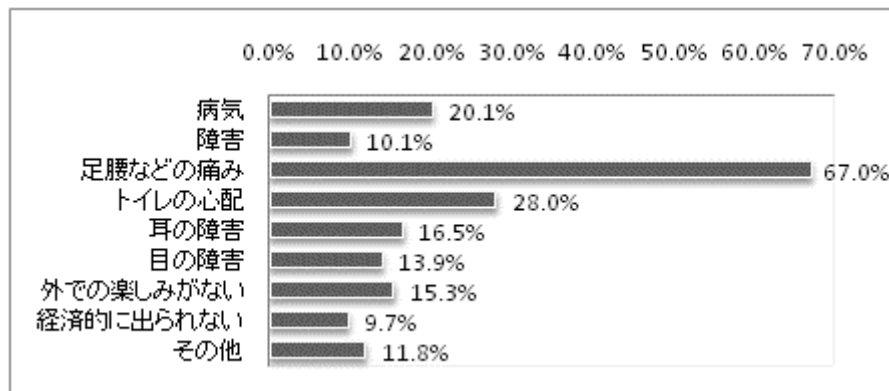


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	85(47.8%)	85(50.9%)	79(53.4%)	60(45.8%)	50(46.3%)
女性	69(43.4%)	89(45.4%)	106(52.7%)	98(47.6%)	122(40.5%)

問 7-1
【MA】

外出を控えている理由は、次のどれですか。

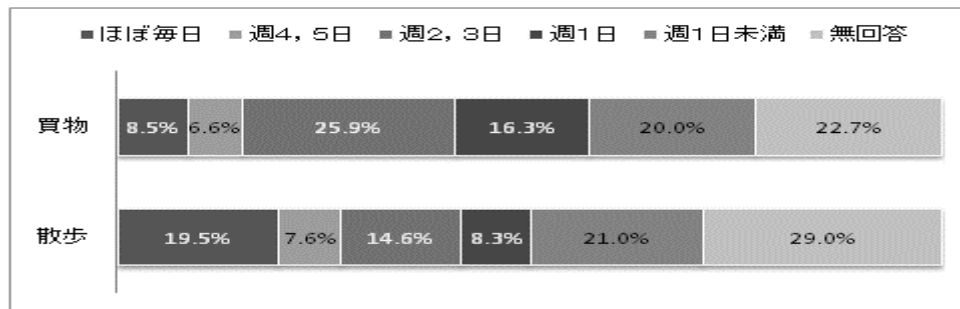
- ・「足腰などの痛み」（67.0%）が最も多く、次いで「トイレの心配」（28.0%）が多い。



問8
【SA】

買物・散歩で外出する頻度はどのくらいですか。

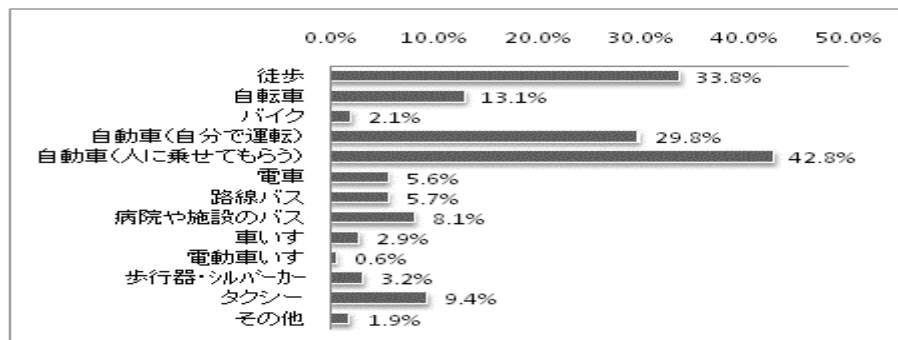
- ・買物で外出する頻度は、「週2、3日」(25.9%)が最も多く、次いで「週1日未満」(20.0%)が多い。
- ・散歩で外出する頻度については、「週1日未満」(21.0%)が最も多く、次いで「ほぼ毎日」(19.5%)が多い。



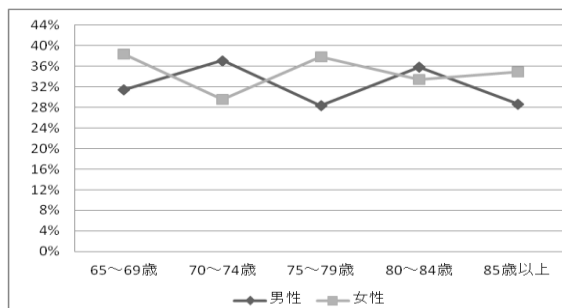
問9
【MA】

外出する際の移動手段はなんですか。

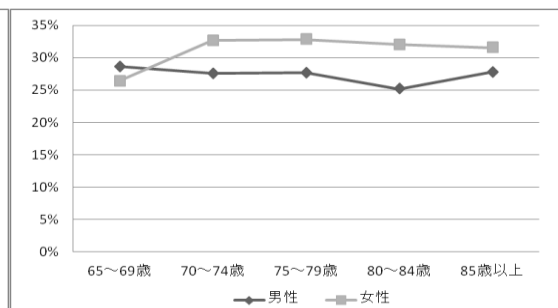
- ・外出する際の移動手段については、「自動車(人に乗せてもらう)」(42.8%)が最も多く、次いで「徒歩」(33.8%)が多い。
- ・自分で自動車を運転して外出する人の割合は、70歳以上では女性の方が多い。



【「徒歩」の割合】



【「自動車(自分で運転)」の割合】



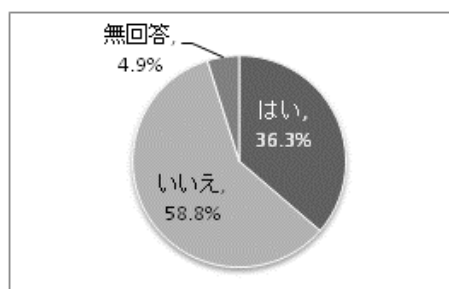
	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上		65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	56(31.5%)	62(37.1%)	42(28.4%)	47(35.9%)	31(28.7%)	男性	51(28.7%)	46(27.5%)	41(27.7%)	33(25.2%)	30(27.8%)
女性	61(38.4%)	58(29.6%)	76(37.8%)	69(33.5%)	105(34.9%)	女性	42(26.4%)	64(32.7%)	66(32.8%)	66(32.0%)	95(31.6%)

③転倒防止について

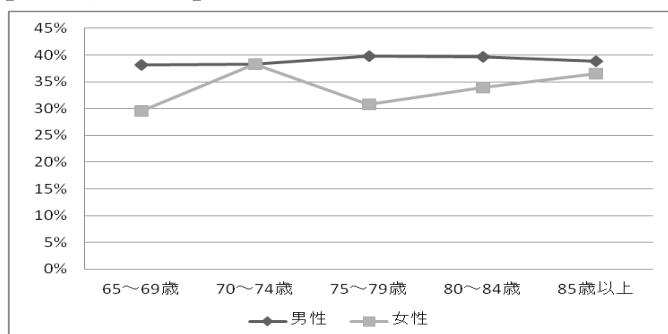
問 1 【SA】

この1年間に転んだことがありますか。

- ・「いいえ（転んでいない）」が58.8%、「はい（転んだ）」が36.3%であり、「いいえ」が過半数を占める。
- ・「はい（転んだ）」の割合は、男性の方が高い。



【「はい」の割合】

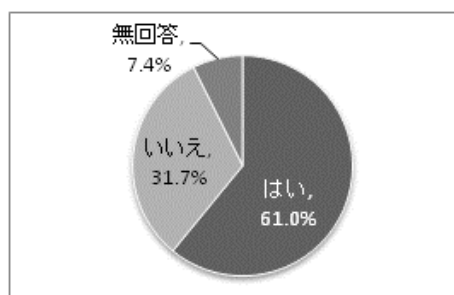


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	68(38.2%)	64(38.3%)	59(39.9%)	52(39.7%)	42(38.9%)
女性	47(29.6%)	75(38.3%)	62(30.8%)	70(34.0%)	110(36.5%)

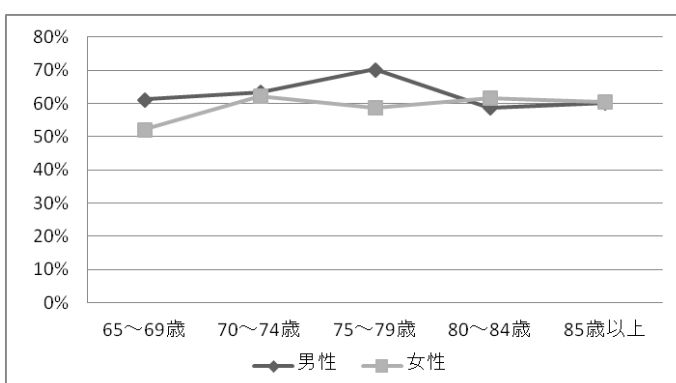
問 2 【SA】

転倒に対する不安は大きいですか。

- ・「はい（不安である）」が61.0%、「いいえ（不安でない）」が31.7%であり、「はい」が多数を占める。



【「はい」の割合】

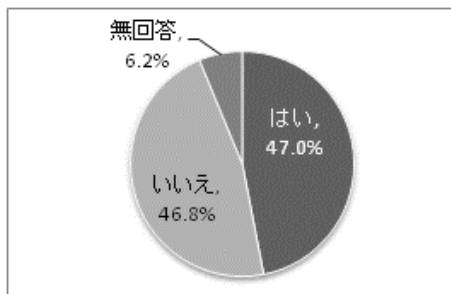


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	109(61.2%)	106(63.5%)	104(70.3%)	77(58.8%)	65(60.2%)
女性	83(52.2%)	122(62.2%)	118(58.7%)	127(61.7%)	182(60.5%)

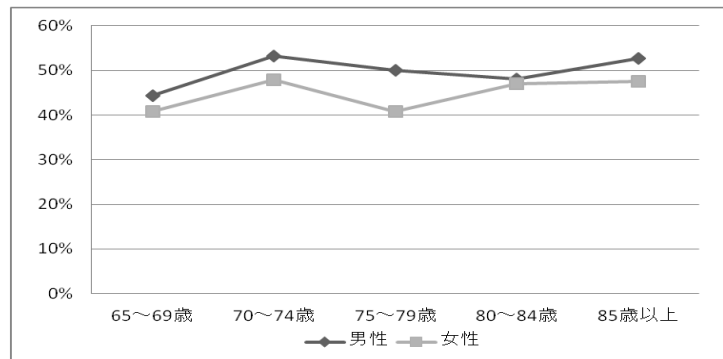
問3
【SA】

背中が丸くなってきましたか。

- ・「はい（丸くなってきた）」が 47.0%、「いいえ（まるくなっていない）」が 46.8%とほぼ半々である。
- ・「はい（丸くなってきた）」の割合は、男性の方が高い。



【「はい」の割合】

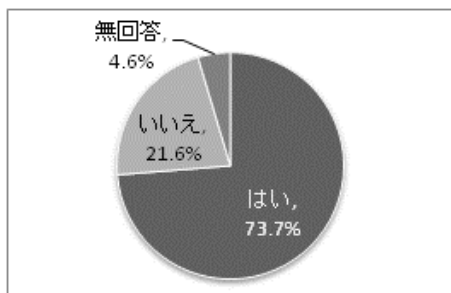


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	79(44.4%)	89(53.3%)	74(50.0%)	63(48.1%)	57(52.8%)
女性	65(40.9%)	94(48.0%)	82(40.8%)	97(47.1%)	143(47.5%)

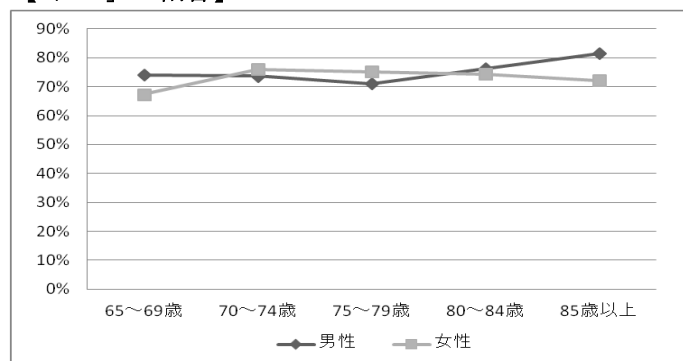
問4
【SA】

以前と比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか。

- ・「はい（遅くなってきた）」が 73.7%、「いいえ（遅くなっていない）」が 21.6%であり、「はい」が多数を占める。



【「はい」の割合】

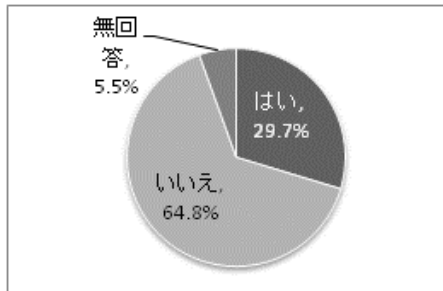


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	132(74.2%)	123(73.7%)	105(70.9%)	100(76.3%)	88(81.5%)
女性	107(67.3%)	149(76.0%)	151(75.1%)	153(74.3%)	217(72.1%)

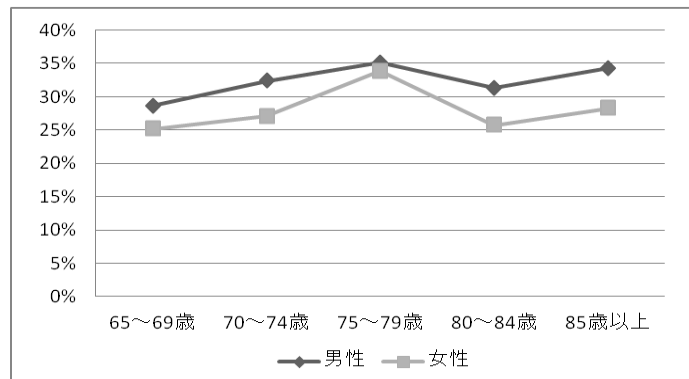
問5
【SA】

杖を使っていますか。

- ・「いいえ（使っていない）」が 64.8%、「はい（使っている）」が 29.7%であり、「いいえ」が多数を占める。
- ・「はい（使っている）」の割合は、男性の方が高い。



【「はい」の割合】



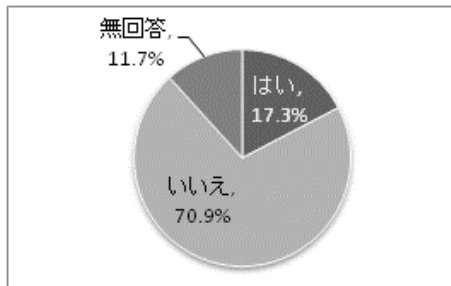
	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	51(28.7%)	54(32.3%)	52(35.1%)	41(31.3%)	37(34.3%)
女性	40(25.2%)	53(27.0%)	68(33.8%)	53(25.7%)	85(28.2%)

④口腔・栄養について

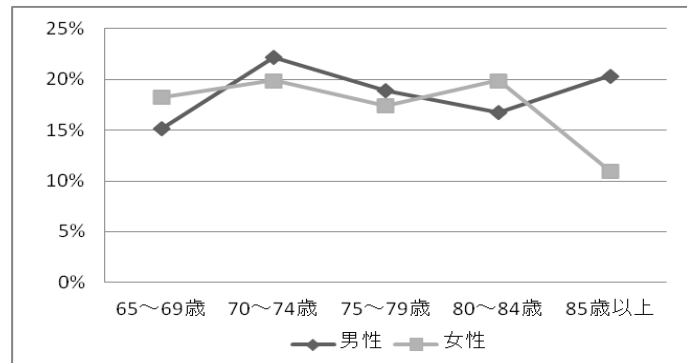
問 1 【SA】

6 ヶ月間で 2～3 k g 以上の体重減少がありましたか。

- ・「いいえ（減少していない）」が 70.9%、「はい（減少した）」が 17.3%であり、「いいえ」が多数を占める。



【「はい」の割合】

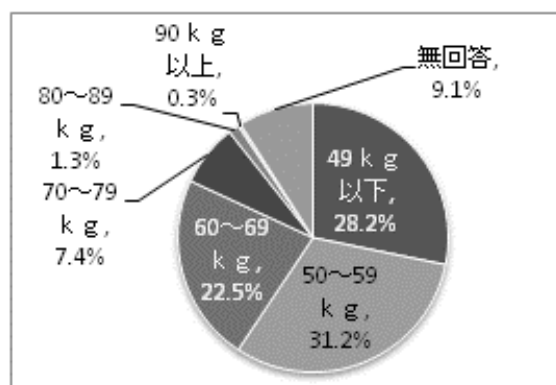
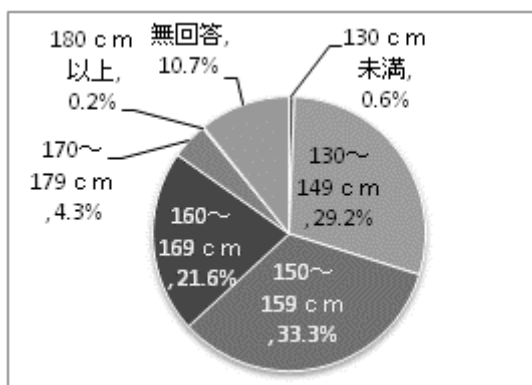


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	27(15.2%)	37(22.2%)	28(18.9%)	22(16.8%)	22(20.4%)
女性	29(18.2%)	39(19.9%)	35(17.4%)	41(19.9%)	33(11.0%)

問 2-1 【SA】

身長・体重を教えてください。

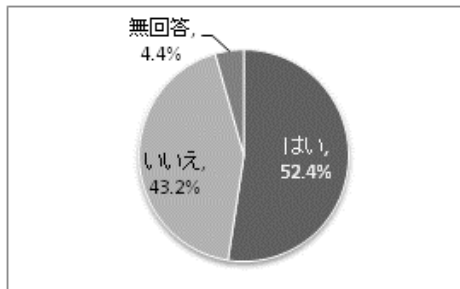
- ・身長は、「150～159cm」（33.3%）が最も多く、次いで「130～149cm」（29.2%）が多い。
- ・体重は、「50～59kg」（31.2%）が最も多く、次いで「49kg 以下」（28.2%）が多い。



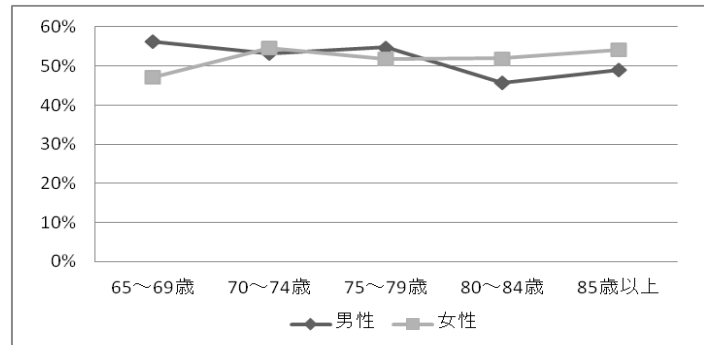
問3
【SA】

半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

- ・「はい（食べにくくなった）」が 52.4%、「いいえ（食べにくくなっていない）」が 43.2% となっており、「はい」が過半数を占める。



【「はい」の割合】

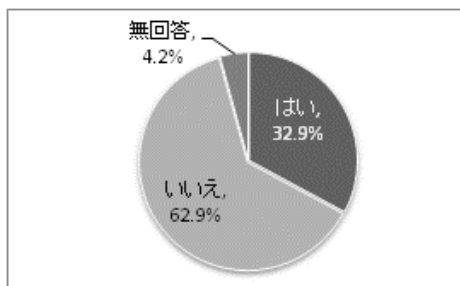


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	100(56.2%)	89(53.3%)	81(54.7%)	60(45.8%)	53(49.1%)
女性	75(47.2%)	107(54.6%)	104(51.7%)	107(51.9%)	163(54.2%)

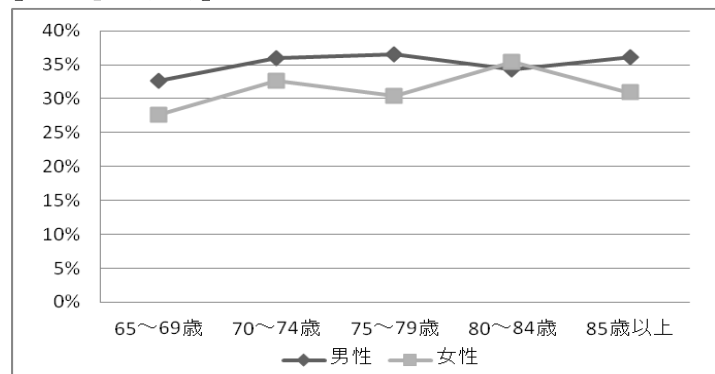
問4
【SA】

お茶や汁物等でむせることがありますか。

- ・「いいえ（むせない）」が 62.9%、「はい（むせることがある）」が 32.9%であり、「いいえ」が多数を占める。



【「はい」の割合】

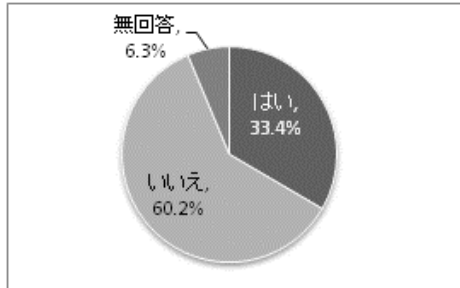


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	58(32.6%)	60(35.9%)	54(36.5%)	45(34.4%)	39(36.1%)
女性	44(27.7%)	64(32.7%)	61(30.3%)	73(35.4%)	93(30.9%)

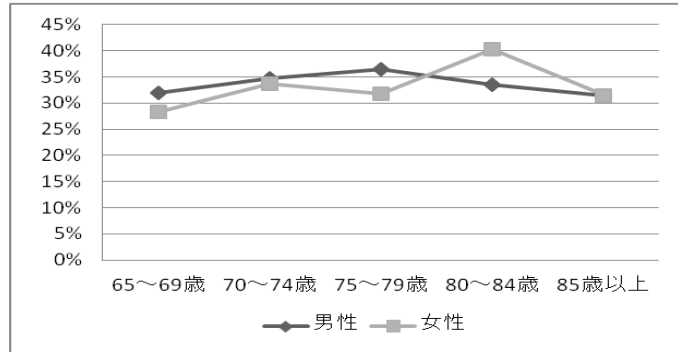
問5
【SA】

口の渇きが気になりますか。

- ・「いいえ（気にならない）」が 60.2%、「はい（気になる）」が 33.4%であり、「いいえ」が多数を占める。



【「はい」の割合】

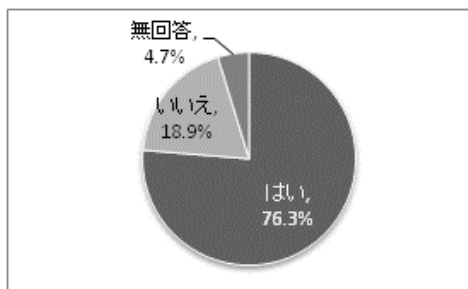


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	57(32.0%)	58(34.7%)	54(36.5%)	44(33.6%)	34(31.5%)
女性	45(28.3%)	66(33.7%)	64(31.8%)	83(40.3%)	95(31.6%)

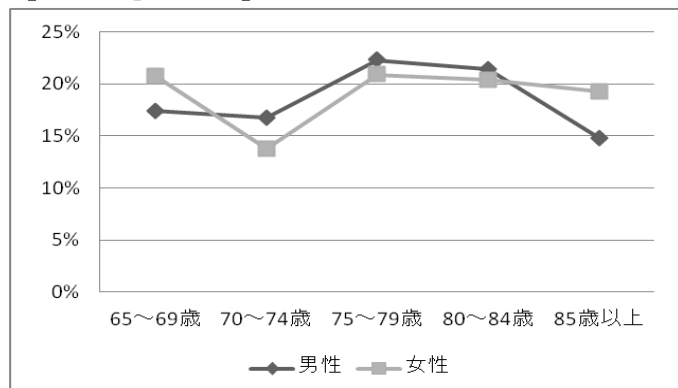
問6
【SA】

歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。

- ・「はい（している）」が 76.3%、「いいえ（していない）」が 18.9%であり、「はい」が多数を占める。



【「いいえ」の割合】

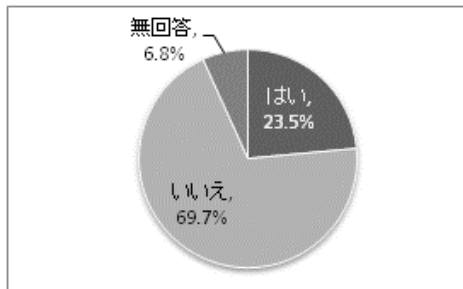


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	31(17.4%)	28(16.8%)	33(22.3%)	28(21.4%)	16(14.8%)
女性	33(20.8%)	27(13.8%)	42(20.9%)	42(20.4%)	58(19.3%)

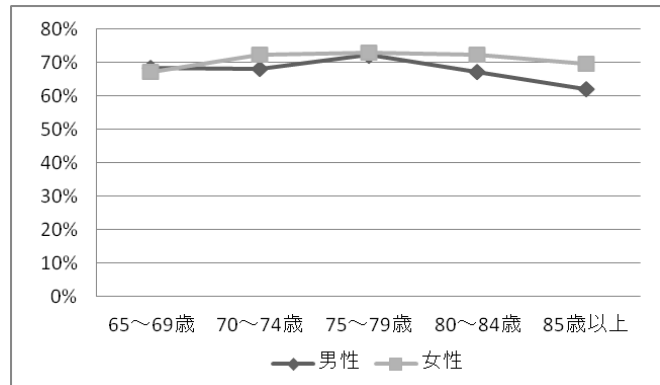
問 7
【SA】

定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか。

- ・「いいえ（受診していない）」が 69.7%、「はい（受診している）」が 23.5%であり、「いいえ」が多数を占める。



【「いいえ」の割合】

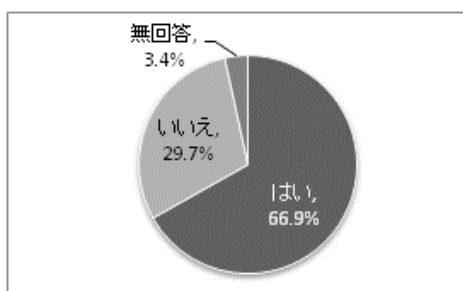


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	122(68.5%)	114(68.3%)	107(72.3%)	88(67.2%)	67(62.0%)
女性	107(67.3%)	142(72.4%)	147(73.1%)	149(72.3%)	210(69.8%)

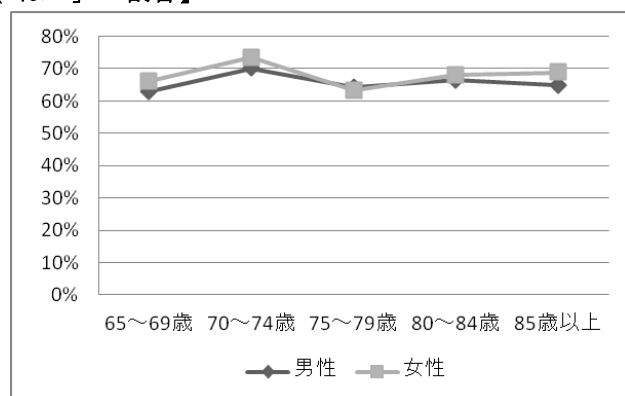
問 8
【SA】

入れ歯を使用していますか。

- ・「はい（使用している）」が 66.9%、「いいえ（使用していない）」が 29.7%であり、「はい」が多数を占める。



【「はい」の割合】

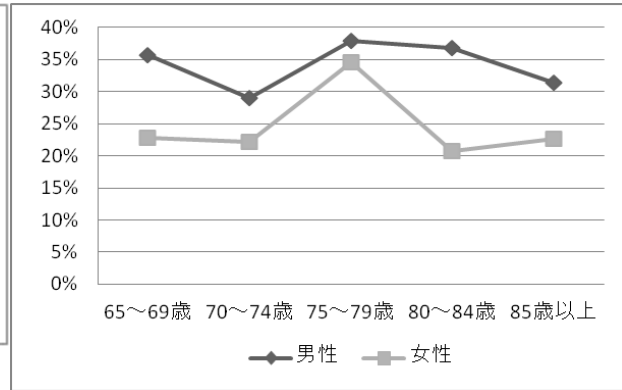
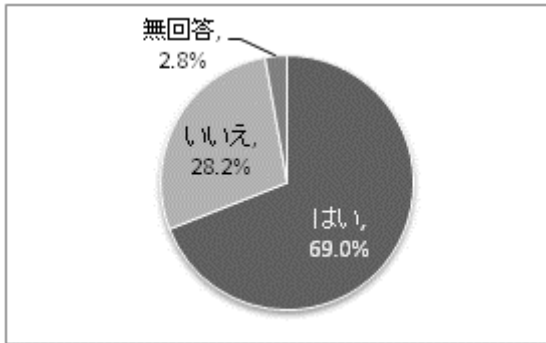


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	112(62.9%)	117(70.1%)	95(64.2%)	87(66.4%)	70(64.8%)
女性	105(66.0%)	144(73.5%)	127(63.2%)	140(68.0%)	207(68.8%)

問 8-1
【SA】

噛み合わせ良いですか。

- ・入れ歯使用者の噛み合わせは、「はい（良い）」が 69.0%、「いいえ（悪い）」が 28.2%であり、「はい」が多数を占める。
- ・「いいえ（悪い）」の割合は、男性の方が高い。

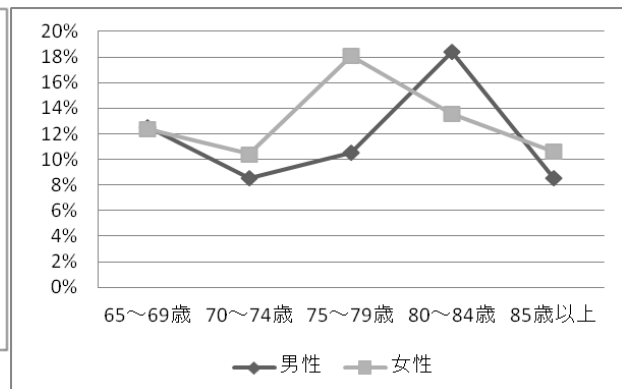
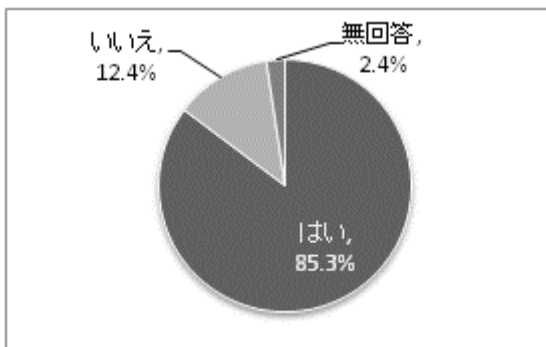


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	40(35.7%)	34(29.1%)	36(37.9%)	32(36.8%)	22(31.4%)
女性	24(22.9%)	32(22.2%)	44(34.6%)	29(20.7%)	47(22.7%)

問 8-2
【SA】

毎日入れ歯の手入れをしていますか。

- ・入れ歯使用者の手入れ状況は、「はい（手入れをしている）」が 85.3%、「いいえ（手入れをしていない）」が 12.4%であり、「はい」が多数を占める。



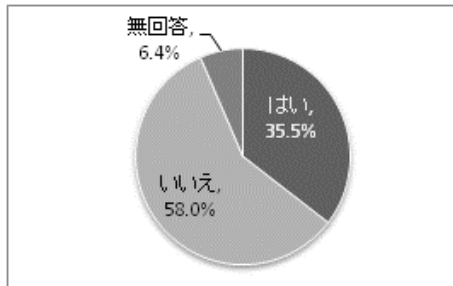
	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	14(12.5%)	10(8.5%)	10(10.5%)	16(18.4%)	6(8.6%)
女性	13(12.4%)	15(10.4%)	23(18.1%)	19(13.6%)	22(10.6%)

⑤物忘れについて

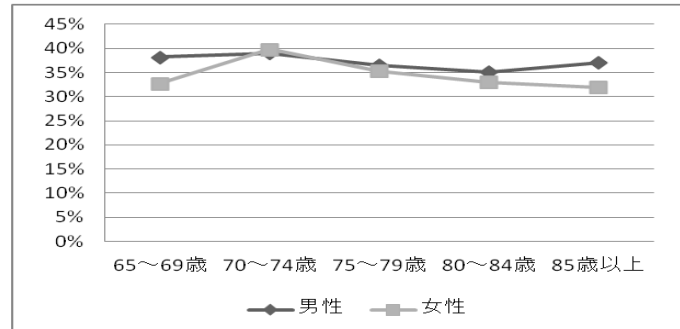
問1 【SA】

周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われますか。

- ・「いいえ（言われたい）」が58.0%、「はい（言われる）」が35.5%であり、「いいえ」が多数を占める



【「はい」の割合】

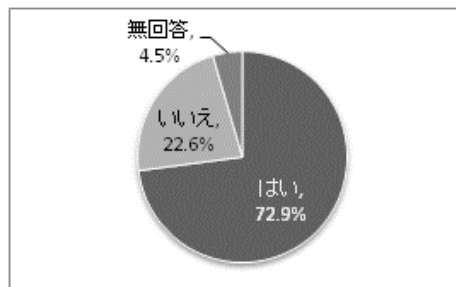


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	68(38.2%)	65(38.9%)	54(36.5%)	46(35.1%)	40(37.0%)
女性	52(32.7%)	78(39.8%)	71(35.3%)	68(33.0%)	96(31.9%)

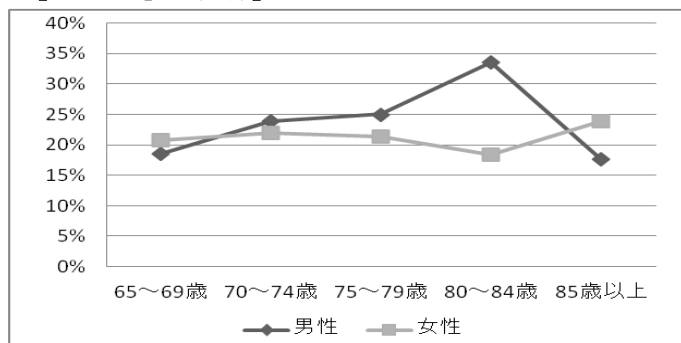
問2 【SA】

自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。

- ・「はい（電話をかけている）」が72.9%、「いいえ（電話をかけない）」が22.6%であり、「はい」が多数を占める。



【「いいえ」の割合】

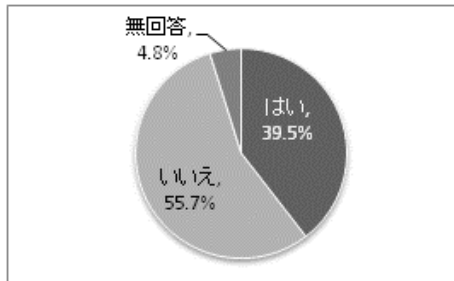


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	33(18.5%)	40(24.0%)	37(25.0%)	44(33.6%)	19(17.6%)
女性	33(20.8%)	43(21.9%)	43(21.4%)	38(18.4%)	72(23.9%)

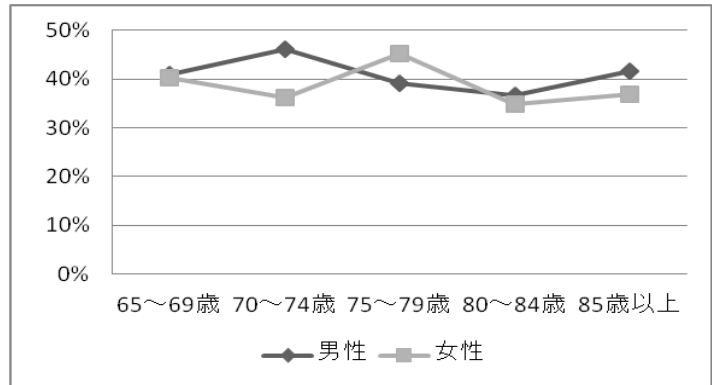
問3
【SA】

今日が何月何日かわからない時がありますか。

- ・「いいえ（ない）」が 55.7%、「はい（ある）」が 39.5%であり、「いいえ」が過半数を占める。



【「はい」の割合】

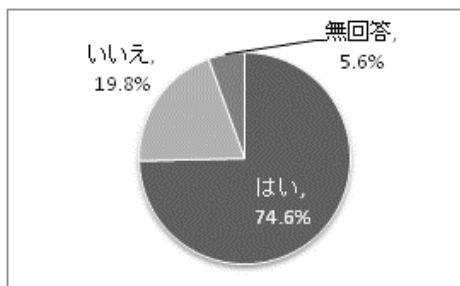


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	73(41.0%)	77(46.1%)	58(39.2%)	48(36.6%)	45(41.7%)
女性	64(40.3%)	71(36.2%)	91(45.3%)	72(35.0%)	111(36.9%)

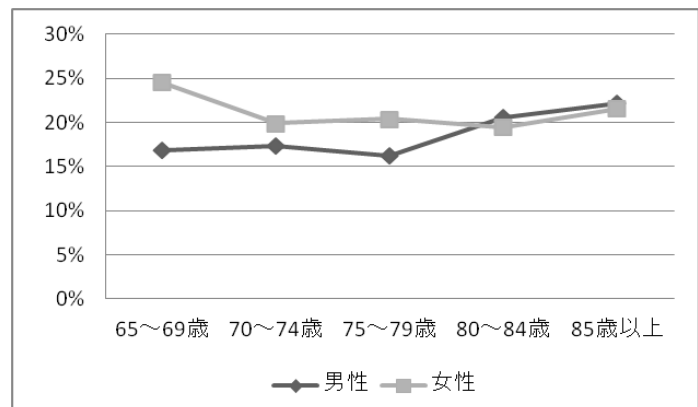
問4
【SA】

5 分前のことが思い出せますか。

- ・「はい（思い出せる）」が 74.6%、「いいえ（思い出せない）」が 19.8%であり、「はい」が多数を占める。



【「いいえ」の割合】

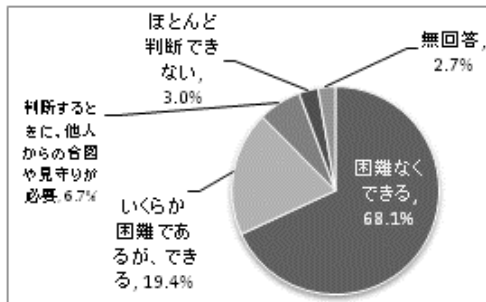


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	30(16.9%)	29(17.4%)	24(16.2%)	27(20.6%)	24(22.2%)
女性	39(24.5%)	39(19.9%)	41(20.4%)	40(19.4%)	65(21.6%)

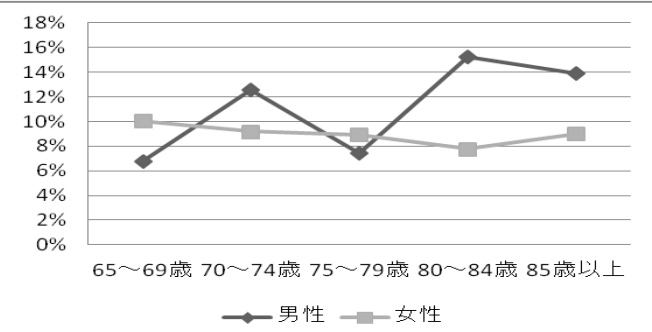
問5
【SA】

その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できますか。

- ・「困難なくできる」（68.1%）が最も多く、「いくらか困難であるができる」（19.4%）を合わせると 9 割近い人が判断できている。



【「判断が困難」の割合】

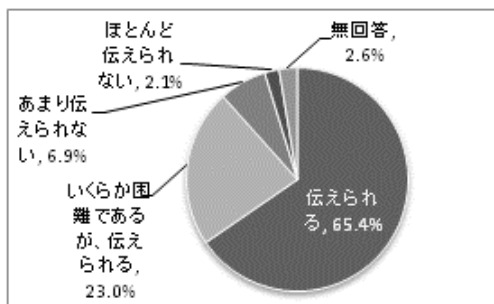


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	12(6.7%)	21(12.6%)	11(7.4%)	20(15.3%)	15(13.9%)
女性	16(10.1%)	18(9.2%)	18(9.0%)	16(7.8%)	27(9.0%)

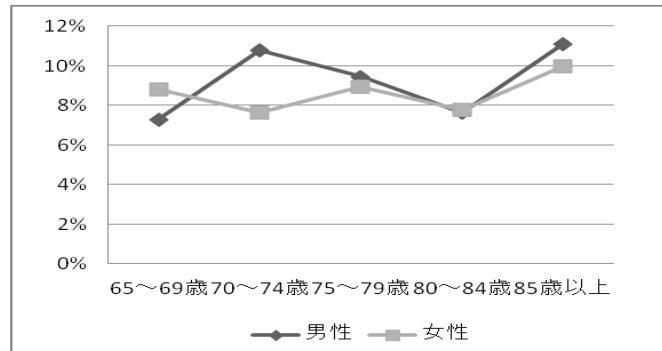
問6
【SA】

人に自分の考えをうまく伝えられますか。

- ・「伝えられる」（65.4%）が最も多く、「いくらか困難であるが伝えられる」（23.0%）を合わせると、9 割近い人が伝えられている。



【「伝えることが困難」の割合】



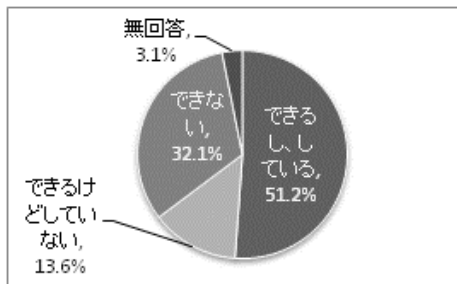
	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	13(7.3%)	18(10.8%)	14(9.5%)	10(7.6%)	12(11.1%)
女性	14(8.8%)	15(7.7%)	18(9.0%)	16(7.8%)	30(10.0%)

⑥日常生活について

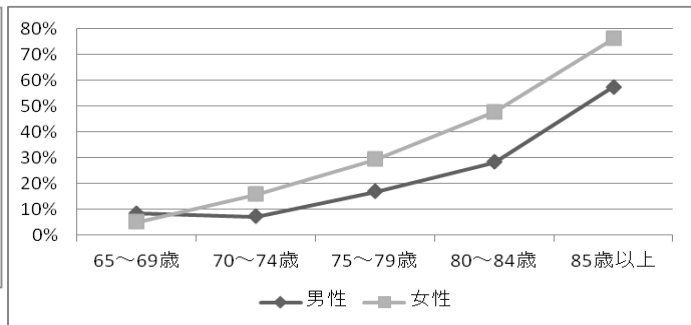
問 1 【SA】

バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でも可）。

- ・「できるし、している」（51.2%）が最も多く、次いで「できない」（32.1%）が多い。
- ・男女とも高齢になるほど「できない」の割合が高い。



【「できない」の割合】

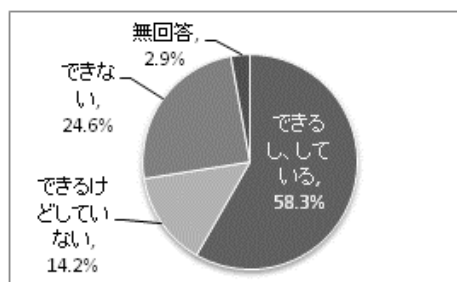


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	15(8.4%)	12(7.2%)	25(16.9%)	37(28.2%)	62(57.4%)
女性	8(5.0%)	31(15.8%)	59(29.4%)	98(47.6%)	229(76.1%)

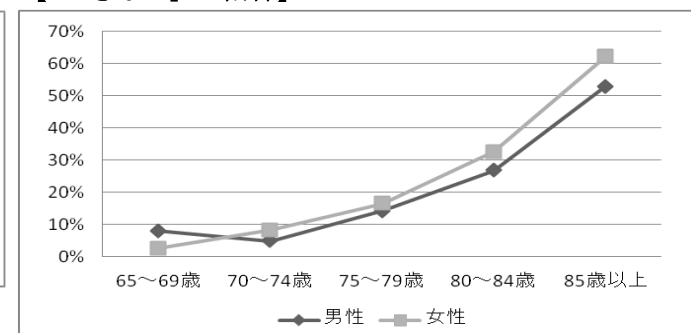
問 2 【SA】

日用品の買物をしていますか。

- ・「できるし、している」（58.3%）が最も多く、次いで「できない」（24.6%）が多い。
- ・男女とも高齢になるほど「できない」の割合が高い。



【「できない」の割合】



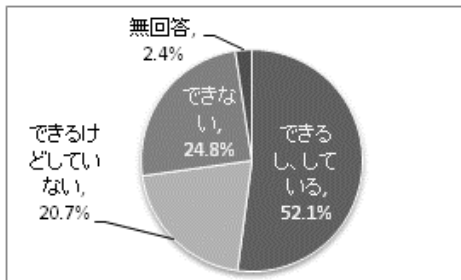
	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	14(7.9%)	8(4.8%)	21(14.2%)	35(26.7%)	57(52.8%)
女性	4(2.5%)	16(8.2%)	33(16.4%)	67(32.5%)	187(62.1%)

問3

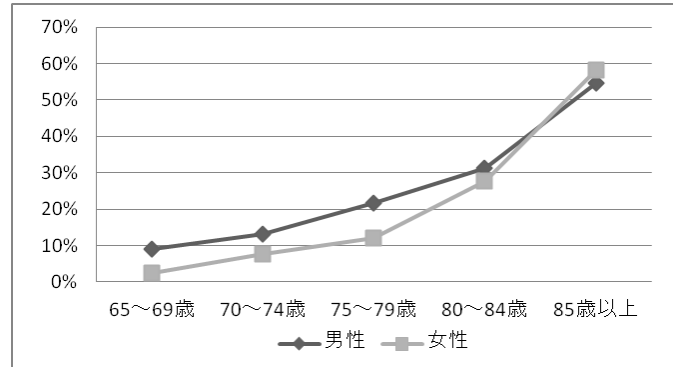
【SA】

自分で食事の用意をしていますか。

- ・「できるし、している」(52.1%) が最も多く、次いで「できない」(24.8%) が多い。
- ・男女とも高齢になるほど「できない」の割合が高い。



【「できない」の割合】



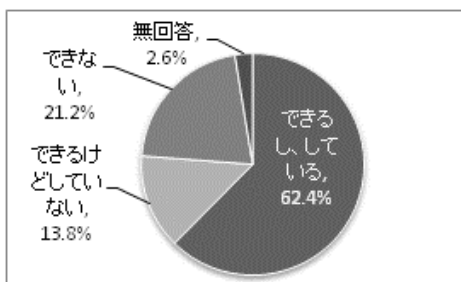
	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	16(9.0%)	22(13.2%)	32(21.6%)	41(31.3%)	59(54.6%)
女性	4(2.5%)	15(7.7%)	24(11.9%)	57(27.7%)	175(58.1%)

問4

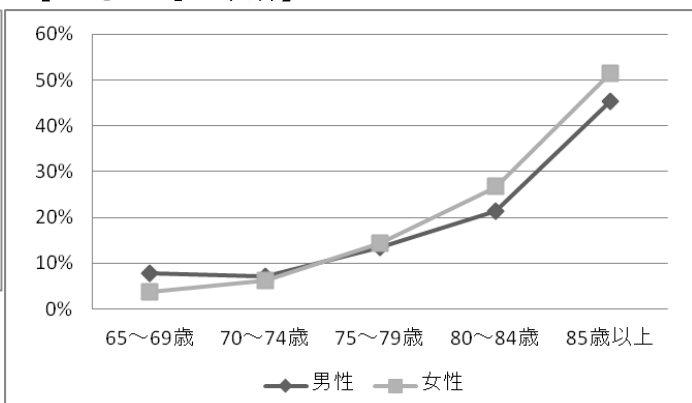
【SA】

請求書の支払いをしていますか。

- ・「できるし、している」(62.4%) が最も多く、次いで「できない」(21.2%) が多い。
- ・男女とも高齢になるほど「できない」の割合が高い。



【「できない」の割合】



	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	14(7.9%)	12(7.2%)	20(13.5%)	28(21.4%)	49(45.4%)
女性	6(3.8%)	12(6.1%)	29(14.4%)	55(26.7%)	155(51.5%)

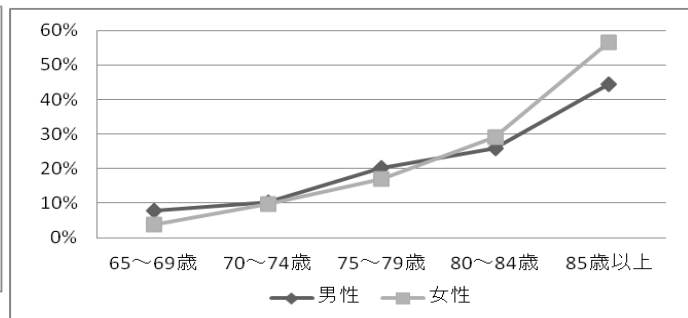
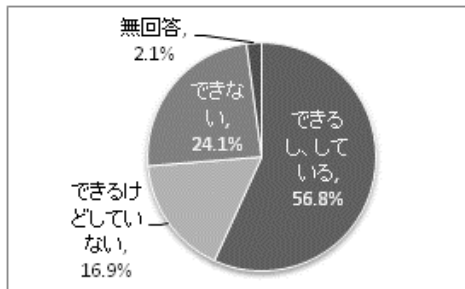
問5

【SA】

預貯金の出し入れをしていますか。

- ・預貯金の出し入れをしているかについては、「できるし、している」(56.8%)が最も多く、次いで「できない」(24.1%)が多い。
- ・男女とも高齢になるほど「できない」の割合が高い。

【「できない」の割合】



	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	14(7.9%)	17(10.2%)	30(20.3%)	34(26.0%)	48(44.4%)
女性	6(3.8%)	19(9.7%)	34(16.9%)	60(29.1%)	170(56.5%)

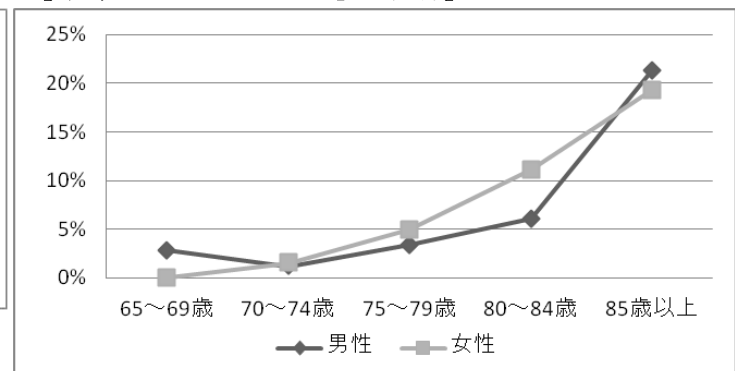
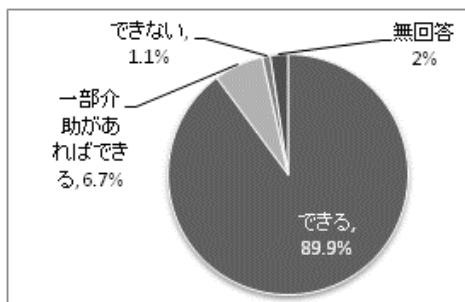
問6

【SA】

食事は自分で食べられますか。

- ・食事を自分で食べられるかについては、「できる」(89.9%)が最も多い。
- ・男女とも高齢になるほど、介助なしではできない割合(「一部介助があればできる」、「できない」)が高い。

【「介助なしではできない」の割合】

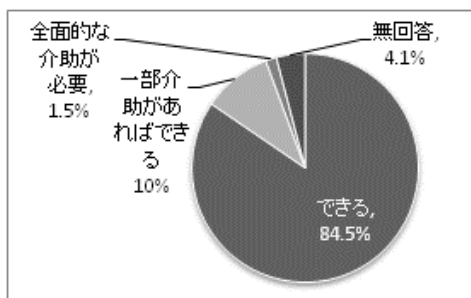


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	5(2.8%)	2(1.2%)	5(3.4%)	8(6.1%)	23(21.3%)
女性	0(0.0%)	3(1.5%)	10(5.0%)	23(11.2%)	58(19.3%)

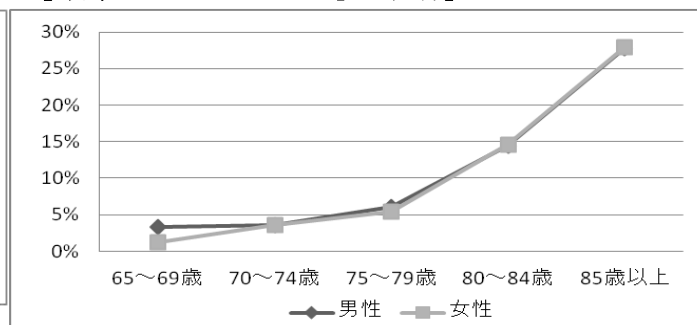
問 7
【SA】

寝床に入るとき、何らかの介助を受けますか。

- ・「できる（介助を受けない）」（84.5%）が最も多い。
- ・男女とも高齢になるほど、介助なしではできない割合（「一部介助があればできる」、「全面的な介助が必要」）が高い。



【「介助なしではできない」の割合】

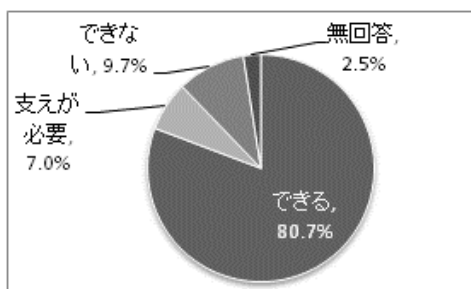


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	6(3.4%)	6(3.6%)	9(6.1%)	19(14.5%)	30(27.8%)
女性	2(1.3%)	7(3.6%)	11(5.5%)	30(14.6%)	84(27.9%)

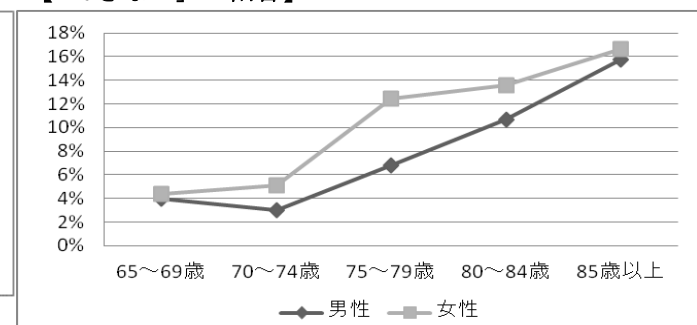
問 8
【SA】

座っていることができますか。

- ・「できる」（80.7%）が最も多い。
- ・男女とも高齢になるほど、「できない」の割合が高い。



【「できない」の割合】

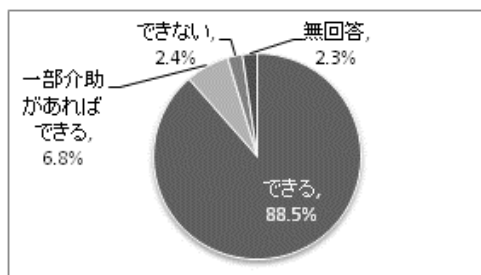


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	7(3.9%)	5(3.0%)	10(6.8%)	14(10.7%)	17(15.7%)
女性	7(4.4%)	10(5.1%)	25(12.4%)	28(13.6%)	50(16.6%)

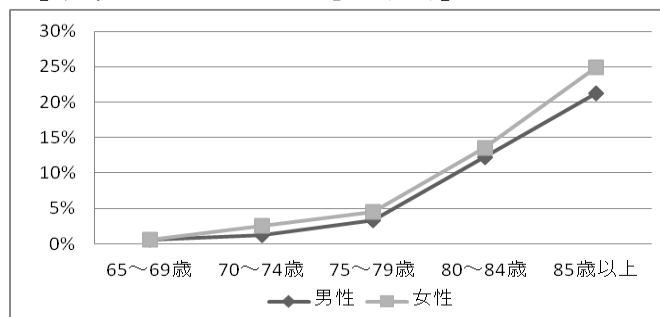
問 9
【SA】

自分で洗面や歯磨きができますか。

- ・「できる」(88.5%) が最も多い。
- ・男女とも高齢になるほど、介助なしではできない割合(「一部介助があればできる」、「できない」)が高い。



【「介助なしではできない」の割合】

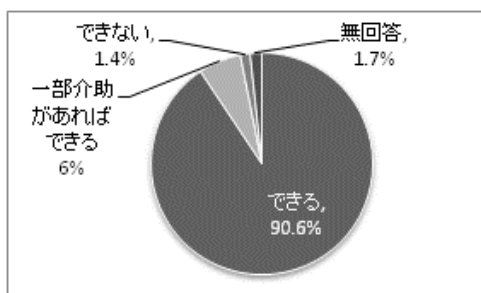


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	1(0.6%)	2(1.2%)	5(3.4%)	16(12.2%)	23(21.3%)
女性	1(0.6%)	5(2.6%)	9(4.5%)	28(13.6%)	75(24.9%)

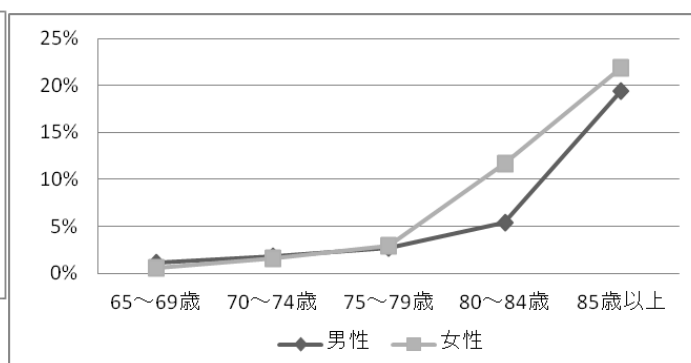
問 10
【SA】

自分でトイレができますか。

- ・「できる」(90.6%) が最も多い。
- ・男女とも高齢になるほど、介助なしではできない割合(「一部介助があればできる」、「できない」)が高い。



【「介助なしではできない」の割合】

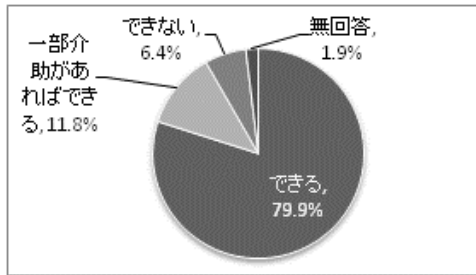


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	2(1.1%)	3(1.8%)	4(2.7%)	7(5.3%)	21(19.4%)
女性	1(0.6%)	3(1.5%)	6(3.0%)	24(11.7%)	66(21.9%)

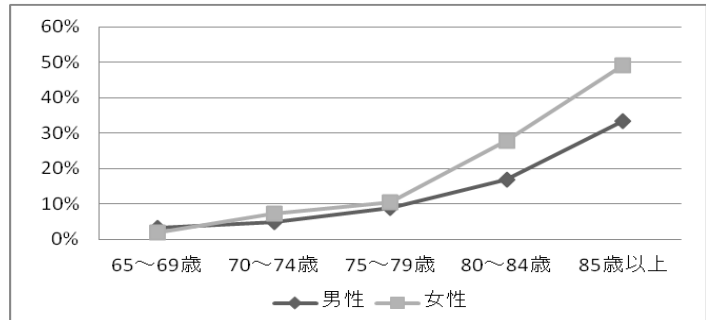
問 11
【SA】

自分で入浴ができますか。

- ・「できる」(79.9%) が最も多い。
- ・男女とも高齢になるほど、介助なしではできない割合(「一部介助があればできる」、「できない」)が高い。



【「介助なしではできない」の割合】

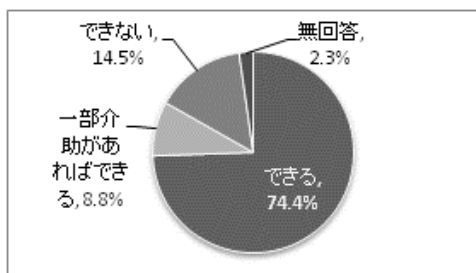


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	6(3.4%)	8(4.8%)	13(8.8%)	22(16.8%)	36(33.3%)
女性	3(1.9%)	14(7.1%)	21(10.4%)	57(27.7%)	148(49.2%)

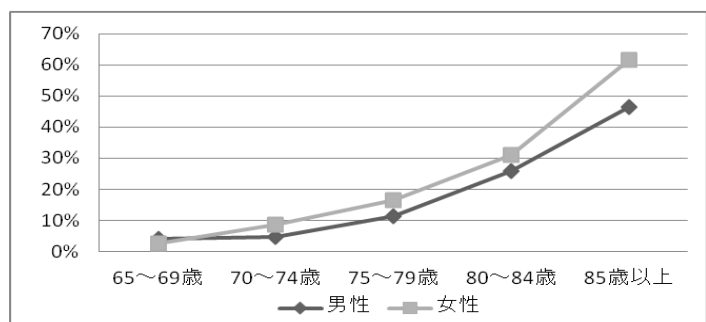
問 12
【SA】

50m以上歩けますか。

- ・「できる」(74.4%) が最も多い。
- ・男女とも高齢になるほど、介助なしではできない割合(「一部介助があればできる」、「できない」)が高い。



【「介助なしではできない」の割合】

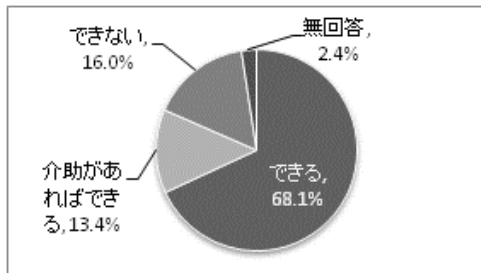


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	7(3.9%)	8(4.8%)	17(11.5%)	34(26.0%)	50(46.3%)
女性	4(2.5%)	17(8.7%)	33(16.4%)	64(31.1%)	185(61.5%)

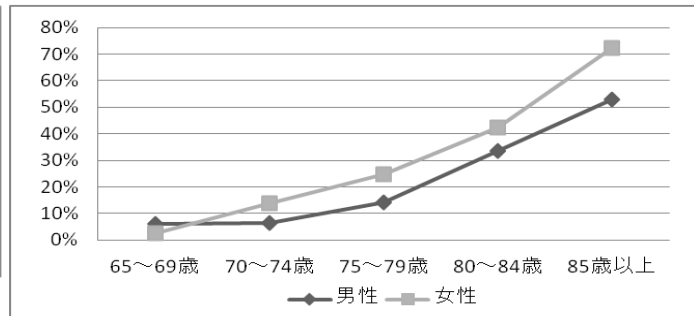
問 13
【SA】

階段を昇り降りできますか。

- ・「できる」(68.1%) が最も多い。
- ・男女とも高齢になるほど、介助なしではできない割合(「介助があればできる」、「できない」)が高い。



【「介助なしではできない」の割合】

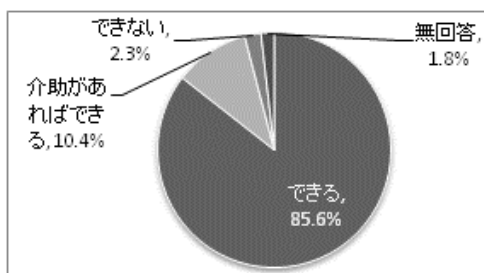


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	11(6.2%)	11(6.6%)	21(14.2%)	44(33.6%)	57(52.8%)
女性	4(2.5%)	27(13.8%)	50(24.9%)	87(42.2%)	218(72.4%)

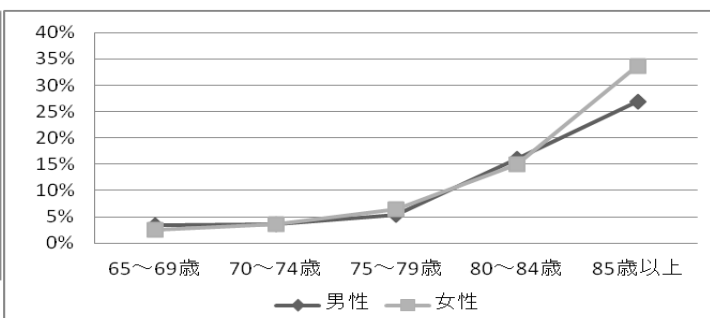
問 14
【SA】

自分で着替えができますか。

- ・「できる」(85.6%) が最も多い。
- ・男女とも高齢になるほど、介助なしではできない割合(「介助があればできる」、「できない」)が高い。



【「介助なしではできない」の割合】

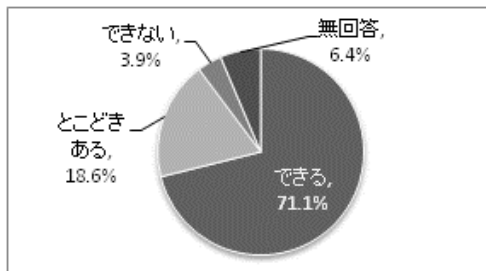


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	6(3.4%)	6(3.6%)	8(5.4%)	21(16.0%)	29(26.9%)
女性	4(2.5%)	7(3.6%)	13(6.5%)	31(15.0%)	101(33.6%)

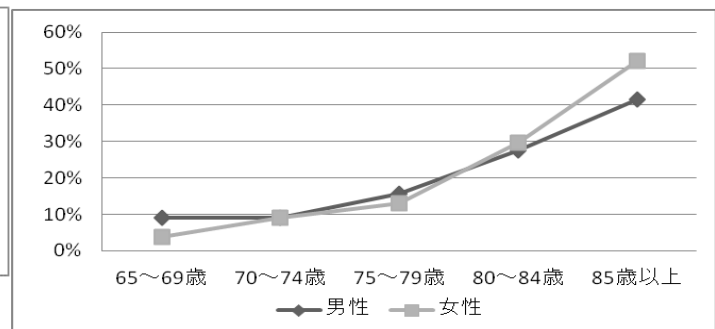
問 15
【SA】

大便の失敗がありますか。

- ・「できる（失敗がない）」（71.1%）が最も多い。
- ・男女とも高齢になるほど、自力では失敗することがある割合（「ときどきある」、「できない」）が高い。



【「自力では失敗することがある」の割合】

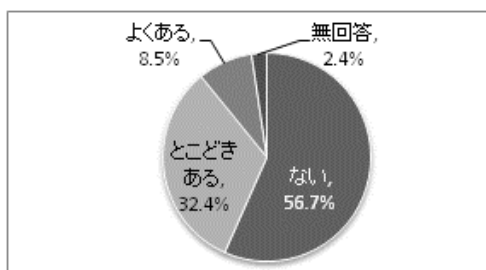


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	16(9.0%)	15(9.0%)	23(15.5%)	36(27.5%)	45(41.7%)
女性	6(3.8%)	18(9.2%)	26(12.9%)	61(29.6%)	157(52.2%)

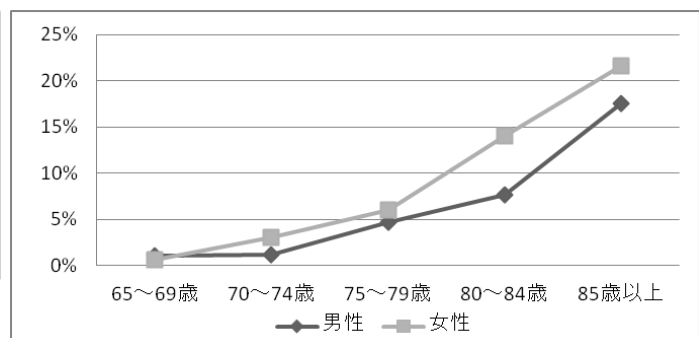
問 16
【SA】

尿もれや尿失禁がありますか。

- ・「ない」（56.7%）が最も多く、次いで「ときどきある」（32.4%）が多い。
- ・男女とも高齢になるほど「よくある」の割合が高い。



【「ある」の割合】



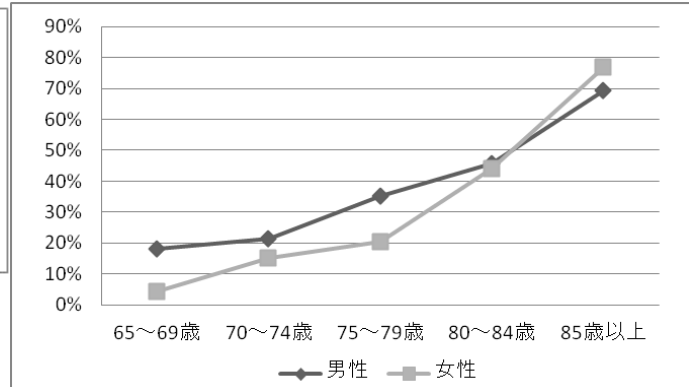
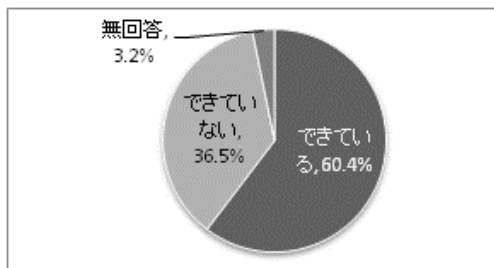
	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	2(1.1%)	2(1.2%)	7(4.7%)	10(7.6%)	19(17.6%)
女性	1(0.6%)	6(3.1%)	12(6.0%)	29(14.1%)	65(21.6%)

問 17
【SA】

家事全般ができていますか。

- ・家事全般ができているかについては、「できている」は 60.4%、「できていない」は 36.5% であり、「できている」が多数を占める。
- ・男女とも高齢になるほど「できていない」の割合が高い。

【「できていない」の割合】



	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	32(18.0%)	36(21.6%)	52(35.1%)	60(45.8%)	75(69.4%)
女性	7(4.4%)	30(15.3%)	41(20.4%)	91(44.2%)	231(76.7%)

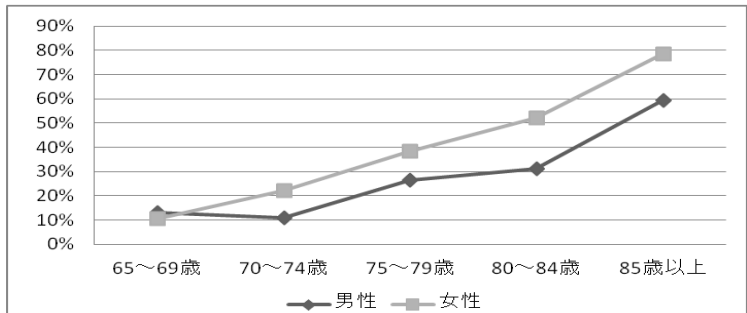
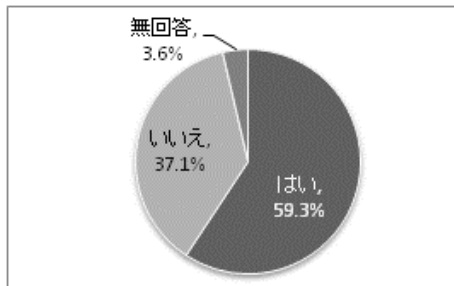
⑦社会参加について

問1 【SA】

年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。

- ・「はい（書ける）」が 59.3%、「いいえ（書けない）」が 37.1%であり、「はい」が多数を占める。
- ・「いいえ（書けない）」の割合は、女性の方が高く、男女とも高齢になるほど高い。

【「いいえ」の割合】



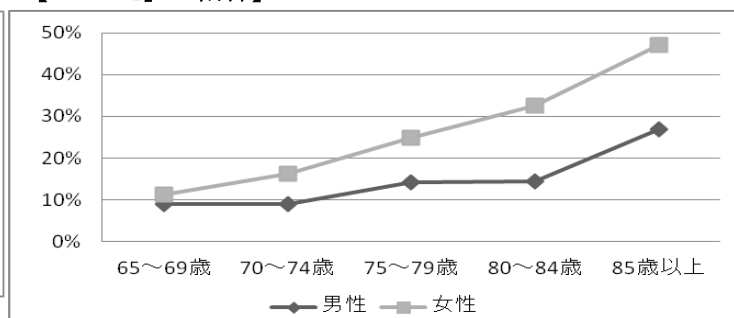
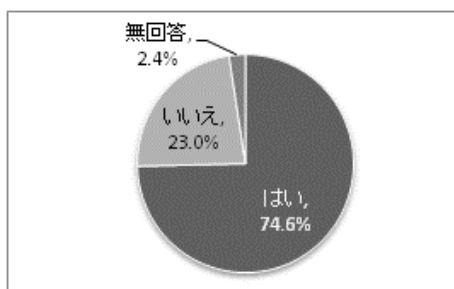
	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	23(12.9%)	18(10.8%)	39(26.4%)	41(31.3%)	64(59.3%)
女性	17(10.7%)	43(21.9%)	77(38.3%)	107(51.9%)	236(78.4%)

問2 【SA】

新聞を読んでいますか。

- ・「はい（読んでいる）」が 74.6%、「いいえ（読んでいない）」が 23.0%であり、「はい」が多数を占める。
- ・「いいえ（読んでいない）」の割合は、女性の方が高く、男女とも高齢になるほど高い。

【「いいえ」の割合】



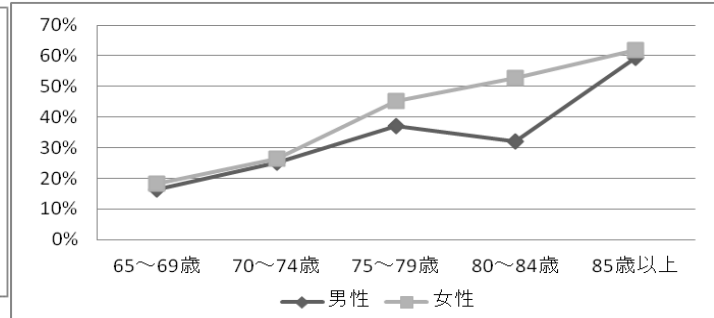
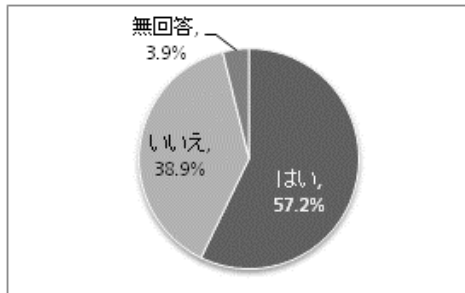
	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	16(9.0%)	15(9.0%)	21(14.2%)	19(14.5%)	29(26.9%)
女性	18(11.3%)	32(16.3%)	50(24.9%)	67(32.5%)	142(47.2%)

問3
【SA】

本や雑誌を読んでいますか。

- ・「はい（読んでいる）」が 57.2%、「いいえ（読んでいない）」が 38.9%であり、「はい」が過半数を占める。
- ・「いいえ（読んでいない）」の割合は、女性の方が高く、男女とも高齢になるほど高い。

【「いいえ」の割合】



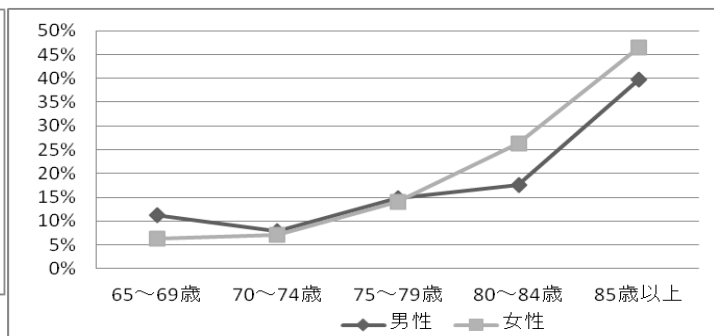
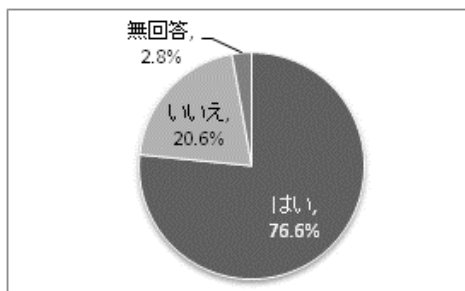
	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	29(16.3%)	42(25.1%)	55(37.2%)	42(32.1%)	64(59.3%)
女性	29(18.2%)	52(26.5%)	91(45.3%)	109(52.9%)	186(61.8%)

問4
【SA】

健康についての記事や番組に関心がありますか。

- ・「はい（興味がある）」が 76.6%、「いいえ（興味がない）」が 20.6%であり、「はい」が多数を占める。
- ・「いいえ（読んでいない）」の割合は、男女とも高齢になるほど高い。

【「いいえ」の割合】

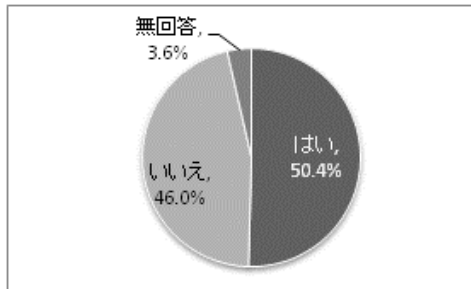


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	20(11.2%)	13(7.8%)	22(14.9%)	23(17.6%)	43(39.8%)
女性	10(6.3%)	14(7.1%)	28(13.9%)	54(26.2%)	140(46.5%)

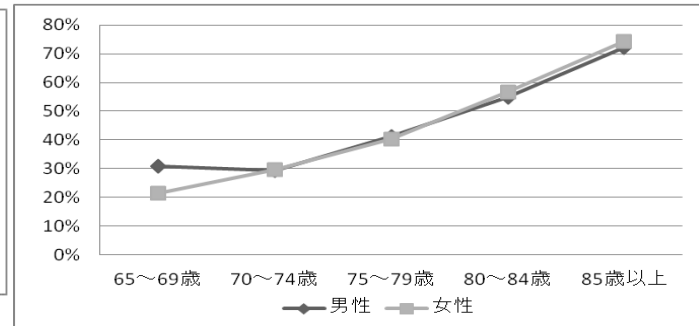
問5
【SA】

友人の家を訪ねていますか。

- ・「はい（訪ねている）」が 50.4%、「いいえ（訪ねていない）」が 46.0%であり、「はい」の方が多い。
- ・「いいえ（訪ねていない）」の割合は、男女とも高齢になるほど高い。



【「いいえ」の割合】

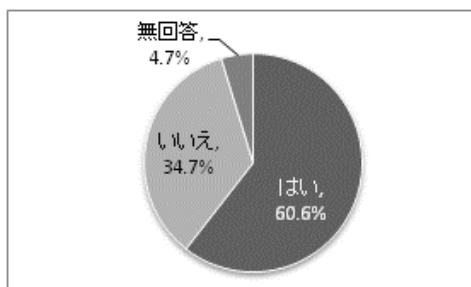


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	55(30.9%)	49(29.3%)	61(41.2%)	72(55.0%)	78(72.2%)
女性	34(21.4%)	58(29.6%)	81(40.3%)	117(56.8%)	224(74.4%)

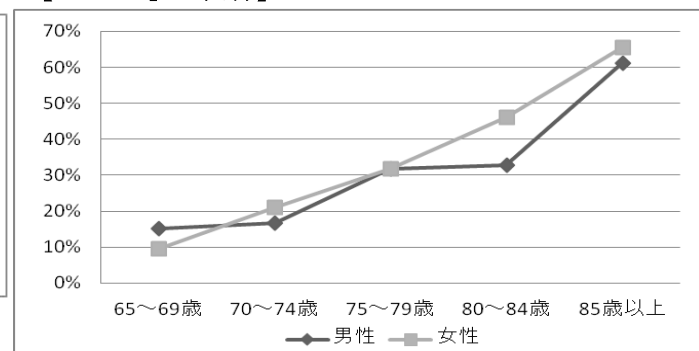
問6
【SA】

家族や友人の相談にのっていますか。

- ・「はい（のっている）」が 60.6%、「いいえ（のっていない）」が 34.7%であり、「はい」が多数を占める。
- ・「いいえ（のっていない）」の割合は、男女とも高齢になるほど高い。



【「いいえ」の割合】



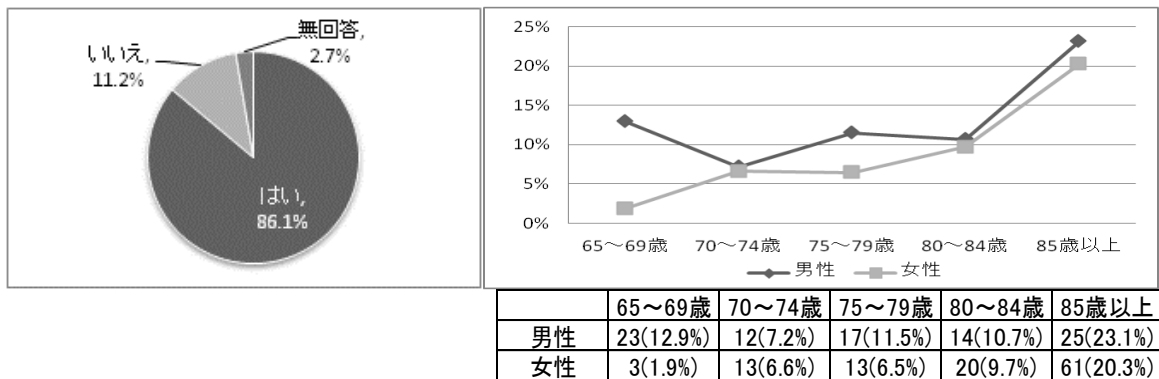
	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	27(15.2%)	28(16.8%)	47(31.8%)	43(32.8%)	66(61.1%)
女性	15(9.4%)	41(20.9%)	64(31.8%)	95(46.1%)	197(65.4%)

問 7
【SA】

何かあったときに、家族や友人・知人などに相談をしていますか。

- ・「はい（相談している）」が 86.1%、「いいえ（相談していない）」が 11.2%であり、「はい」が多数を占める。
- ・女性の場合、「いいえ（相談していない）」の割合は、高齢になるほど高い。

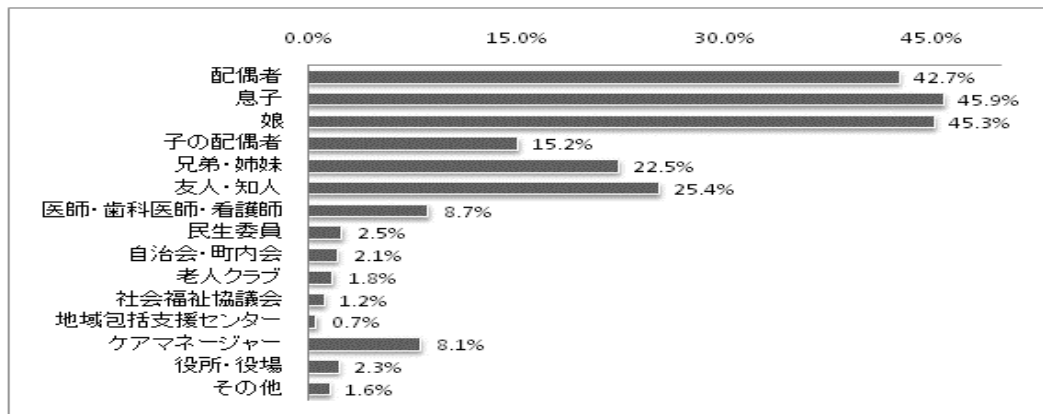
【「いいえ」の割合】



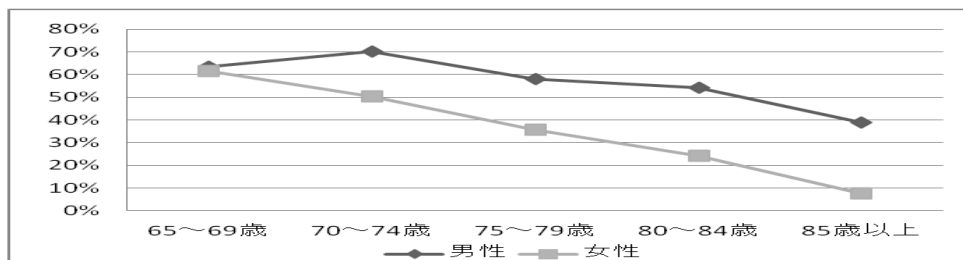
問 7-1
【MA】

相談相手を教えてください。

- ・「息子」（45.9%）が最も多く、次いで「娘」（45.3%）、「配偶者」（42.7%）と家族に相談することが多い。
- ・「配偶者」への相談は、年齢が高いほどその割合が低く、死別が想定される。



【「配偶者への相談割合】



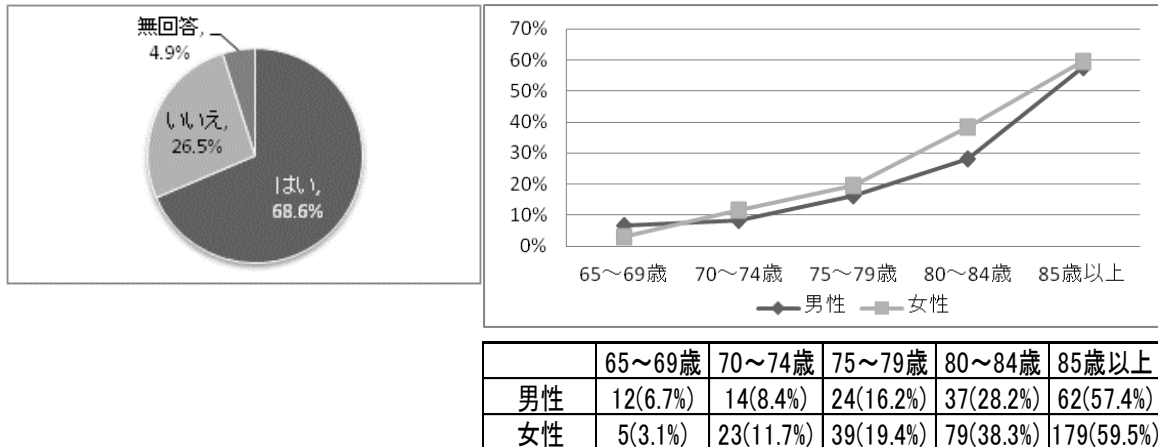
	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	113(63.5%)	117(70.1%)	86(58.1%)	71(54.2%)	42(38.9%)
女性	98(61.6%)	99(50.5%)	72(35.8%)	50(24.3%)	23(7.6%)

問8
【SA】

病人を見舞うことができますか。

- ・「はい（見舞える）」が 68.6%、「いいえ（見舞えない）」が 26.5%であり、「はい」が多数を占める。
- ・「いいえ（見舞えない）」の割合は、男女とも高齢になるほど高い。

【「いいえ」の割合】

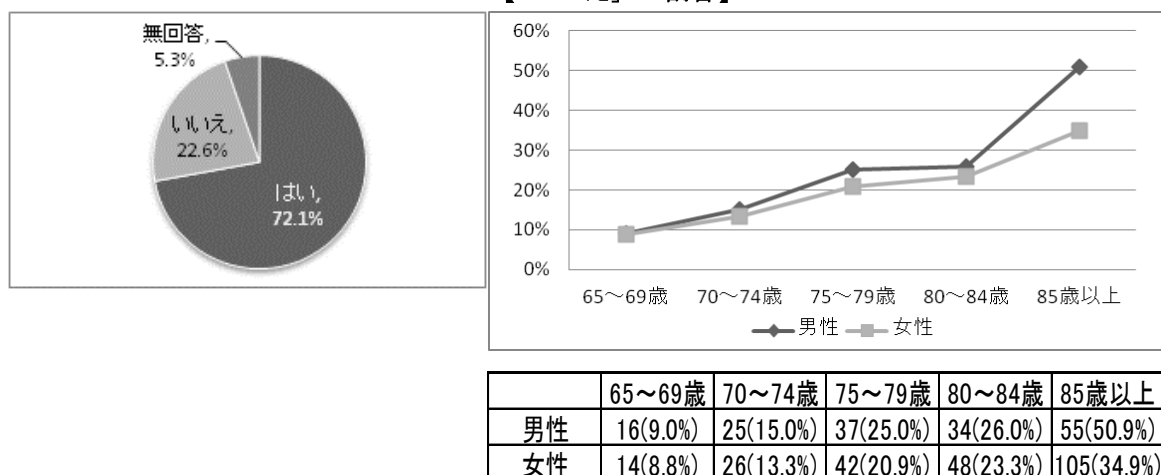


問9
【SA】

若い人に自分から話しかけることがありますか。

- ・「はい（話しかける）」が 72.1%、「いいえ（話しかけない）」が 22.6%であり、「はい」が多数を占める。
- ・「いいえ（話しかけない）」の割合は、男女とも高齢になるほど高く、特に男性の方がその傾向が顕著である。

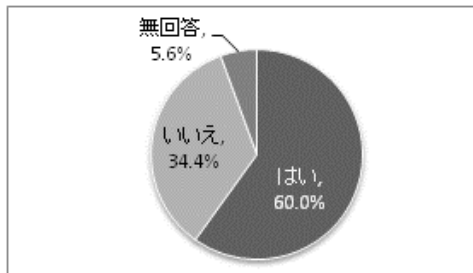
【「いいえ」の割合】



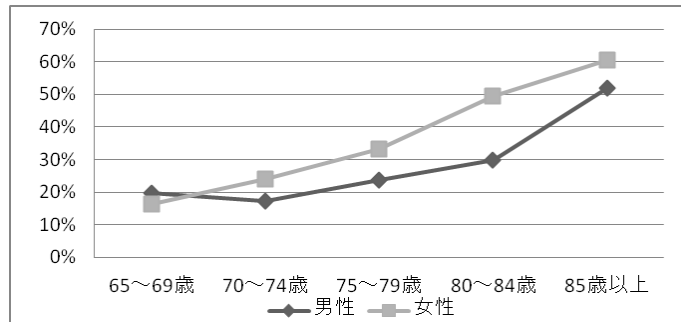
問 10
【SA】

趣味はありますか。

- ・「はい（ある）」が 60.0%、「いいえ（ない）」が 34.4%であり、「はい」が多数を占める。
- ・「いいえ（ない）」の割合は、男女とも高齢になるほど高い。



【「いいえ」の割合】

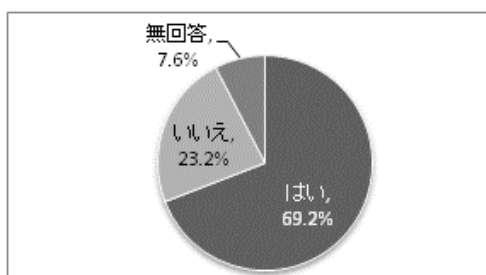


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	35(19.7%)	29(17.4%)	35(23.6%)	39(29.8%)	56(51.9%)
女性	26(16.4%)	47(24.0%)	67(33.3%)	102(49.5%)	182(60.5%)

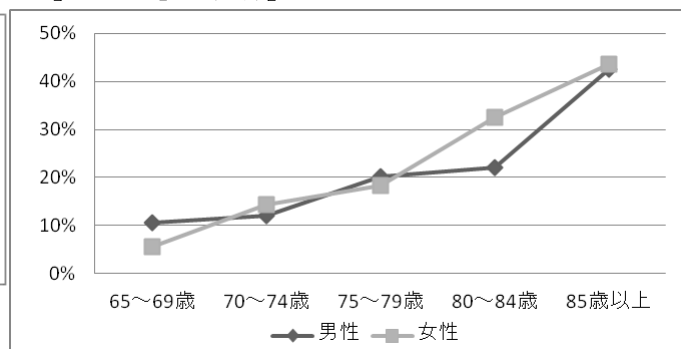
問 11
【SA】

生きがいがありますか。

- ・「はい（ある）」が 69.2%、「いいえ（ない）」が 23.2%であり、「はい」が多数を占める。
- ・「いいえ（ない）」の割合は、男女とも高齢になるほど高い。



【「いいえ」の割合】

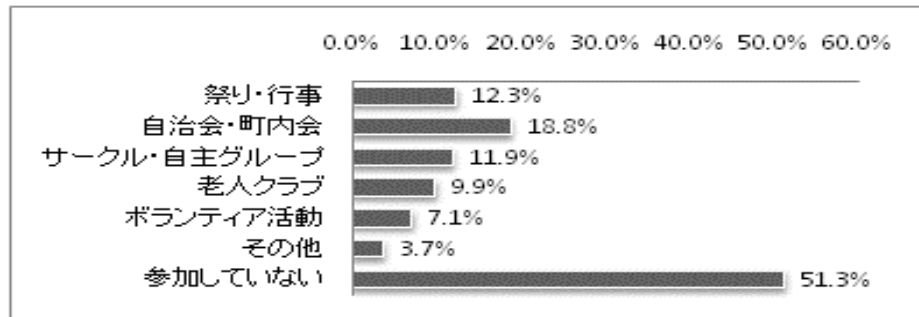


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	19(10.7%)	20(12.0%)	30(20.3%)	29(22.1%)	46(42.6%)
女性	9(5.7%)	28(14.3%)	37(18.4%)	67(32.5%)	131(43.5%)

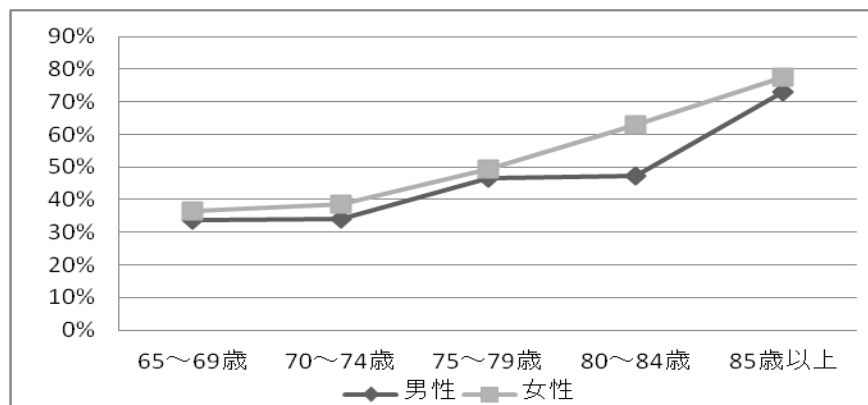
問 12
【MA】

地域活動等に参加していますか。

- ・「参加していない」(51.3%) が最も多く、次いで「自治会・町内会」(18.8%)、「祭り・行事」(12.3%)、「サークル・自主グループ」(11.9%)が多い。
- ・「参加していない」の割合は、女性の方が高く、男女とも高齢になるほど高い。



【「参加していない」割合】



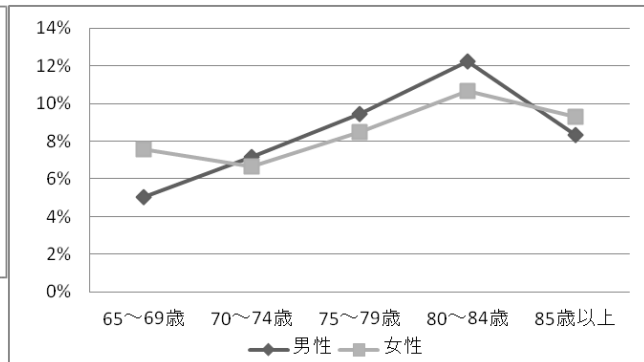
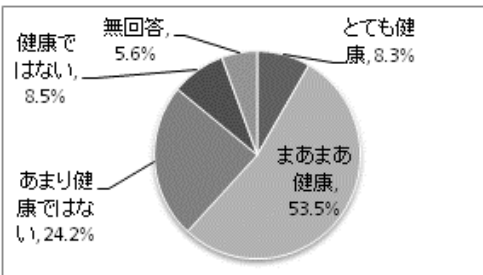
	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	60(33.7%)	57(34.1%)	69(46.6%)	62(47.3%)	79(73.1%)
女性	58(36.5%)	76(38.8%)	99(49.3%)	130(63.1%)	233(77.4%)

⑧健康について

問 1
【SA】 普段、ご自分で健康だと思いますか。

- ・健康状態は、「まあまあ健康」(53.5%)が最も多く、次いで「あまり健康ではない」(24.2%)が多い。
- ・「健康ではない」の割合は、男女とも高齢になるほど高いが、「85歳以上」では「80～84歳」と比べて低い。

【「健康でない」の割合】

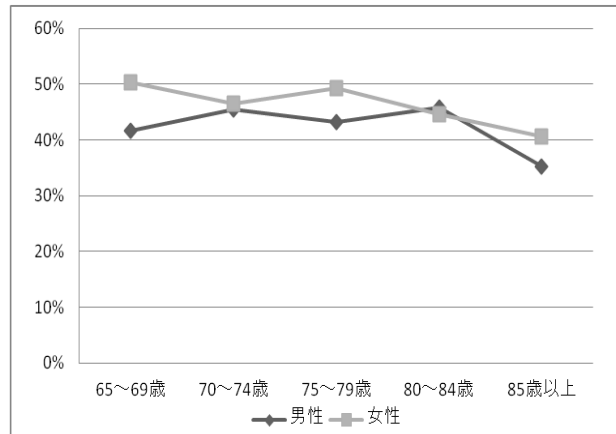
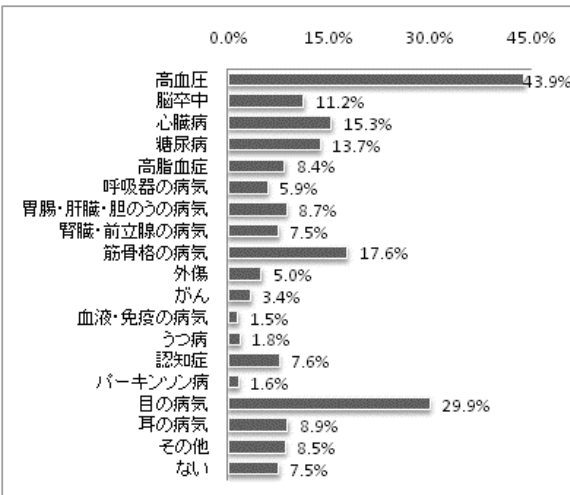


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	9(5.1%)	12(7.2%)	14(9.5%)	16(12.2%)	9(8.3%)
女性	12(7.5%)	13(6.6%)	17(8.5%)	22(10.7%)	28(9.3%)

問 2
【MA】 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。

- ・「高血圧」(43.9%)が最も多く、次いで「目の病気」(29.9%)が多い。

【「高血圧」の割合】

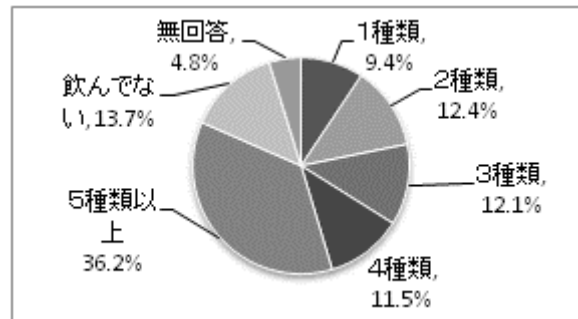


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	74(41.6%)	76(45.5%)	64(43.2%)	60(45.8%)	38(35.2%)
女性	80(50.3%)	91(46.4%)	99(49.3%)	92(44.7%)	122(40.5%)

問3
【SA】

現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか。

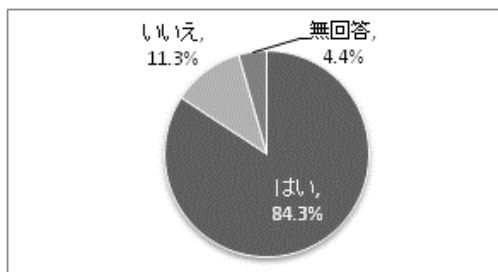
- ・医師の処方した薬を8割以上の人が使用しており、「5種類以上」(36.2%)が最も多い。



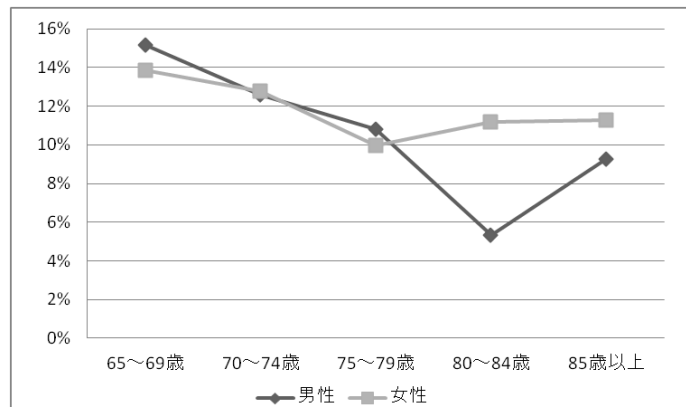
問4
【SA】

現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院していますか。

- ・「はい（通院している）」が84.3%、「いいえ（通院していない）」が11.3%であり、「はい」が多数を占める。
- ・「いいえ（通院していない）」の割合は、「65～69歳」、「70～74歳」が高い。



【「いいえ」の割合】

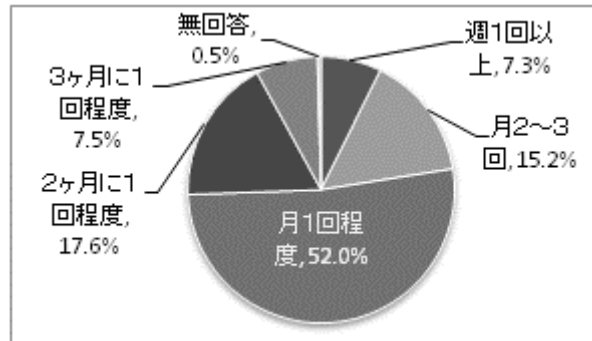


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	27(15.2%)	21(12.6%)	16(10.8%)	7(5.3%)	10(9.3%)
女性	22(13.8%)	25(12.8%)	20(10.0%)	23(11.2%)	34(11.3%)

問 4-1
【SA】

その頻度は次のどれですか。

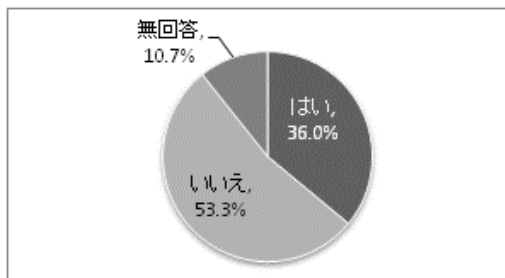
- ・通院頻度については、「月 1 回程度」（52.0%）が最も多い。



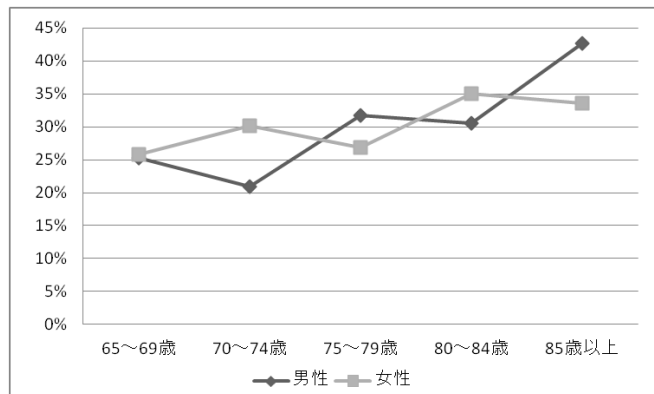
問 4-2
【SA】

通院に介助が必要ですか。

- ・「いいえ（必要ない）」が 53.3%、「はい（必要）」が 36.0%であり、「いいえ」が過半数を占める。
- ・「はい（必要）」の割合は、男女とも高齢になるほど高まる傾向がみられる。



【「はい」の割合】

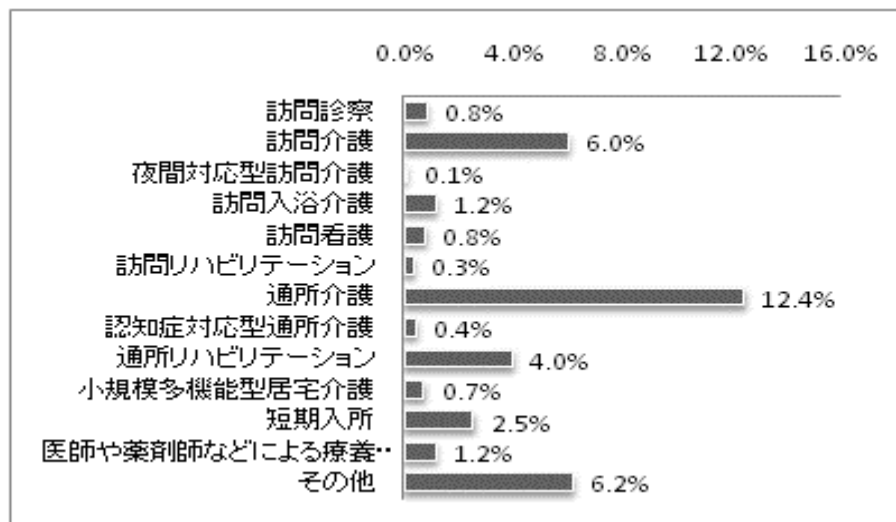


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	45(25.3%)	35(21.0%)	47(31.8%)	40(30.5%)	46(42.6%)
女性	41(25.8%)	59(30.1%)	54(26.9%)	72(35.0%)	101(33.6%)

問5
【MA】

以下の在宅サービスを利用していますか。

- ・在宅サービスについては、「通所介護」(12.4%) が最も多く、次いで、「訪問介護」(6.0%)が多い。

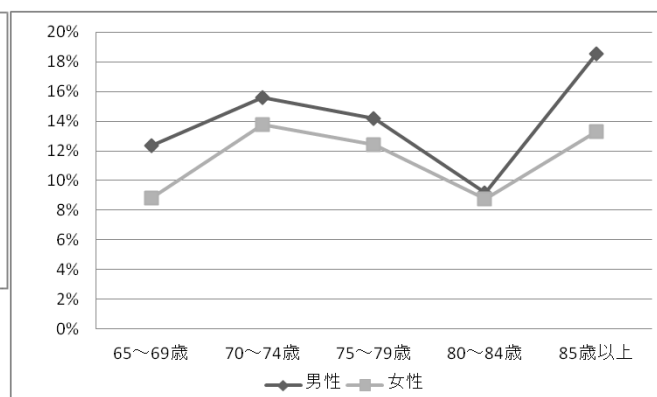
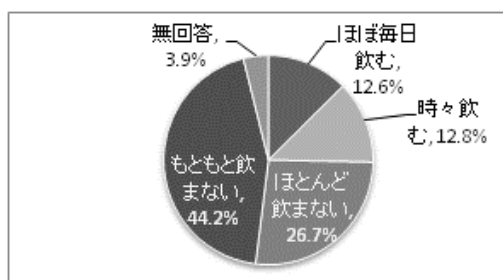


問6
【SA】

お酒は飲みますか。

- ・「もともと飲まない」(44.2%) が最も多く、次いで「ほとんど飲まない」(26.7%)が多い。

【「ほぼ毎日お酒を飲む」の割合】

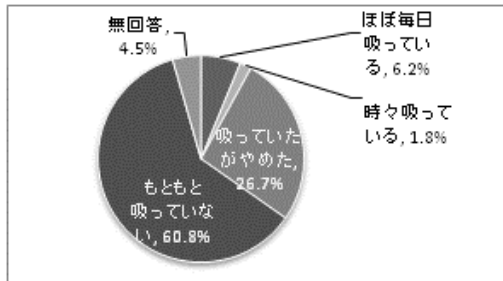


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	22(12.4%)	26(15.6%)	21(14.2%)	12(9.2%)	20(18.5%)
女性	14(8.8%)	27(13.8%)	25(12.4%)	18(8.7%)	40(13.3%)

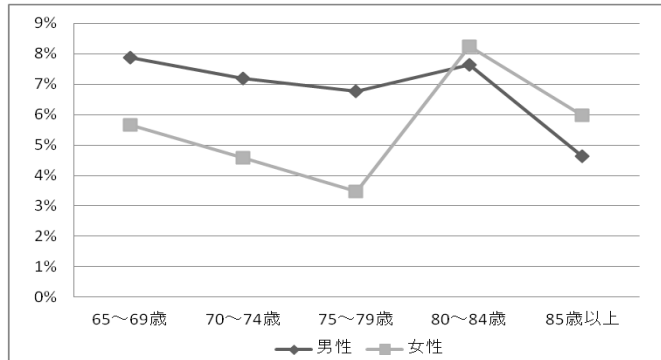
問7
【SA】

タバコは吸っていますか。

- ・「もともと吸っていない」(60.8%) が最も多く、次いで「吸っていたがやめた」(26.7%)が多い。



【「ほぼ毎日吸っている」の割合】



	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	14(7.9%)	12(7.2%)	10(6.8%)	10(7.6%)	5(4.6%)
女性	9(5.7%)	9(4.6%)	7(3.5%)	17(8.3%)	18(6.0%)

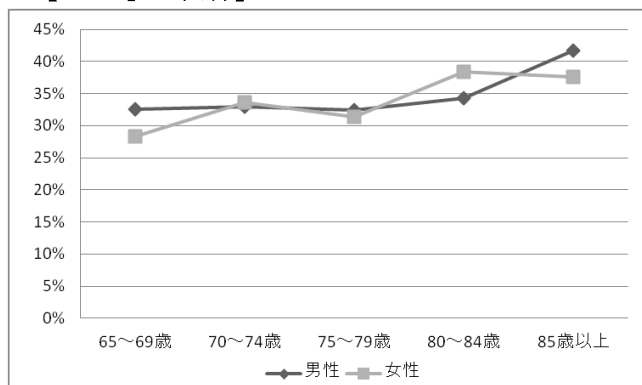
問8
【SA】

(ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない。

- ・「いいえ (感じない)」が 55.6%、「はい (感じる)」が 34.4%であり、「いいえ」が過半数を占める。



【「はい」の割合】



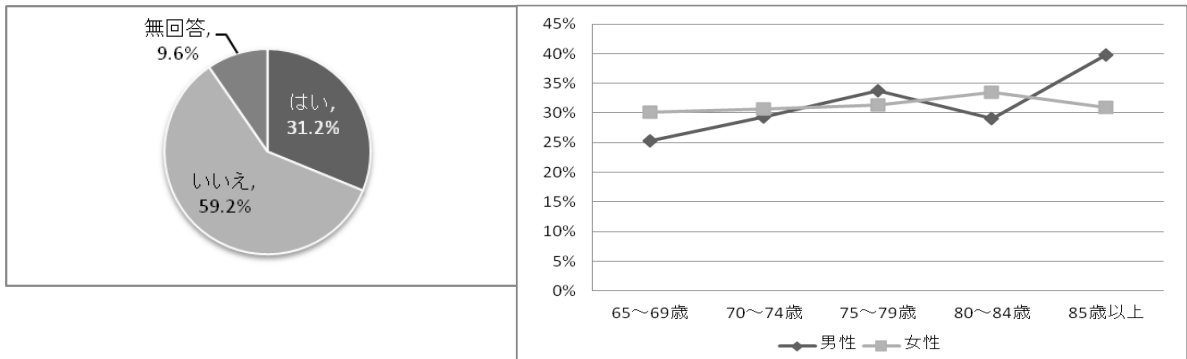
	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	58(32.6%)	55(32.9%)	48(32.4%)	45(34.4%)	45(41.7%)
女性	45(28.3%)	66(33.7%)	63(31.3%)	79(38.3%)	113(37.5%)

問9
【SA】

(ここ2週間) これまで楽しくやれていたことが楽しめなくなった。

- ・「いいえ (楽しめている)」が 59.2%、「はい (楽しめない)」が 31.2%であり、「いいえ」が過半数を占める。
- ・「はい (楽しめない)」の割合は、「85 歳以上」で最も高く、男性の方がその傾向が顕著である。

【「はい」の割合】



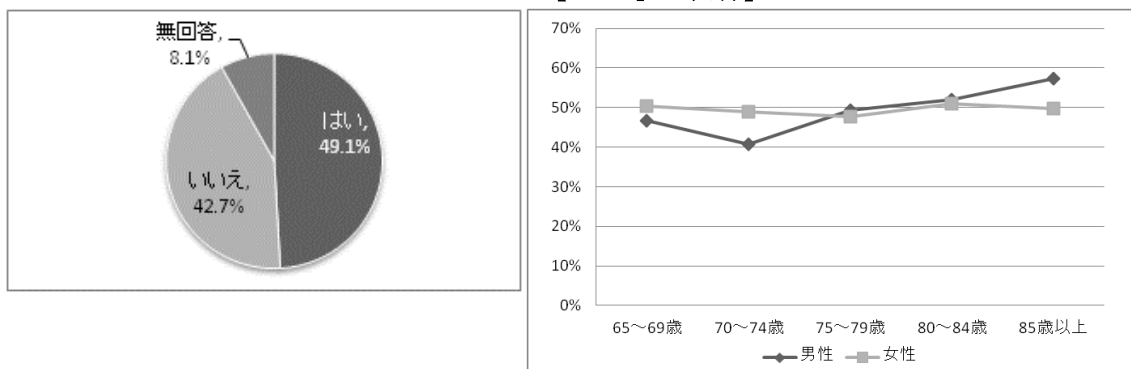
	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	45(25.3%)	49(29.3%)	50(33.8%)	38(29.0%)	43(39.8%)
女性	48(30.2%)	60(30.6%)	63(31.3%)	69(33.5%)	93(30.9%)

問10
【SA】

(ここ2週間) 以前は楽にできたことが、今ではおっくうに感じられる。

- ・「はい (感じる)」が 49.1%、「いいえ (感じない)」が 42.7%であり、「はい」の方が多い。

【「はい」の割合】

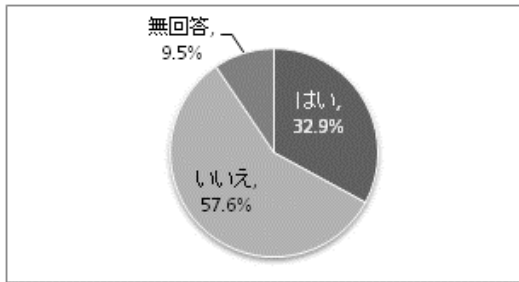


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	83(46.6%)	68(40.7%)	73(49.3%)	68(51.9%)	62(57.4%)
女性	80(50.3%)	96(49.0%)	96(47.8%)	105(51.0%)	150(49.8%)

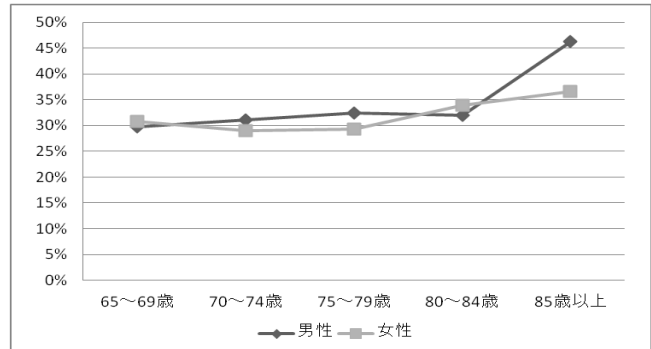
問 11
【SA】

（ここ2週間）自分が役に立つ人間だと思えない。

- ・「いいえ（役に立つ人間だと思える）」が 57.6%、「はい（役に立つ人間だと思えない）」が 32.9%であり、「いいえ」が過半数を占める。
- ・「はい（思う）」の割合は、「85 歳以上」で最も高く、男性の方がその傾向が顕著である。



【「はい」の割合】

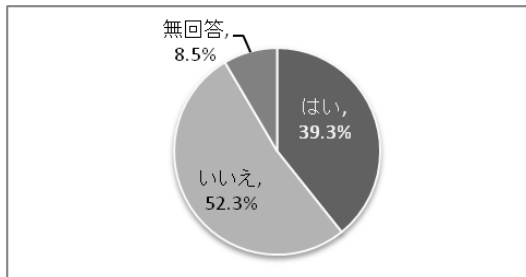


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	53(29.8%)	52(31.1%)	48(32.4%)	42(32.1%)	50(46.3%)
女性	49(30.8%)	57(29.1%)	59(29.4%)	70(34.0%)	110(36.5%)

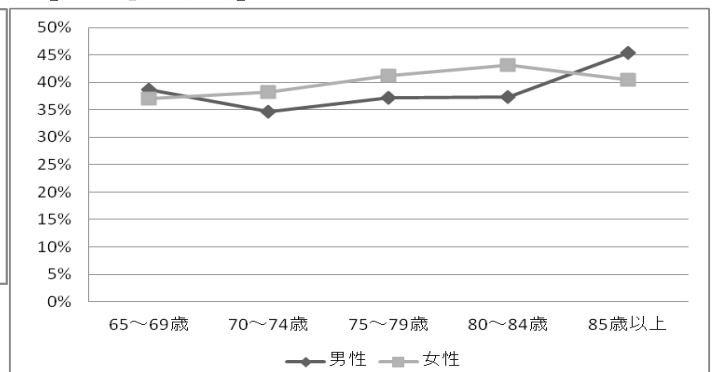
問 12
【SA】

（ここ2週間）わけもなく疲れたような感じがする。

- ・「いいえ（感じない）」が 52.3%、「はい（感じる）」が 39.3%であり、「いいえ」が過半数を占める。



【「はい」の割合】



	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	69(38.8%)	58(34.7%)	55(37.2%)	49(37.4%)	49(45.4%)
女性	59(37.1%)	75(38.3%)	83(41.3%)	89(43.2%)	122(40.5%)

3 北茨城市老人福祉計画及び介護保険事業計画策定等委員会条例

平成 14 年 3 月 29 日

条例第 18 号

(設置)

第 1 条 本市における老人福祉計画及び介護保険事業計画（以下「計画」という。）の策定及び推進並びに介護保険事業の円滑な運営を図ることを目的として、北茨城市老人福祉計画及び介護保険事業計画策定等委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第 2 条 委員会は、計画の策定及び推進並びに介護保険事業の運営に関する必要事項を審議する。

(組織)

第 3 条 委員会は、委員 16 名以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者の中から市長が任命する。

- (1) 福祉団体代表者
- (2) 医療団体代表者
- (3) 行政関係者
- (4) 学識経験者
- (5) その他市長が必要と認めた者

(任期)

第 4 条 委員会の委員の任期は、3 年とし、欠員を生じた場合の補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。ただし、再任を妨げない。

(委員長及び副委員長)

第 5 条 委員会に委員長及び副委員長 2 名を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選により定める。

3 委員長は、委員会を代表しその事務を総括する。

4 副委員長は、委員長を補佐し委員長に事故あるときはその職務を代理する。

(会議)

第 6 条 委員会は、委員長が必要に応じて招集し、議事を運営する。

2 委員会は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。

3 委員会は、必要に応じ、関係者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

4 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

5 議事に直接の利害関係を有する委員は、その表決に加わることはできない。

(庶務)

第 7 条 委員会の庶務は、市民福祉部高齢福祉課が処理する。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附則

この条例は、平成14年4月1日から施行する。

附則（平成16年条例第2号）

この条例は、平成16年4月1日から施行する。

附則（平成18年条例第9号）

この条例は、平成18年4月1日から施行する。

附則（平成21年条例第6号）

この条例は、平成21年4月1日から施行する。

4 北茨城市老人福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会の開催状況

第1回

開催日及び場所

平成23年3月3日（木） 市役所 全員協議会室

審議内容

- （1）老人福祉計画及び介護保険事業計画策定について（第5期）
- （2）日常生活圏域ニーズ調査の実施について
- （3）その他

第2回

開催日及び場所

平成23年8月25日（木） 市役所 全員協議会室

審議内容

- （1）日常生活圏域ニーズ調査の実施について
- （2）事業計画の全体構成（案）について
- （3）その他

第3回

開催日及び場所

平成23年12月22日（木） 市役所 全員協議会室

審議内容

- （1）課題事項（日常生活圏域ニーズ調査結果等）について
- （2）施策の展開について
- （3）各種事業の利用実績と見込み量について
- （4）介護保険事業にかかる費用の見込みについて
- （5）その他

第4回

開催日及び場所

平成24年2月16日（木） 市役所 全員協議会室

審議内容

- （1）第5期 北茨城市高齢者福祉計画・介護保険事業計画書報告
- （2）その他

5 北茨城市老人福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会委員名簿

平成21年4月1日～平成24年3月31日

NO,	役職	委員名	所属団体
1	委員	荒川 正吾	北茨城地区医師会
2	委員	栗原 昭子	北茨城市女性連盟
3	委員	鈴木 利和	北茨城市社会福祉協議会
4	委員	伊藤 きよみ	保健師代表
5	副委員長	久保田 三枝子	北茨城市ボランティアグループ連絡会
6	委員	池亀 勘次郎	北茨城市老人クラブ連合会
7	委員	山田 光雄	北茨城市民生委員・児童委員協議会
8	委員	相川 敬二	医療・福祉法人代表
9	委員長	宇佐美 泰男	北茨城市介護認定審査会
10	委員	一瀬 将宏	北茨城市介護支援専門員会
11	副委員長	石田 奈緒子	北茨城市副市長
12	委員	鈴木 荘一	北茨城市市民福祉部長
13	委員	岸 秀明	北茨城市福祉事務所長
14	委員	松川 光一	介護保険被保険者 (第1号)
15	委員	遠藤 恵美子	介護保険被保険者 (第2号)

北茨城市
高齢者福祉計画・介護保険事業計画
(平成24年度～平成26年度)

発行日 平成24年3月
発行 茨城県 北茨城市
〒319-1592 北茨城市磯原町磯原1630番地
電話 0293-43-1111 (代)
編集 北茨城市市民福祉部 高齢福祉課
